Canon

レーザビームプリンタ

Satera

ネットワークガイド／本編

ご使用前に必ず本書をお読みください。
将来いつでも使用できるように大切に保管してください。

使用許諾契約書

本ソフトウェアをご使用になる前に、下記の使用条件をよくお読み下さい。ご使用になられた時点で、下記使用条件に同意してキヤノン株式会社（以下キヤノンといいます。）との間で契約が成立したものとさせていただきます。

1. 本ソフトウェアおよびその複製物に関する権利はその内容によりキヤノンまたはキヤノンのライセンサーに帰属します。
2. キヤノンは、本ソフトウェアのユーザー（以下ユーザーといいます。）に対し、本ソフトウェアに対応するキヤノン製品を利用する目的で本ソフトウェアを使用する非独占的権利を許諾します。
3. ユーザーは、本ソフトウェアの全部または一部を修正、改変、リバース・エンジニアリング、逆コンパイルまたは逆アセンブル等することはできません。
4. キヤノン、キヤノンマーケティングジャパン株式会社およびキヤノンのライセンサーは、本ソフトウェアがユーザーの特定の目的のために適当であること、もしくは有用であること、または本ソフトウェアに瑕疵がないこと、その他本ソフトウェアに関していかなる保証もいたしません。
5. キヤノン、キヤノンマーケティングジャパン株式会社およびキヤノンのライセンサーは、本ソフトウェアの使用に付随または関連して生ずる直接的または間接的な損失、損害等について、いかなる場合においても一切の責任を負いません。
6. ユーザーは、日本国政府または該当国の政府より必要な許可等を得ることなしに、本ソフトウェアの全部または一部を、直接または間接に輸出してはなりません。
   ユーザーは、本ソフトウェアを米国政府が輸出を禁止している国へ輸出または再輸出してはなりません。
   ユーザーは、本ソフトウェアを米国より取引を禁止されている個人・団体へ輸出または再輸出してはなりません。
   ユーザーは、本ソフトウェアを米国政府が輸出を禁止している国の国籍をもつ人に提供してはなりません。

以　上

キヤノン株式会社

本書の構成について

第 1 章　お使いになる前に

第 2 章　ネットワーク環境で印刷する環境を設定するには

第 3 章　ネットワーク環境でプリンタを管理するには

第 4 章　困ったときには

第 5 章　付録

ネットワーク設定項目一覧やネットワークボードのおもな仕様、索引などを掲載しています。

● ご確認ください

- PDF形式のマニュアルを表示するには、Adobe Reader/Adobe Acrobat Readerが必要です。ご使用のシステムに Adobe Reader/Adobe Acrobat Reader がインストールされていない場合は、アドビシステムズ社のホームページからダウンロードし、インストールしてください。
- Macintosh 用のプリンタドライバやオンラインマニュアルは、大変お手数ですが、キヤノンホームページ（http://canon.jp/）からダウンロードしてください。
- LBP5600/LBP5600SE は、Macintosh からの印刷には対応しておりません。
- LBP5000 は、Macintosh からのネットワーク経由での印刷に対応しておりません。
- お使いの機種によっては、プリンタに付属の CD-ROM に収められているプリンタドライバなどのソフトウェアが本書の記載と異なる場合があります。プリンタドライバなどの最新のソフトウェアは、キヤノンホームページ（http://canon.jp/）からダウンロードしてください。また、最新のソフトウェアの対応OS やダウンロードしたソフトウェアのインストール方法についても、キヤノンホームページでご確認ください。

目次

第３章　ネットワーク環境でプリンタを管理するには

第 4 章　困ったときには

第 5 章　付録

はじめに

このたびはキヤノン製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本製品の機能を十分にご理解いただき、より効果的にご利用いただくために、ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みください。また、お読みいただきました後も大切に保管してください。

本書の読みかた

マークについて

本書では、操作上必ず守っていただきたい事項や操作の参考となる説明などに、下記のマークを付けています。

重要　操作上、必ず守っていただきたい重要事項や制限事項が書かれています。誤った操作によるトラブルを防ぐために、必ずお読みください。

メモ　操作の参考となることや補足説明が書かれています。お読みになることをおすすめします。

ボタンの表記について

本書では、ボタン名称を以下のように表しています。

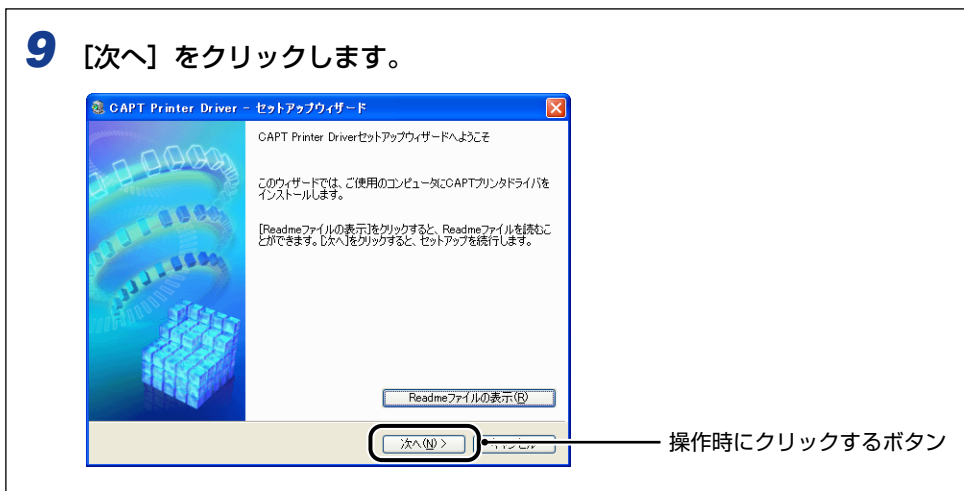
- コンピュータ画面上のボタン：[ボタン名称]

例：[OK]
[設定]

画面について

本書で使われているコンピュータ操作画面は、お使いの環境によって表示が異なる場合があります。

操作時にクリックするボタンの場所は、◯（丸）で囲んでいます。

また、操作を行うボタンが複数表示されている場合は、それらをすべて囲んでいますので、ご利用に合わせて選択してください。

略称について

本書に記載されている名称は、下記の略称を使用しています。

Microsoft Windows 2000 operating system：	Windows 2000
Microsoft Windows XP operating system：	Windows XP
Microsoft Windows Server 2003 operating system：	Windows Server 2003
Microsoft Windows Vista operating system：	Windows Vista
Microsoft Windows Server 2008 operating system：	Windows Server 2008
Microsoft Windows 7 operating system：	Windows 7
Microsoft Windows operating system：	Windows

規制について

商標について

Canon、Canon ロゴ、LBP、NetSpot は、キヤノン株式会社の商標です。

Adobe、Adobe Acrobat、Adobe Reader は、Adobe Systems Incorporated（アドビ システムズ社）の商標です。

Apple、Mac OS、Macintosh は、米国およびその他の国で登録されている Apple Inc. の商標です。

IBM は、米国 International Business Machines Corporation の商標です。

Microsoft、Windows、Windows Vista は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Ethernet は、米国 Xerox Corporation の商標です。

その他、本書中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

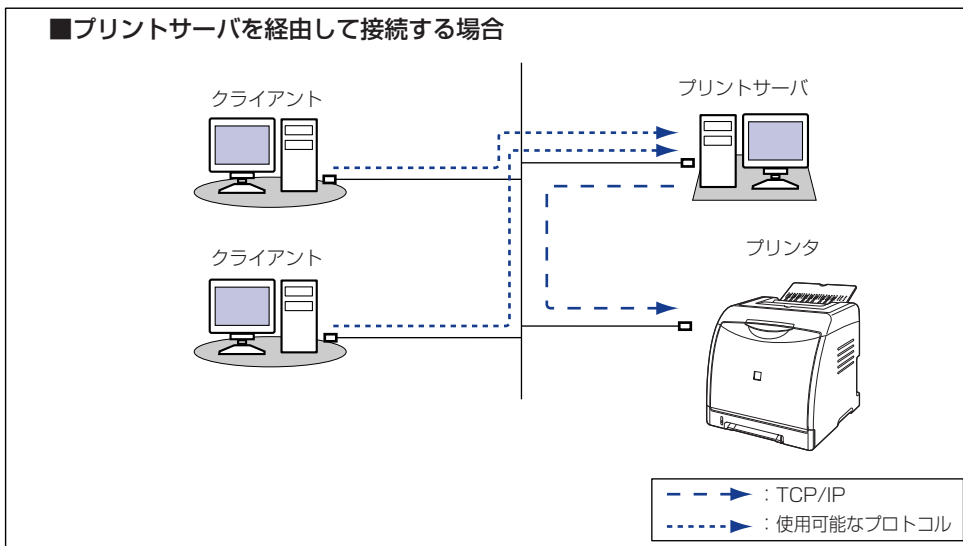
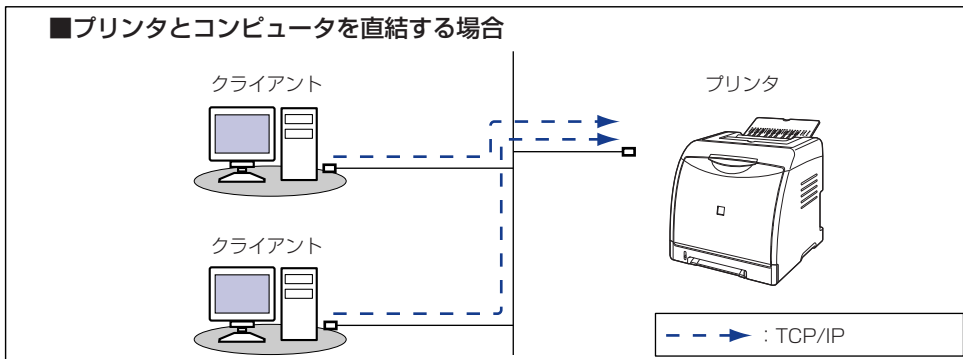
お使いになる前に

この章では、ネットワーク環境で印刷、管理するときに必要な作業の概要とソフトウェアのシステム環境について説明しています。

ネットワーク環境の確認

ネットワークボードをプリンタに装着すると、次の図のようなネットワーク環境でお使いになることができます。ネットワークボードは、TCP/IP プロトコルに対応しています。

■プリンタとコンピュータを直結する場合

■プリントサーバを経由して接続する場合

* プリントサーバを経由して接続する場合は、次の設定を行う必要があります。

1. プリントサーバへプリンタドライバをインストールする →P.2-2
2. プリントサーバの設定 → ユーザーズガイド
3. クライアントへのインストール → ユーザーズガイド

ネットワークボードのファームウェアについて

お使いのプリンタによって、対応するネットワークボードのファームウェアのバージョンが次のように異なります。

■ NB-C2 の場合

プリンタ	ネットワークボードのファームウェアのバージョン
LBP3310	Ver 1.30 以降
LBP5600/5600SE/5100/5000/3500/3300	Ver 1.10 以降

■ NB-C1 の場合

プリンタ	ネットワークボードのファームウェアのバージョン
LBP3500	Ver 1.30 以降
LBP5000/3300	Ver 1.20 以降
LBP5600/5600SE	Ver 1.10 以降

ファームウェアのバージョンが古い場合、正常に動作しないことがあります。お使いのプリンタに対応しているバージョンであることを確認してください。

お使いのプリンタに対応していないバージョンの場合は、キヤノンホームページ（http://canon.jp/）から、最新のアップデートファイルをダウンロードして、ファームウェアを更新してください。

ファームウェアのバージョンの確認方法および更新方法については、「ファームウェアを更新する」（➞P.5-32）を参照してください。

メモ

プリンタに付属の CD-ROM 内の「NB-XX_Firmware」* フォルダに収められているアップデートファイルを使用して、ファームウェアを更新することもできます（CD-ROM 内にアップデートファイルがない場合は、キヤノンホームページからダウンロードしてください）。
アップデートファイルについては、「NB-XX_Firmware」* フォルダに収められている README ファイルをご覧ください。

* XX は、「C1」または「C2」

必要なシステム環境

重要　お使いの機種によっては、プリンタに付属の CD-ROM に収められているプリンタドライバなどのソフトウェアの対応 OS がここでの記載と異なる場合があります。プリンタドライバなどの最新のソフトウェアは、キヤノンホームページ（http://canon.jp/）からダウンロードしてください。また、最新のソフトウェアの対応 OS やダウンロードしたソフトウェアのインストール方法についても、キヤノンホームページでご確認ください。

プリンタドライバ

※ Macintosh をお使いの場合は、オンラインマニュアル「第 2 章 プリンタドライバのインストールと印刷方法」を参照してください。

プリンタドライバを利用するには、次のシステム環境が必要です。

■ OS ソフトウェア環境

- Windows 2000 Server/Professional 日本語版
- Windows XP Professional/Home Edition 日本語版
- Windows XP Professional x64 Edition 日本語版
- Windows Server 2003 日本語版
- Windows Server 2003 x64 Editions 日本語版
- Windows Vista 日本語版（32 ビット版／ 64 ビット版）
- Windows Server 2008 日本語版（32 ビット版／ 64 ビット版）
- Windows 7 日本語版（32 ビット版／ 64 ビット版）

※ Windows 7/Server 2008 をお使いの場合の操作方法や説明などは、Windows Vista の記載をご参考ください。

※ 最新の OS および Service Pack の対応状況については、キヤノンホームページ（http://canon.jp/）でご確認ください。

重要
- 動作環境や推奨環境については、Windows の場合は「ユーザーズガイド」を参照してください。
- LBP5600/LBP5600SE は、Macintosh からの印刷には対応しておりません。
- LBP5000 は、Macintosh からのネットワーク経由での印刷に対応しておりません。

■ インタフェース環境

- コネクタ：10BASE-T または 100BASE-TX
- プロトコル：TCP/IP

メモ
- サウンドをお使いになる場合は、PCM 音源（および PCM 音源のドライバ）が組み込まれている必要があります。PC スピーカードライバ（speaker.drv）はお使いにならないでください。
- お使いのプリンタによって、対応しているポートが異なります。

お使いのプリンタ	対応ポート	必要なソフトウェア
LBP5100/3310	標準 TCP/IP ポート（Standard TCP/IP Port）	なし（Windows 標準のため）
LBP5600/5600SE/5000/3500/3300	CANON CAPT Port	Canon CAPT Print Monitor

Canon CAPT Print Monitor（Windows のみ）

Canon CAPT Print Monitor を利用するには、次のシステム環境が必要です。

重要　LBP5100/3310 をお使いの場合、Canon CAPT Print Monitor は使用しません。

■ OS ソフトウェア環境

- Windows 2000 Server/Professional 日本語版
- Windows XP Professional/Home Edition 日本語版
- Windows XP Professional x64 Edition 日本語版
- Windows Server 2003 日本語版
- Windows Server 2003 x64 Editions 日本語版
- Windows Vista 日本語版（32 ビット版／ 64 ビット版）
- Windows Server 2008 日本語版（32 ビット版／ 64 ビット版）
- Windows 7 日本語版（32 ビット版／ 64 ビット版）

※ Windows 7/Server 2008 をお使いの場合の操作方法や説明などは、Windows Vista の記載をご参考ください。

※ 最新の OS および Service Pack の対応状況については、キヤノンホームページ（http://canon.jp/）でご確認ください。

· 動作環境

	Windows 2000/XP/Server 2003	Windows Vista/7/Server 2008
CPU	Pentium II 300MHz 以上	Windows Vista/7/Server 2008の最低システム要件に準拠
メモリ（RAM）*	128MB 以上	
ハードディスク	20MB 以上	20MB 以上

（IBM-PC 互換機）

* お使いのコンピュータのシステム構成や使用するアプリケーションにより実際に使用できるメモリ容量が異なるため、上記の環境はどんな場合でも印字を保証するものではありません。

・推奨環境

	Windows 2000/XP/Server 2003	Windows Vista/7/Server 2008
CPU	Pentium III 600MHz以上	Windows Vista/7/Server 2008 の推奨システム要件に準拠
メモリ（RAM）	256MB以上	

■ プロトコル

• TCP/IP

リモートUI

リモートUIを利用するには、次のシステム環境が必要です。

■ Webブラウザ

• Netscape Navigator 4.7以降
• Internet Explorer 4.01SP1以降

■ OS

• 上記のWebブラウザが動作するOS

■ ディスプレイ

• 解像度：800 × 600ピクセル以上
• 表示色：256色以上

メモ　Webサーバなど、上記以外のソフトウェアは必要ありません。（Webサーバはプリンタに内蔵されています。）

NetSpot Device Installer

※ Macintoshをお使いの場合は、NetSpot Device InstallerのReadmeを参照してください。

NetSpot Device Installerを利用するには、次のシステム環境が必要です。

■ OSソフトウェア環境

• Windows 2000 Server/Professional日本語版
• Windows XP Professional/Home Edition 日本語版
• Windows XP Professional x64 Edition 日本語版
• Windows Server 2003 日本語版
• Windows Server 2003 x64 Editions 日本語版
• Windows Vista日本語版（32ビット版／64ビット版）
• Windows Server 2008日本語版（32ビット版／64ビット版）
• Windows 7日本語版（32ビット版／64ビット版）

※ 最新のNetSpot Device Installerに関する情報は、キヤノンホームページ（http://canon.jp/）でご確認ください。

■ コンピュータ

- 上記 OS が動作するコンピュータ

■ ハードディスク

- 20MB（Macintoshは 10MB）以上の空き領域（本ソフトウェアをコンピュータにインストールして使用する場合）

■ プロトコル

- TCP/IP

■ プロトコルスタック

- Windows に付属の TCP/IP プロトコル
- Mac OS X に付属の TCP/IP プロトコル

ネットワーク環境で印刷する環境を設定するには

2
CHAPTER

この章では、ネットワーク環境で印刷するための設定方法について説明しています。

プリンタドライバのインストール方法について

プリンタドライバのインストール（ネットワーク環境で印刷するために必要な操作）方法には、次の 2 種類あります。

※ Macintosh をお使いの場合は、オンラインマニュアル「第 2 章 プリンタドライバのインストールと印刷方法」を参照してください。

重要

- プリンタドライバはプリンタを使用して印刷するために必要です。必ずインストールしてください。
- お使いの機種によっては、プリンタに付属の CD-ROM に収められているプリンタドライバなどのソフトウェアが本書の記載と異なる場合があります。プリンタドライバなどの最新のソフトウェアは、キヤノンホームページ（http://canon.jp/）からダウンロードしてください。また、最新のソフトウェアの対応 OS やダウンロードしたソフトウェアのインストール方法についても、キヤノンホームページでご確認ください。

メモ

次の環境でのプリンタドライバのインストール方法は、「ユーザーズガイド」を参照してください。

・USB ケーブルでプリンタと接続しているコンピュータにインストールする場合

・プリントサーバ環境のクライアントにインストールする場合

自動セットアップ（推奨手順）

※ Macintosh をお使いの場合は、オンラインマニュアル「第 2 章 プリンタドライバのインストールと印刷方法」を参照してください。

重要　ハードディスクの空き容量が不足している場合は、インストールの途中でメッセージが表示されます。インストールを中止して、ディスクの空き容量を増やしたあとインストールをやりなおしてください。

メモ

- ここでは、プリンタはLBP5100、OS はWindows XP Professional の画面例で手順を説明します。
- Windows XP SP2などのWindowsファイアウォール機能を持っているOSをお使いで、Windows ファイアウォール機能が有効になっている場合、IP アドレスが設定されていないプリンタを検出するときは、インストール手順の途中でファイアウォールのブロックを解除してプリンタを検出します。ブロックを解除しない場合は、「手動セットアップ」(→P.2-17) を参照して、あらかじめプリンタに IP アドレスを設定してください。

1 **コンピュータとプリンタがネットワーク経由で接続されていることを確認します。**

2 **プリンタの電源が入っていることを確認します。**

3 **コンピュータの電源を入れて、Windows を起動します。**

Windows を起動した際に、必ず管理者権限のユーザとしてログオンしてください。権限がわからない場合は、お使いのコンピュータの管理者へお問い合わせください。

4 プリンタに付属の CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットします。

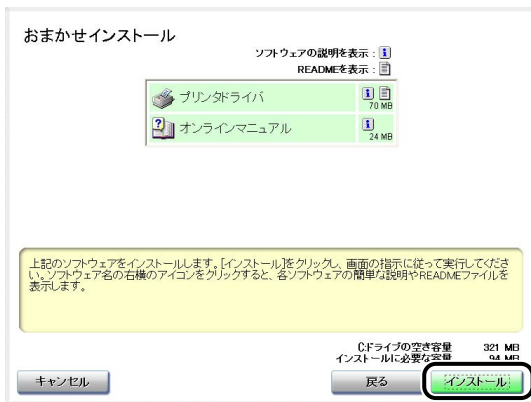
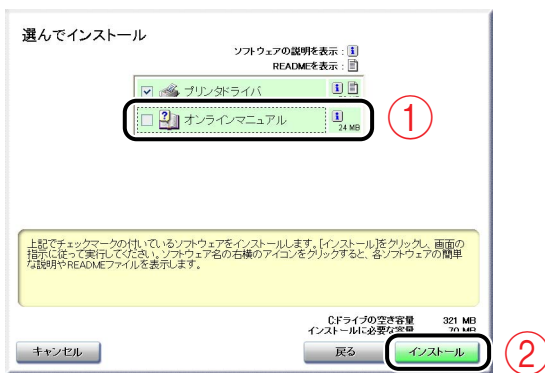
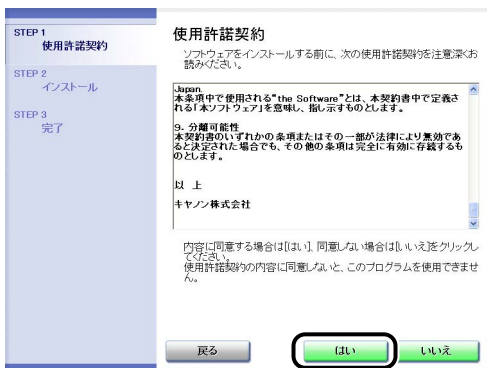
すでに CD-ROM がセットされている場合は、いったん CD-ROM を取り出してもう一度セットします。

メモ

- Windows Vista をお使いの場合、［自動再生］ダイアログボックスが表示されたときは、［AUTORUN.EXEの実行］をクリックします。
- CD-ROM Setup が表示されない場合は、次の方法で表示します。（ここでは、CD-ROM ドライブ名を「D:」と表記しています。CD-ROM ドライブ名は、お使いのコンピュータによって異なります。）
  - ･Windows Vista以外の OS の場合は、［スタート］メニューから［ファイル名を指定して実行］を選択して「D:¥Japanese¥MInst.exe」と入力し、［OK］をクリックします。
  - ･Windows Vistaの場合は、［スタート］メニューの［検索の開始］に「D:¥Japanese¥MInst.exe」と入力し、キーボードの［ENTER］キーを押します。
- Windows Vista をお使いの場合、［ユーザーアカウント制御］ダイアログボックスが表示されたときは、［許可］をクリックします。

5 ［おまかせインストール］または［選んでインストール］をクリックします。

- プリンタドライバと取扱説明書をインストールする場合：［おまかせインストール］
- プリンタドライバのみをインストールする場合：［選んでインストール］

6 ［インストール］をクリックします。

手順５で［選んでインストール］を選択した場合は、［オンラインマニュアル］のチェックマークを消して ①、［インストール］をクリックします ②。

7 内容を確認して、［はい］をクリックします。

8 [Readme ファイルの表示] をクリックして、Readme ファイルの内容を確認し、閉じます。

9 [次へ] をクリックします。

10 ［ネットワーク上のプリンタを探索してインストール］を選択して ①、［次へ］をクリックします ②。

ネットワーク上の TCP/IP ポートを探索して、プリンタを自動的に検出します。

Windows XP SP2などのWindows ファイアウォール機能を持っているOS をお使いで、Windows ファイアウォール機能が有効になっている場合、次の画面が表示されます。

すでにプリンタの IP アドレスが設定されている場合は、［いいえ］をクリックします。
ブロックを解除して、IP アドレスが設定されていないプリンタを検出する場合は、［はい］をクリックします。

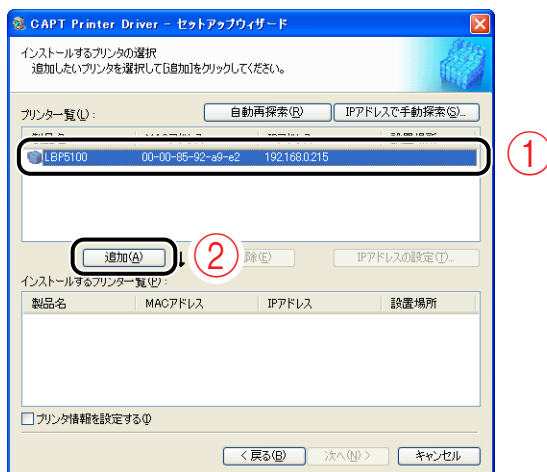
11 ［プリンタ一覧］の［製品名］に表示される内容によって、操作が異なります。

• ［製品名］にプリンタの名称が表示されている場合（→P.2-8）

• ［製品名］に［不明なデバイス］と表示されている場合（→P.2-9）

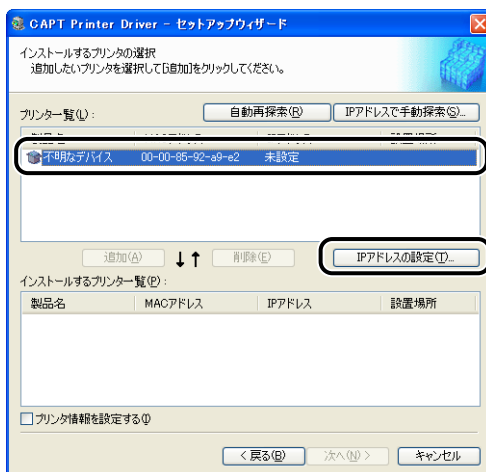
メモ　［プリンタ一覧］にインストールするプリンタが表示されない場合は、次の操作を行ってください。
・コンピュータとプリンタがネットワーク経由で接続されていて、プリンタの電源が入っていることを確認します。
・［自動再探索］をクリックします。再度ネットワーク上のプリンタを探索します。
・［IP アドレスで手動探索］をクリックします。表示された［IP アドレスで手動探索］ダイアログボックスで、インストールするプリンタの IP アドレスを入力して［OK］をクリックすると、入力した IP アドレスのプリンタを探索します（IP アドレスは AAA.BBB.C.DD のように「.」で数字を区切って入力します）。

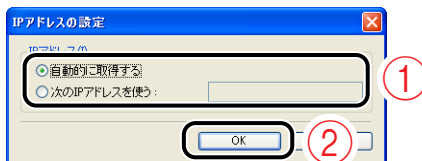
● ［製品名］にプリンタの名称が表示されている場合

1. インストールするプリンタを選択して ①、［追加］をクリックします ②。

メモ　お使いの環境によっては、［プリンタ一覧］の［IP アドレス］に「192.168.0.215」（ネットワークボードの初期設定値）と表示されます。IP アドレスを変更する場合はインストールが終わったあと、「プリンタのプロトコル設定」（→P.2-70）を参照して IP アドレスを変更してください。
インストールしたあとに IP アドレスを変更した場合は、「IP アドレスを変更したあとに（ポートの変更について）」（→P.5-18）を参照してポートを設定しなおしてください。

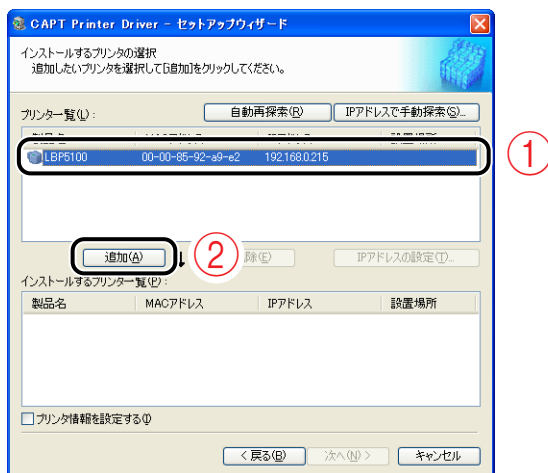
2. 手順 12 に進みます。

● ［製品名］に［不明なデバイス］と表示されている場合

1. ［不明なデバイス］と表示されているプリンタを選択して ①、［IP アドレスの設定］をクリックします ②。

メモ　［不明なデバイス］が複数表示されている場合は、インストールするプリンタ以外のデバイスの電源をいったん切るか、ネットワークから切り離してから、［自動再探索］をクリックします。プリンタの設定が完了したら、既存のデバイスを元の状態に戻してください。

2. ［IP アドレスの設定］ダイアログボックスでプリンタの IP アドレスを入力して ①、［OK］をクリックします ②。

［自動的に取得する］：DHCP を使用して IP アドレスを取得します（DHCP サーバが起動されている必要があります）。DHCP サーバの設定については、ネットワーク管理者へお問い合わせください。

［次の IP アドレスを使う］：直接 IP アドレスを指定します（IP アドレスは AAA.BBB.C.DD のように「.」で数字を区切って入力します）。

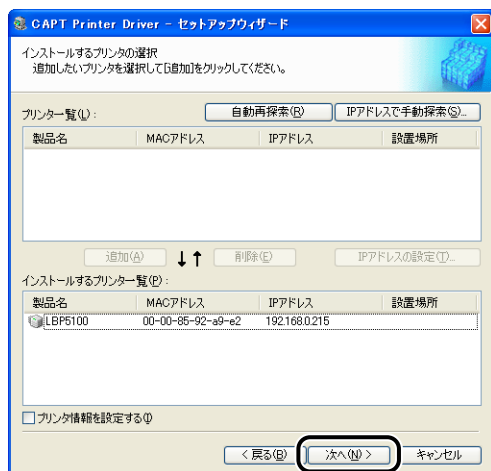
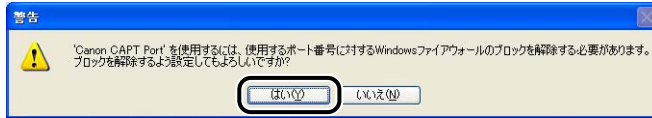
3. インストールするプリンタを選択して ①、［追加］をクリックします ②。

4. 手順 12 に進みます。

12 ［インストールするプリンター覧］にプリンタが追加されていることを確認します。

メモ

この手順では、プリンタの共有設定などのプリンタ情報の設定を行います。これらの設定は、インストール後に［プリンタと FAX］または［プリンタ］フォルダで設定することもできます。

● プリンタの共有設定などプリンタ情報の設定を行わない場合

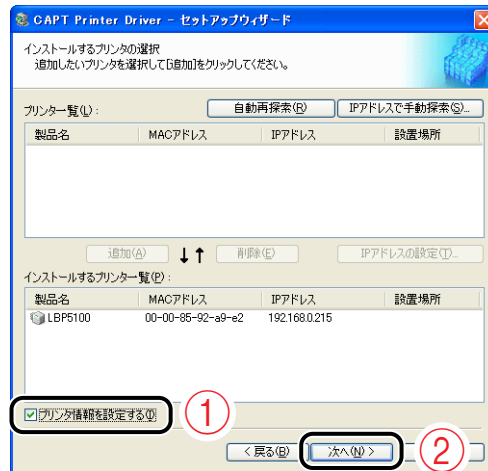
1. ［次へ］をクリックします。

次の画面が表示された場合は、［はい］をクリックします。

次のポートが作成されます。

プリンタ	作成されるポート
LBP5100/LBP3310	標準 TCP/IP ポート（Standard TCP/IP Port）
LBP5600/5600SE/5000/3500/3300	Canon CAPT Port

2. 手順 13 に進みます。

● プリンタの共有設定などプリンタ情報の設定を行う場合

1. ［プリンタ情報を設定する］にチェックマークを付けて ①、［次へ］をクリックします ②。

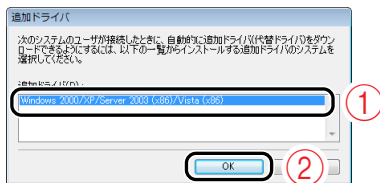
2
ネットワーク環境で印刷する環境を設定するには

2. プリンタ情報を設定します。

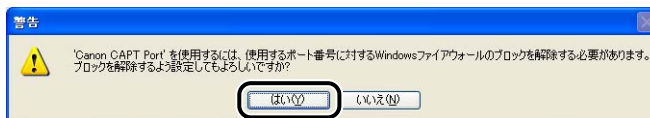
設定する項目

［プリンタ名］：	プリンタ名を変更する場合は、［プリンタ名］に新しい名前を入力します。
［通常のプリンタとして使う］：	通常使うプリンタとして使う場合、［通常のプリンタとして使う］にチェックマークを付けます。
［プリンタを共有する］：	インストール中のコンピュータをプリントサーバとして使用する場合、［プリンタを共有する］にチェックマークを付けます。必要に応じて、［共有名］を変更します。

3. ［プリンタを共有する］にチェックマークを付けた場合、次の操作を行います。

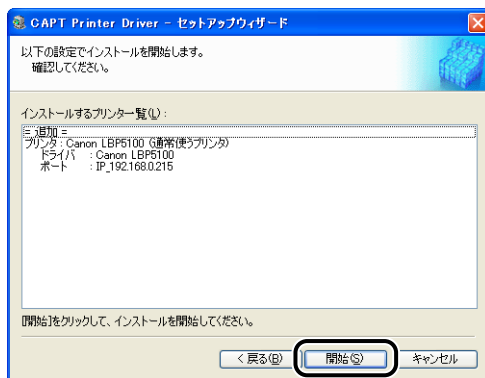
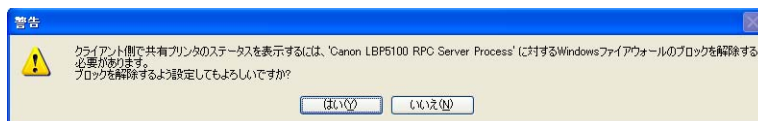
Windows XP/Server 2003/Vista（64 ビット版）の場合に、ネットワーク上に OS が Windows 2000/XP/Server 2003/Vista（32 ビット版）のコンピュータがあるときは、［追加ドライバ］をクリックします。

次に［追加ドライバ］に表示されている OS を選択して ①、［OK］をクリックします ②。

4. ［次へ］をクリックします。

次の画面が表示された場合は、［はい］をクリックします。

次のポートが作成されます。

プリンタ	作成されるポート
LBP5100/LBP3310	標準 TCP/IP ポート（Standard TCP/IP Port）
LBP5600/5600SE/5000/3500/3300	Canon CAPT Port

5. 手順 13 に進みます。

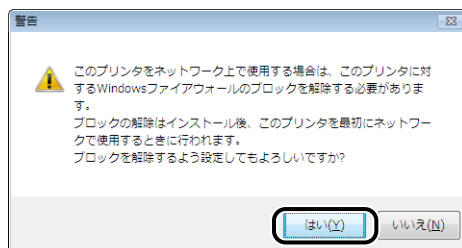
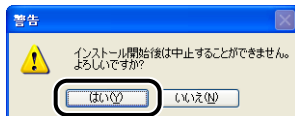
13 ［開始］をクリックします。

次の画面が表示された場合は、プリンタ共有時のクライアント側との通信に対する Windows ファイアウォールのブロックを解除するかどうかを設定します。

プリンタの共有機能を使用する場合：［はい］をクリックします。インストールが完了したあと、「ユーザーズガイド」を参照してプリンタの共有機能の設定を行ってください。

プリンタの共有機能を使用しない場合：［いいえ］をクリックします。

メモ

- 上記画面が表示された場合、プリンタに付属の CD-ROM に収められている「CAPT Windows ファイアウォールユーティリティ」を使用して、インストール後に Windows ファイアウォールの設定を変更することができます。詳しくは、「ユーザーズガイド」を参照してください。
- ポート名は自動で設定されます。

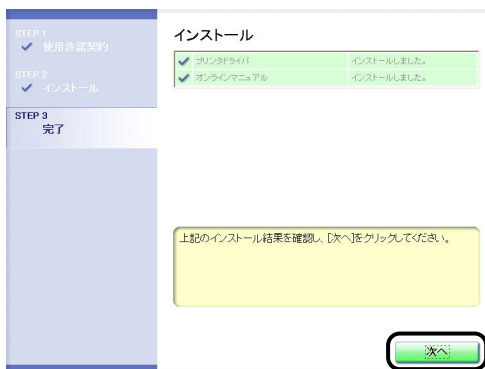
14 Windows Vista を使用している場合は、次の画面が表示されますので、［はい］をクリックします。

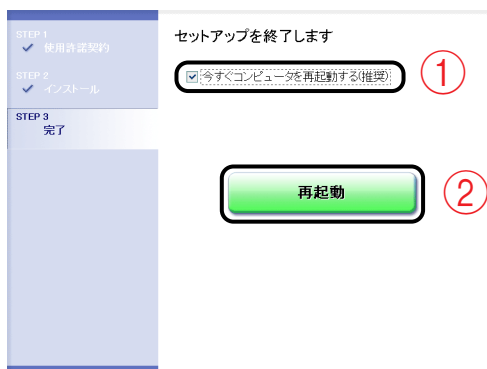
［いいえ］は、プリンタとインストール中のコンピュータを LAN ケーブルで接続して使用することがない場合にのみ選択してください。

15 ［はい］をクリックします。

プリンタドライバのインストールが開始されます。
手順５で［おまかせインストール］を選択した場合は、取扱説明書も同時にインストールされます。

メモ

- お使いの環境によっては、インストールに時間がかかることがあります。
- Windows 2000をお使いの場合、［デジタル署名が見つかりませんでした］ダイアログボックスが表示されたときは、［はい］をクリックします。
- Windows XP/Server 2003をお使いの場合、［ハードウェアのインストール］ダイアログボックスが表示されたときは、［続行］をクリックします。
- Windows Vistaをお使いの場合、［Windowsセキュリティ］ダイアログボックスが表示されたときは、［このドライバソフトウェアをインストールします］をクリックします。

16 インストール結果を確認して、［次へ］をクリックします。

メモ

正常にインストールされなかった場合は、「インストールのトラブル（Windowsのみ）」（→P.4-2）を参照してください。

17 ［今すぐコンピュータを再起動する］にチェックマークを付けて ①、［再起動］をクリックします ②。

Windows が再起動します。

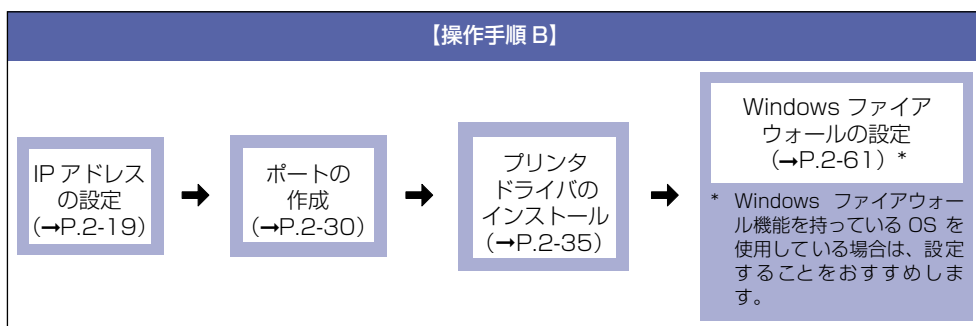
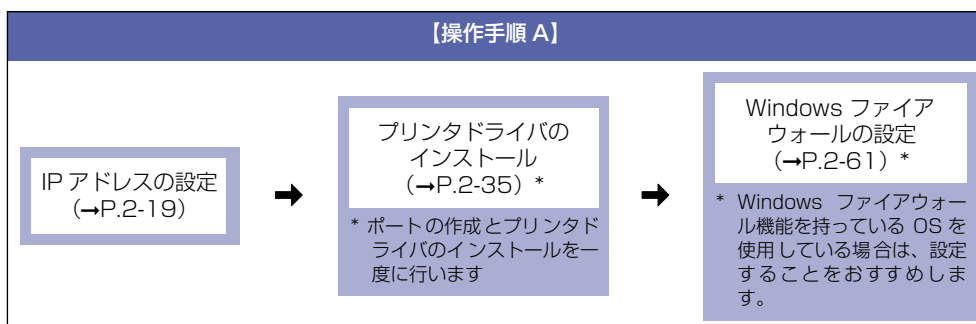
プリンタドライバのインストールが完了しました。
インストール完了後は、CD-ROM ドライブから CD-ROM を取り出すことができます。

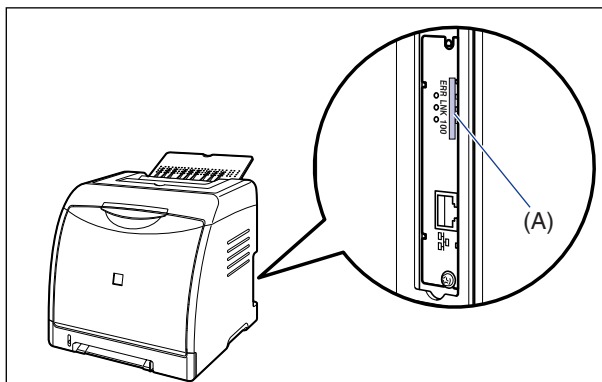
「インストールが完了すると（Windows のみ）」（➞P.2-64）を参照して、正しくインストールされているかを確認してください。
DNS や WINS などの詳細なネットワーク設定については、「プリンタのプロトコル設定」（➞P.2-70）を参照してください。

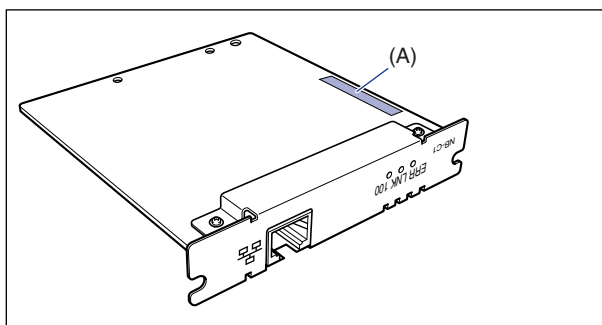
手動セットアップ

お使いのプリンタによって、操作手順が異なります。

※ Macintosh をお使いの場合、プリンタドライバのインストールについては、オンラインマニュアル「第 2 章 プリンタドライバのインストールと印刷方法」を参照してください。

お使いのプリンタ	操作手順
LBP5100/3310	【操作手順 A】を行ってください。
LBP5600/5600SE/5000/3500/3300	【操作手順 B】を行ってください。

メモ　ARP/PING コマンドを使用して IP アドレスの設定をする場合は、MAC アドレスが必要です。MAC アドレスは、ネットワークボードの（A）の部分に記載されています。

● NB-C2 の場合

* プリンタは LBP5100 を例にしています。

● NB-C1 の場合

IP アドレスの設定

IP アドレスを設定する方法は、次の 3 種類あります。

	説明	参照先
NetSpot Device Installer による設定	プリンタに付属の CD-ROM に収められている NetSpot Device Installer で IP アドレスを設定します。	P.2-19
ARP/PING コマンドによる設定	Windows XP SP2などのWindows ファイアウォール機能を持っている OS を使用している場合は、ARP/PING コマンドで IP アドレスを設定します。	P.2-24
プリンタステータスウィンドウによる設定	すでにプリンタドライバがインストールされていて、プリンタとコンピュータが USB ケーブルで接続されているときは、プリンタステータスウィンドウで IP アドレスを設定します。	P.2-27

NetSpot Device Installer による IP アドレスの設定

重要

Windows XP SP2 などの Windows ファイアウォール機能を持っている OS をお使いで、Windows ファイアウォール機能が有効になっている場合は、次の点に気を付けてください。

・IPアドレスはARP/PINGコマンドを使用して設定することをおすすめします(➞P.2-24)。

・NetSpot Device Installer を使用して IP アドレスを設定する場合は、あらかじめ Windows ファイアウォールに「NetSpot Device Installer」を登録する必要があります。次のどちらかの操作を行ってください。

- [Windows ファイアウォール] ダイアログボックスの [例外] ページに「NetSpot Device Installer」を登録する(➞NetSpot Device Installer の Readme)
- NetSpot Device Installer をインストールする(インストールの途中で登録することができます)(➞P.3-43)

NetSpot Device Installer の Readme は、CD-ROM Setup の [付属ソフトウェア] 画面にある [NetSpot Device Installer for TCP/IP] の [ ] をクリックすると表示されます。

メモ

- ここでは、プリンタはLBP5100、OS はWindows XP Professional の画面例で手順を説明します。
- NetSpot Device Installer の画面例は、実際の画面と異なる場合があります。
- ここでは、NetSpot Device Installer をインストールせずに使用する手順で説明します。NetSpot Device Installer をインストールする方法については、「NetSpot Device Installer を使用してプリンタを管理する」(➞P.3-42)を参照してください。
- プリンタに付属の CD-ROM によっては、Macintosh 用の「NetSpot Device Installer」が同梱されていない場合があります。同梱されていない場合は、キヤノンホームページ(http://canon.jp/)からダウンロードしてください。

1 コンピュータとプリンタがネットワーク経由で接続されていることを確認します。

2 プリンタの電源が入っていることを確認します。

3 プリンタに付属の CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットします。

すでに CD-ROM がセットされている場合は、いったん CD-ROM を取り出してもう一度セットします。

メモ

- Windows Vista をお使いの場合、[自動再生] ダイアログボックスが表示されたときは、[AUTORUN.EXE の実行] をクリックします。
- CD-ROM Setup が表示されない場合は、次の方法で表示します。(ここでは、CD-ROM ドライブ名を「D:」と表記しています。CD-ROM ドライブ名は、お使いのコンピュータによって異なります。)
  - ・Windows Vista 以外の OS の場合は、[スタート] メニューから [ファイル名を指定して実行] を選択して「D:¥Japanese¥MInst.exe」と入力し、[OK] をクリックします。
  - ・Windows Vista の場合は、[スタート] メニューの [検索の開始] に「D:¥Japanese¥MInst.exe」と入力して、キーボードの [ENTER] キーを押します。
- Windows Vista をお使いの場合、[ユーザーアカウント制御] ダイアログボックスが表示されたときは、[許可] をクリックします。

4 [付属ソフトウェア] をクリックします。

5 [NetSpot Device Installer for TCP/IP]の[起動]をクリックします。

[使用許諾契約]ダイアログボックスが表示された場合は、内容を確認して、[はい]をクリックします。
NetSpot Device Installer が起動して、プリンタの探索が開始されます。

メモ　Windows Vista をお使いの場合、[ユーザーアカウント制御]ダイアログボックスが表示されたときは、[許可]をクリックします。

6 IP アドレスを設定します。

お使いの環境によって、NetSpot Device Installer の表示が異なります。
デバイスリストに表示された内容に応じて、以下の手順を実行してください。

- [状態]が[未設定]となっていて、[デバイス名]がネットワークボードの MAC アドレスとなっているデバイスが、デバイスリストに表示されている場合（→P.2-22）
- [IP アドレス]が工場出荷時の IP アドレスとなっているデバイスが、デバイスリストに表示されている場合（→P.2-22）
- 上記のどちらにもあてはまらない場合（→P.2-24）

重要　NetSpot Device Installer を使用して IP アドレスを設定する場合は、あらかじめ Windows ファイアウォールに「NetSpot Device Installer」を登録する必要があります。以下のどちらかの操作を行ってください。

・一度 NetSpot Device Installer を終了して、[Windows ファイアウォール]ダイアログボックスの[例外]ページに「NetSpot Device Installer」を登録する（→NetSpot Device Installer の Readme）
・NetSpot Device Installer をインストールする（インストールの途中で登録することができます）（→P.3-43）

NetSpot Device Installer の Readme は、CD-ROM Setup の[付属ソフトウェア]画面にある[NetSpot Device Installer for TCP/IP]の[ ]をクリックすると表示されます。

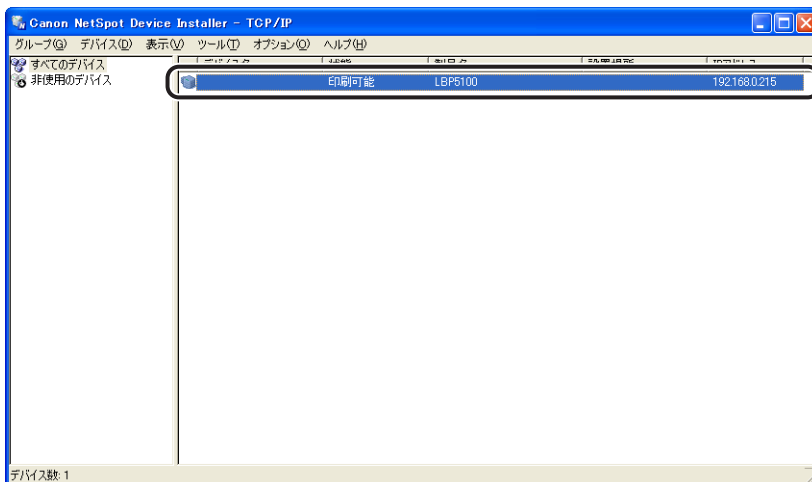
メモ　目的のプリンタが探索されない場合は、[表示]メニューから[デバイスの探索]を選択して、再度プリンタを探索してください。

● [状態] が [未設定] となっていて、[デバイス名] がネットワークボードの MAC アドレスとなっているデバイスが、デバイスリストに表示されている場合

NetSpot Device Installer のヘルプを参照して、IP アドレスの初期設定を行ってください。

※ ヘルプは、[ヘルプ] メニューの [ヘルプ] をクリックすると表示されます。

● [IP アドレス] が工場出荷時の IP アドレスとなっているデバイスが、デバイスリストに表示されている場合

1. 上記デバイスを選択します。

2. [デバイス] メニューから [プロトコル設定] を選択します。

3. IP アドレスを設定します。

設定する項目

[IP アドレス設定方法]： IP アドレスの設定方法を選択します。

[手動設定]： 直接 IP アドレスを指定します。[IP アドレス] に入力した IP アドレスが、ネットワークボードに設定されます。

[自動検出]： RARP、BOOTP、DHCP を使用して IP アドレスを取得します。

[RARP]： RARP を使用して IP アドレスを取得します。(RARP デーモンが起動されている必要があります。)

[BOOTP]： BOOTP を使用して IP アドレスを取得します。(BOOTP デーモンが起動されている必要があります。)

[DHCP]： DHCP を使用して IP アドレスを取得します。(DHCP サーバが起動されている必要があります。)

[IP アドレス]： ネットワークボードの IP アドレスを入力します。

必要に応じて設定する項目

[サブネットマスク]： TCP/IP ネットワークで使用しているサブネットマスクを入力します。

[ゲートウェイアドレス]： TCP/IP ネットワークで使用しているゲートウェイアドレスを入力します。

メモ

- [RARP] を選択したときは、[IP アドレス] は入力できません。
- [BOOTP] や [DHCP] を選択したときは、[IP アドレス]、[サブネットマスク]、[ゲートウェイアドレス] は入力できません。
- RARP、BOOTP、DHCP を使用できないときは、[手動設定] に設定してください。

4. 手順 7 に進みます。

● **上記のどちらにもあてはまらない場合**

ネットワークケーブルが正しく接続されていて、プリンタの電源が入っているにもかかわらず、NetSpot Device Installer の表示が上記のどちらにもあてはまらない場合は、プリンタの IP アドレスの工場出荷値と同じ IP アドレスを持つデバイスがネットワーク上に存在している可能性があります。この場合は、次の操作を行ってください。

1. 同じ IP アドレスを持つデバイスの電源をいったん切るか、ネットワークから切り離す
   この操作が不可能な場合は、ARP/PING コマンドを使用して設定を行ってください（→P.2-24）。
2. 手順 1（→P.2-20）から操作をやり直す
3. 設定が完了したら、既存のデバイスを元の状態に戻す

7 **設定が終了したら、[OK] をクリックします。**

8 **「デバイスをリセットしました。」と表示されたら、[OK] をクリックします。**

正常にリセット処理を行うため、[OK] をクリックしたあと、約 20 秒間はそのままお待ちください。
リセットが完了すると、設定が有効になります。

続いて、次の操作を行ってください。

LBP5100/3310 をお使いの場合	P.2-35 に進んでください。
上記以外の場合	P.2-30 に進んでください。

ARP/PING コマンドによる IP アドレスの設定

1 **コンピュータとプリンタがネットワーク経由で接続されていることを確認します。**

2 **プリンタの電源が入っていることを確認します。**

3 コマンドプロンプトを起動します。

Windows 2000

［スタート］メニューから［プログラム］➞［アクセサリ］➞［コマンドプロンプト］を選択します。

Windows XP　Windows Server 2003　Windows Vista

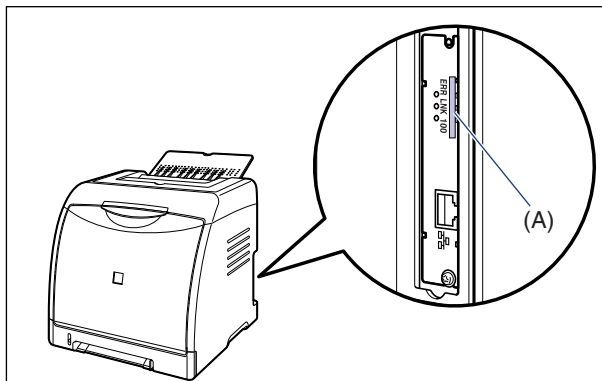
［スタート］メニューから［すべてのプログラム］➞［アクセサリ］➞［コマンドプロンプト］を選択します。

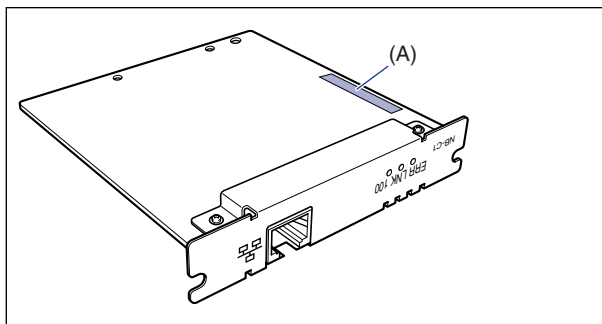
4 以下のコマンドを入力して、キーボードの［ENTER］キーを押します。

arp -s < IP アドレス> < MACアドレス>

IP アドレス：	プリンタに割り当てる IP アドレスを指定します。「.」で区切られた 4 つの数字（0 ～ 255 の数字）で指定します。
MAC アドレス：	プリンタの MAC アドレスを指定します。2 桁ごとに「-」で区切って入力します。
入力例：	arp　-s　192.168.0.215　00-00-85-05-70-31

メモ　MAC アドレスは、ネットワークボードの（A）の部分に記載されています。

● NB-C2 の場合

*　プリンタは LBP5100 を例にしています。

● NB-C1 の場合

5 以下のコマンドを入力して、キーボードの［ENTER］キーを押します。

ping ＜ IP アドレス＞ -l 479

IP アドレス：	手順 4 で使用した IP アドレスと同じアドレスを指定します。
入力例：	ping　192.168.0.215　-l　479

ネットワークボードに IP アドレスが設定されます。

メモ

- 「-l」の l は、アルファベットの l（エル）です。
- サブネットマスク、ゲートウェイアドレスは、［0.0.0.0］に設定されます。

6 「exit」を入力して、キーボードの［ENTER］キーを押します。

コマンドプロンプトが終了します。

続いて、次の操作を行ってください。

LBP5100/3310 をお使いの場合	P.2-35 に進んでください。
上記以外の場合	P.2-30 に進んでください。

プリンタステータスウィンドウによる IP アドレスの設定

すでに USB 接続でプリンタドライバがインストールされている場合は、プリンタステータスウィンドウから設定を行うことができます。

メモ　ここでは、プリンタは LBP5100、OS は Windows XP Professional の画面例で手順を説明します。

1 **［プリンタと FAX］または［プリンタ］フォルダを表示します。**

Windows 2000

［スタート］メニューから［設定］→［プリンタ］を選択します。

Windows XP Professional　Windows Server 2003

［スタート］メニューから［プリンタと FAX］を選択します。

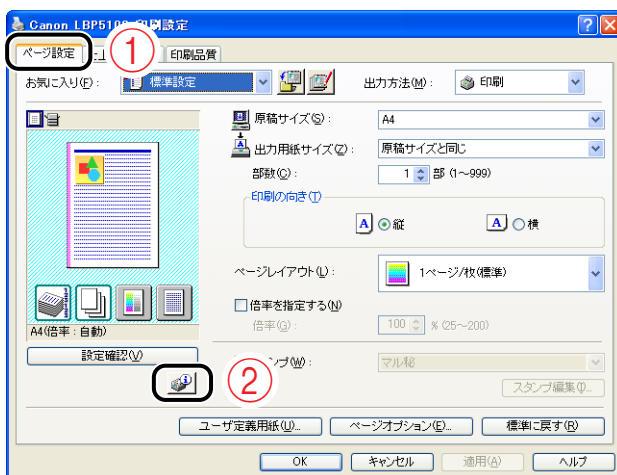
Windows XP Home Edition

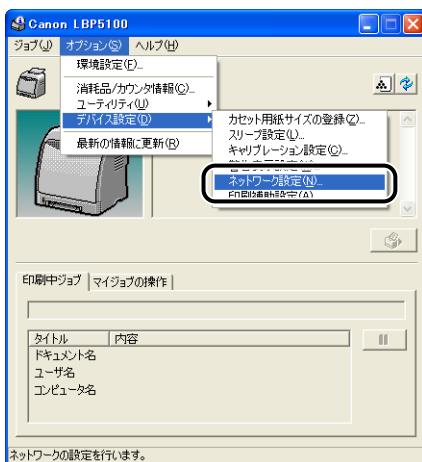
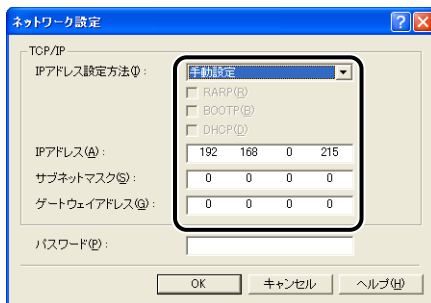
［スタート］メニューから［コントロールパネル］を選択して、［プリンタとその他のハードウェア］→［プリンタと FAX］の順にクリックします。

Windows Vista

［スタート］メニューから［コントロールパネル］を選択して、［プリンタ］をクリックします。

2 **お使いのプリンタのアイコンを右クリックして、ポップアップメニューから［印刷設定］を選択します。**

3 **［ページ設定］ページを表示して ①、［ ］（プリンタステータスウィンドウを表示する）をクリックします ②。**

メモ　プリンタステータスウィンドウについては、「ユーザーズガイド」を参照してください。

4 ［オプション］メニューから［デバイス設定］→［ネットワーク設定］を選択します。

5 IP アドレスを設定します。

設定する項目

［IP アドレス設定方法］：　IP アドレスの設定方法を選択します。

［手動設定］：　直接 IP アドレスを指定します。［IP アドレス］に入力した IP アドレスが、ネットワークボードに設定されます。

［自動検出］：　RARP、BOOTP、DHCP を使用して IP アドレスを取得します。

［RARP］：　RARP を使用して IP アドレスを取得します。（RARP デーモンが起動されている必要があります。）

[BOOTP]： BOOTP を使用して IP アドレスを取得します。（BOOTP デーモンが起動されている必要があります。）

[DHCP]： DHCP を使用して IP アドレスを取得します。（DHCP サーバが起動されている必要があります。）

[IP アドレス]： ネットワークボードの IP アドレスを入力します。

必要に応じて設定する項目

[サブネットマスク]： TCP/IP ネットワークで使用しているサブネットマスクを入力します。

[ゲートウェイアドレス]： TCP/IP ネットワークで使用しているゲートウェイアドレスを入力します。

[パスワード]： ネットワークボードの管理者用パスワードを入力します。パスワードを設定していないときは、入力する必要はありません。

メモ

- [RARP] を選択したときは、[IP アドレス] は入力できません。
- [BOOTP] や [DHCP] を選択したときは、[IP アドレス]、[サブネットマスク]、[ゲートウェイアドレス] は入力できません。
- RARP、BOOTP、DHCP を使用できないときは、[手動設定] に設定してください。

6 設定が終了したら、[OK] をクリックします。

プリンタステータスウィンドウに戻ります。

続いて、次の操作を行ってください。

LBP5100/3310 をお使いの場合	P.2-35 に進んでください。
上記以外の場合	P.2-30 に進んでください。

Canon CAPT Print Monitor のインストール

重要　LBP5100/3310 をお使いの場合は、Canon CAPT Print Monitor のインストールを行う必要はありません。プリンタドライバのインストールへ作業を進めてください。(→P.2-35)

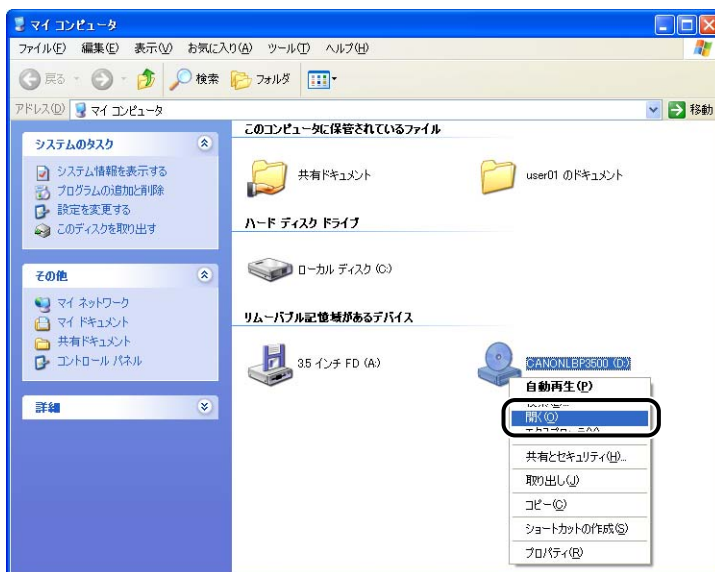
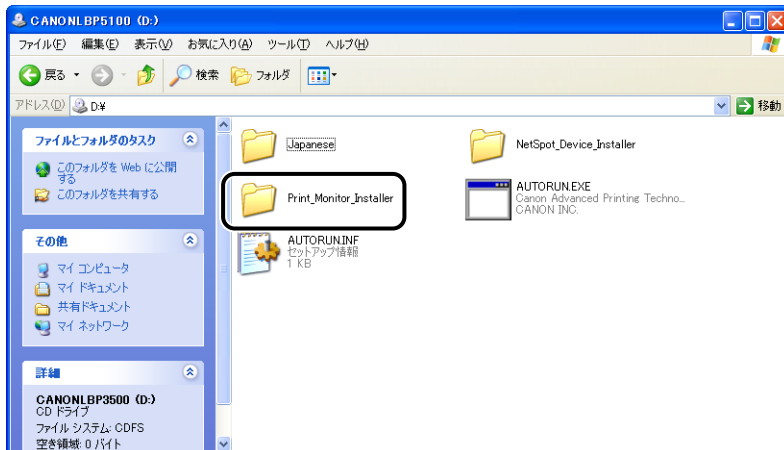
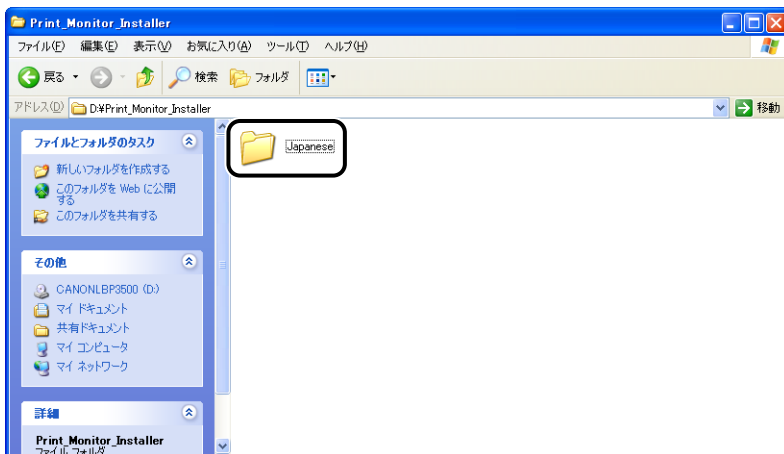
メモ　ここでは、Windows XP Professional の画面例で手順を説明します。

1 プリンタに付属の CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットします。

CD-ROM Setup が表示された場合は、［終了］をクリックします。
Windows Vista をお使いの場合に、［自動再生］ダイアログボックスが表示されたときは、［フォルダを開いてファイルを表示］をクリックして手順４へ進みます。

メモ　キヤノンホームページからダウンロードしたCanon CAPT Print Monitorをインストールするには、ダウンロードしたファイルを解凍して、作成されたフォルダをダブルクリックし、手順５へ進みます。

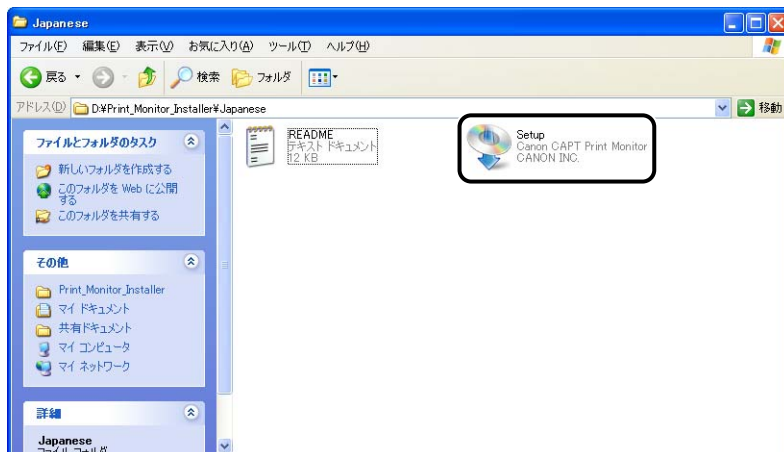
2 ［マイコンピュータ］（Windows Vista は［コンピュータ］）を開きます。

3 CD-ROM アイコンを右クリックして、ポップアップメニューから［開く］を選択します。

4 [Print_Monitor_Installer] フォルダをダブルクリックします。

5 [Japanese] フォルダをダブルクリックします。

6 [Japanese] フォルダの中に [32bit] フォルダと [x64] フォルダがある場合は、お使いの OS に応じたフォルダを開きます。

[32bit] フォルダと [x64] フォルダが無い場合は、手順 7 に進みます。

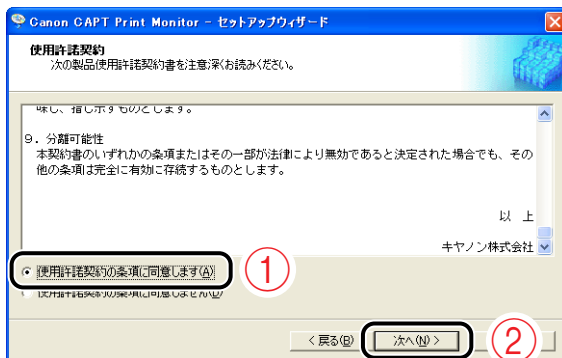
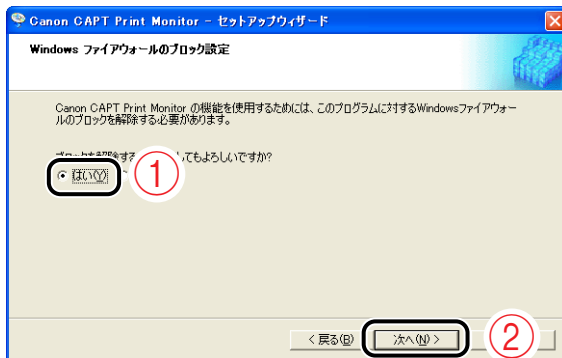
- 32 ビット版 OS の場合
  [32bit] フォルダをダブルクリックします。
- 64 ビット版 OS の場合
  [x64] フォルダをダブルクリックします。

メモ　お使いの Windows Vista が、32 ビット版と 64 ビット版のどちらなのかがわからない場合は、「ユーザーズガイド」を参照してください。

7 [Setup.exe]をダブルクリックします。

Canon CAPT Print Monitorのインストーラが起動します。

メモ　Windows Vista をお使いの場合、[ユーザーアカウント制御]ダイアログボックスが表示されたときは、[許可]をクリックします。

8 [次へ]をクリックします。

9 内容を確認して、[使用許諾契約の条項に同意します] を選択して ①、[次へ] をクリックします ②。

Windows XP SP2 などの Windows ファイアウォール機能を持っている OS を使用している場合に、次の画面が表示されたときは、[はい] を選択して ①、[次へ] をクリックします ②。

10 [開始] をクリックします。

Canon CAPT Print Monitor のインストールが開始されます。

11 画面の指示に従ってコンピュータを再起動します。

次にプリンタドライバのインストールを行ってください。(→P.2-35)

[プリンタとFAX]または[プリンタ]フォルダからプリンタドライバをインストールする

[プリンタと FAX]または[プリンタ]フォルダからインストールする方法は、お使いのOS によって異なります。お使いの OS に応じたインストール方法を参照してください。

• Windows Vista の場合(→P.2-35)
• Windows XP/Server 2003 の場合(→P.2-43)
• Windows 2000 の場合(→P.2-53)

重要　テストページを印刷する場合は、インストールする前に次のことを確認してください。
・プリンタとコンピュータが正しく接続されているか
・プリンタの電源が入っているか

Windows Vista の場合

メモ　ここでは、LBP5100 の画面例で手順を説明します。

1 **コンピュータとプリンタがネットワーク経由で接続されていることを確認します。**

2 **プリンタの電源が入っていることを確認します。**

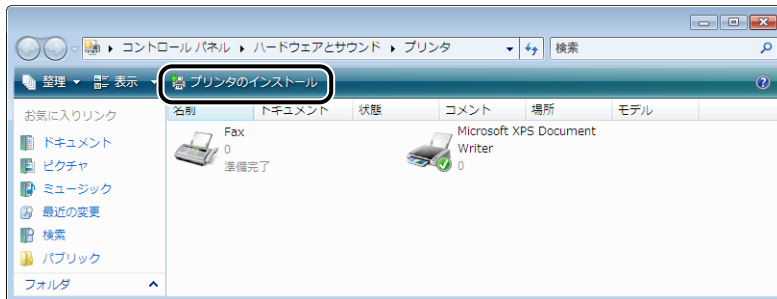
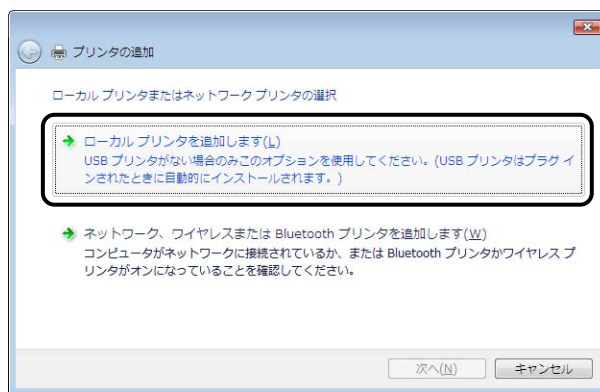
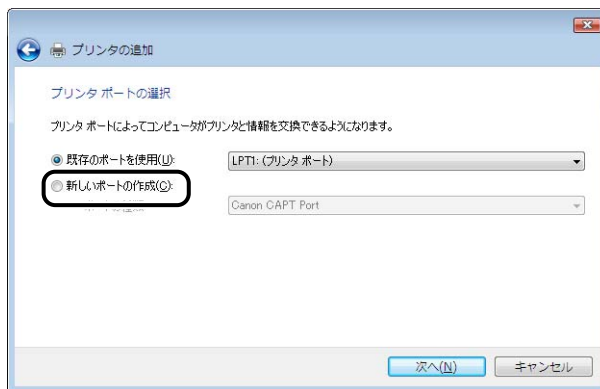
3 **コンピュータの電源を入れて、Windows Vista を起動します。**

4 **管理者権限のユーザとしてログオンします。**

重要　権限がわからない場合は、お使いのコンピュータの管理者へお問い合わせください。

5 **[プリンタ]フォルダを表示します。**

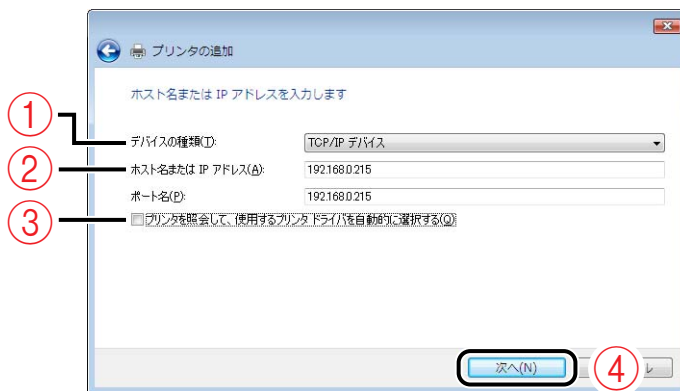
[スタート]メニューから[コントロールパネル]を選択して、[プリンタ]をクリックします。

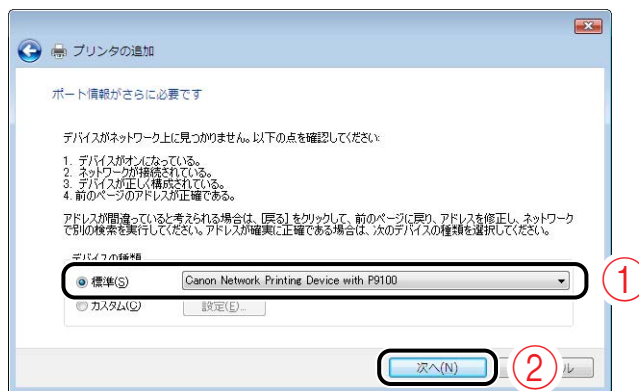
6 ［プリンタのインストール］をクリックします。

7 ［ローカルプリンタを追加します］をクリックします。

8 ［新しいポートの作成］を選択します。

9 ポートを作成します。

● LBP5100/3310 をお使いの場合

1. ［ポートの種類］のリストから［Standard TCP/IP Port］を選択して ①、［次へ］をクリックします ②。

2. プリンタの IP アドレスまたは名前を入力します。

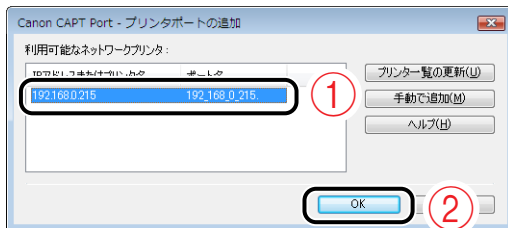
［自動検出］または［TCP/IP デバイス］を選択します ①。
［ホスト名または IP アドレス］に IP アドレスまたはプリンタ名（DNS サーバに登録する DNS 名（最大で半角 78 文字））を入力します ②。
［プリンタを照会して、使用するプリンタードライバを自動的に選択する］のチェックマークを消します ③。
［次へ］をクリックします ④。

IP アドレスを設定する方法によって、入力する値が異なります。詳しくは、「ポートを追加するときの設定について （Windows のみ）」（→P.5-15）を参照するか、ネットワーク管理者へお問い合わせください。

重要　次の画面が表示された場合は、画面の指示に従って再検索を行うか、［デバイスの種類］で［標準］→［Canon Network Printing Device with P9100］を選択して ①、［次へ］をクリックします ②。

3. 手順 10 に進みます。

● LBP5600/5600SE/5000/3500/3300 をお使いの場合

1. ［ポートの種類］のリストから［Canon CAPT Port］を選択して ①、［次へ］をクリックします ②。

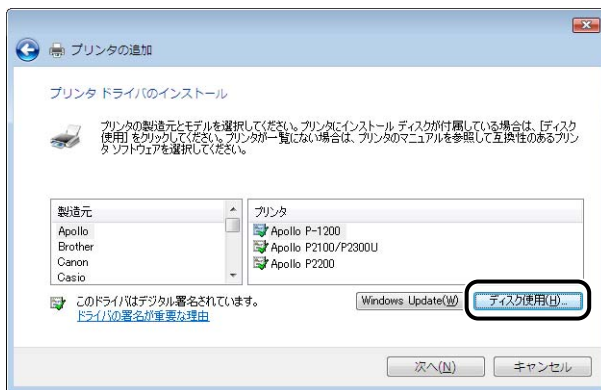
メモ　［Canon CAPT Port］が表示されていない場合は、再度「Canon CAPT Print Monitor のインストール」（→P.2-30）を行ってください。

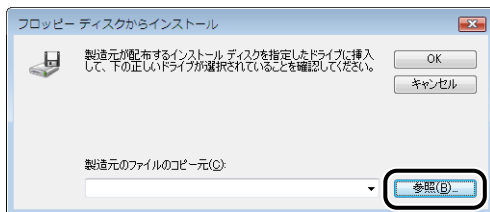
2. ［利用可能なネットワークプリンタ］から NetSpot Device Installer、ARP/PINGコマンド、またはプリンタステータスウィンドウで設定した IP アドレスのポートを選択して ①、［OK］をクリックします ②。

［利用可能なネットワークプリンタ］に目的のプリンタのポート名が表示されていない場合は、［プリンター覧の更新］をクリックします。それでも表示されない場合は、次の操作を行います。

1. ［手動で追加］をクリックする
2. ［IP アドレスまたはプリンタ名］に IP アドレスまたはプリンタ名（DNS サーバに登録する DNS 名（最大で半角 78 文字））を入力して ①、［OK］をクリックする ②

IP アドレスを設定する方法によって、入力する値が異なります。詳しくは、「ポートを追加するときの設定について （Windows のみ）」（→P.5-15）を参照するか、ネットワーク管理者へお問い合わせください。

3. 手順 10 に進みます。

10 ［ディスク使用］をクリックします。

11 プリンタに付属の CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットして、[参照] をクリックします。

CD-ROM Setup が表示された場合は、[終了] をクリックします。

12 プリンタドライバが収められているフォルダを開きます。

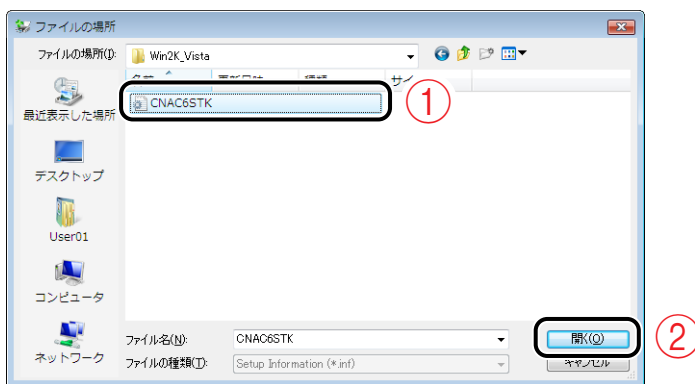
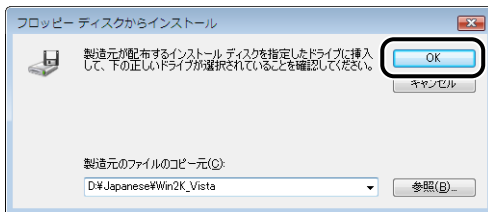
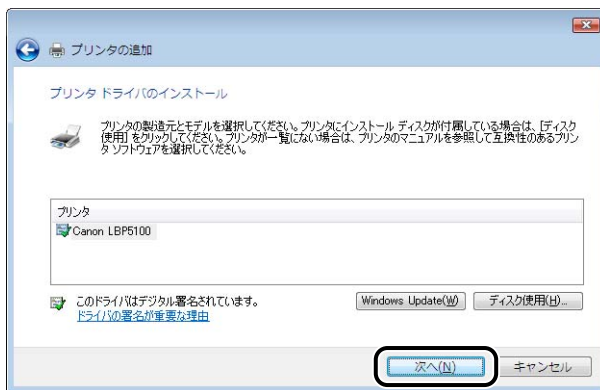
● 32 ビット版 OS の場合

付属の CD-ROM 内の [Japanese] ─ [32bit] ─ [Win2K_Vista] フォルダを開きます。（[Japanese] フォルダの中に [32bit] フォルダがない場合は、[Japanese] ─ [Win2K_Vista] フォルダを開きます。）

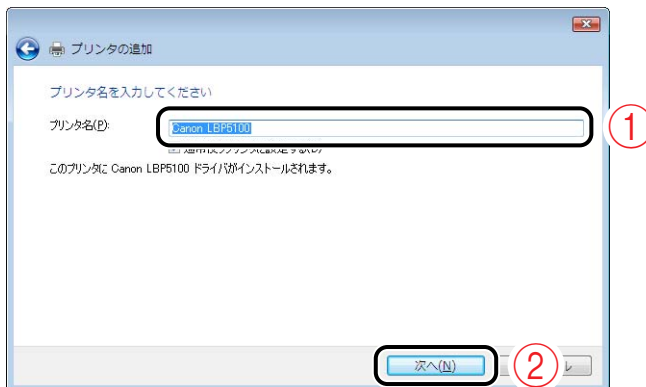
● 64 ビット版 OS の場合

付属の CD-ROM 内の [Japanese] ─ [x64] ─ [Driver] フォルダを開きます。

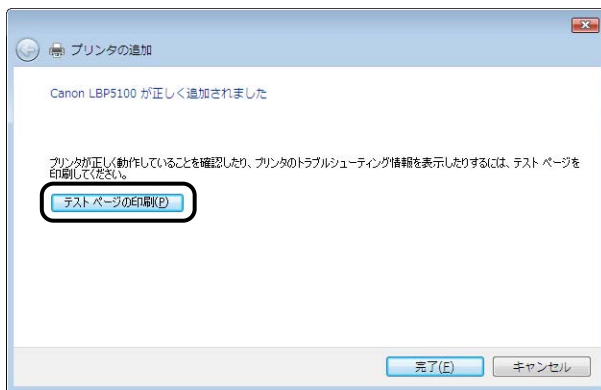
メモ　お使いの Windows Vista が、32 ビット版と 64 ビット版のどちらなのかがわからない場合は、「ユーザーズガイド」を参照してください。

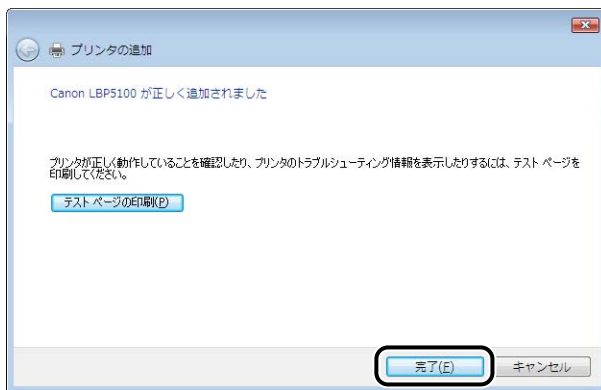
13 INF ファイルを選択して ①、[開く] をクリックします ②。

14 [OK] をクリックします。

15 [次へ] をクリックします。

16 プリンタ名を変更する場合は、[プリンタ名] に新しい名前を入力して ①、[次へ] をクリックします ②。

ファイルのコピーがはじまります。

メモ

- すでにコンピュータに他のプリンタドライバがインストールされている場合は、[通常使うプリンタに設定する] が表示されます。通常使うプリンタに設定する場合には、[通常使うプリンタに設定する] にチェックマークを付けます。

- [ユーザーアカウント制御]ダイアログボックスが表示された場合は、[続行]をクリックします。
- [Windows セキュリティ]ダイアログボックスが表示された場合は、[このドライバソフトウェアをインストールします]をクリックします。

17 テストページを印刷する場合は、[テストページの印刷]をクリックします。

確認のダイアログボックスが表示されます。[閉じる]をクリックしてダイアログボックスを閉じます。

18 [完了]をクリックします。

重要

プリンタドライバをインストールしたコンピュータをプリントサーバとして使用する場合は、クライアント側との通信に対する Windows ファイアウォールのブロックを解除してください *。ブロックの解除のしかたについては、「ユーザーズガイド」を参照してください。

* LBP3310 の場合は、この操作を行う必要はありません。

プリンタドライバのインストールが完了しました。
インストール完了後は、CD-ROM ドライブから CD-ROM を取り出すことができます。
「インストールが完了すると（Windows のみ）」（➞P.2-64）を参照して、正しくインストールされているかを確認してください。
DNS や WINS などの詳細なネットワーク設定については、「プリンタのプロトコル設定」（➞P.2-70）を参照してください。

Windows ファイアウォール機能でポートを開くように設定することをおすすめします。（➞P.2-61）

Windows XP/Server 2003 の場合

メモ　ここでは、プリンタは LBP5100、OS は Windows XP Professional の画面例で手順を説明します。

1 **コンピュータとプリンタがネットワーク経由で接続されていることを確認します。**

2 **プリンタの電源が入っていることを確認します。**

3 **コンピュータの電源を入れて、Windows XP/Server 2003 を起動します。**

4 **管理者権限のユーザとしてログオンします。**

重要　権限がわからない場合は、お使いのコンピュータの管理者へお問い合わせください。

5 **［プリンタと FAX］フォルダを表示します。**

Windows XP Professional　Windows Server 2003

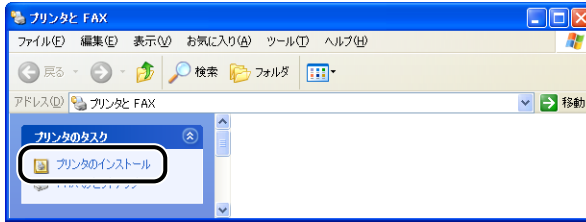
［スタート］メニューから［プリンタと FAX］を選択します。

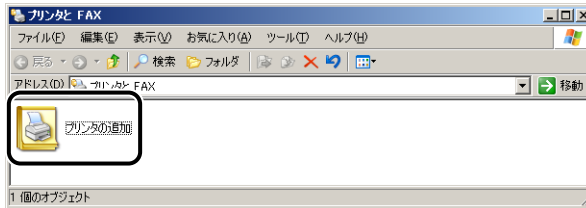
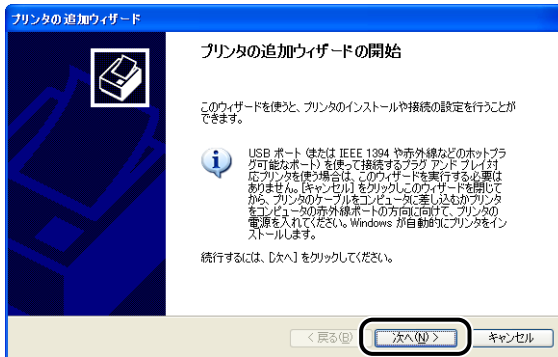
Windows XP Home Edition

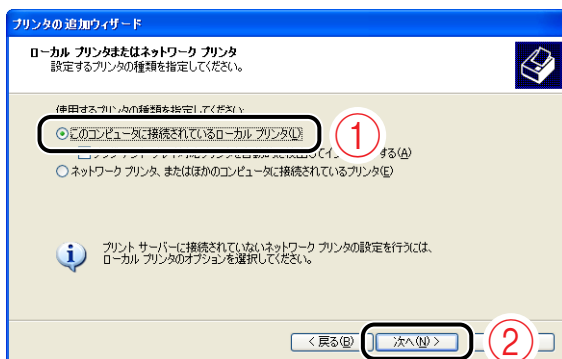
［スタート］メニューから［コントロールパネル］を選択して、［プリンタとその他のハードウェア］➞［プリンタと FAX］の順にクリックします。

6 ［プリンタの追加ウィザード］を表示します。

Windows XP

［プリンタのインストール］をクリックします。

Windows Server 2003

［プリンタの追加］をダブルクリックします。

7 ［次へ］をクリックします。

8 ［このコンピュータに接続されているローカルプリンタ］を選択して ①、［次へ］をクリックします ②。

メモ　［プラグアンドプレイ対応プリンタを自動的に検出してインストールする］は選択しないでください。

9 ［新しいポートの作成］を選択します。

10 ポートを作成します。

● LBP5100/3310 をお使いの場合

1. ［ポートの種類］のリストから［Standard TCP/IP Port］を選択して ①、［次へ］をクリックします ②。

2. ［次へ］をクリックします。

3. ［プリンタ名または IP アドレス］にプリンタの IP アドレスまたは名前（DNS サーバに登録するDNS 名(最大で半角78 文字))を入力して ①、[次へ]をクリックします ②。

プリンタの IP アドレスを設定する方法によって、入力する値が異なります。詳しくは、「ポートを追加するときの設定について （Windows のみ）」（→P.5-15）を参照するか、ネットワーク管理者へお問い合わせください。

重要　次の画面が表示された場合は、画面の指示に従って再検索を行うか、［デバイスの種類］で［標準］→［Canon Network Printing Device with P9100］を選択して ①、［次へ］をクリックします ②。

4.［完了］をクリックします。

5. 手順 11 に進みます。

● LBP5600/5600SE/5000/3500/3300 をお使いの場合

1. ［ポートの種類］のリストから［Canon CAPT Port］を選択して ①、［次へ］をクリックします ②。

メモ　［Canon CAPT Port］が表示されていない場合は、再度「Canon CAPT Print Monitor のインストール」（➞P.2-30）を行ってください。

2. ［利用可能なネットワークプリンタ］から NetSpot Device Installer、ARP/PING コマンド、またはプリンタステータスウィンドウで設定した IP アドレスのポートを選択して ①、［OK］をクリックします ②。

［利用可能なネットワークプリンタ］に目的のプリンタのポート名が表示されていない場合は、［プリンター覧の更新］をクリックします。それでも表示されない場合は、次の操作を行います。

（1）［手動で追加］をクリックする

（2）［IP アドレスまたはプリンタ名］に IP アドレスまたはプリンタ名（DNS サーバに登録する DNS 名（最大で半角 78 文字））を入力して ①、［OK］をクリックする ②

IP アドレスを設定する方法によって、入力する値が異なります。詳しくは、「ポートを追加するときの設定について（Windows のみ）」（➞P.5-15）を参照するか、ネットワーク管理者へお問い合わせください。

3. 手順 11 に進みます。

11 [ディスク使用］をクリックします。

12 プリンタに付属の CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットして、[参照] をクリックします。

CD-ROM Setup が表示された場合は、[終了］をクリックします。

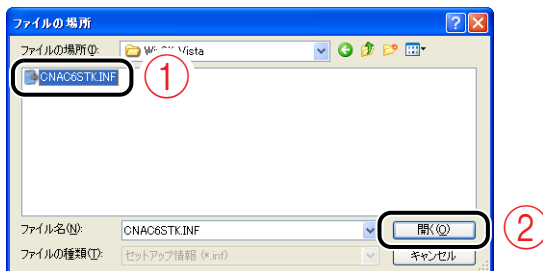
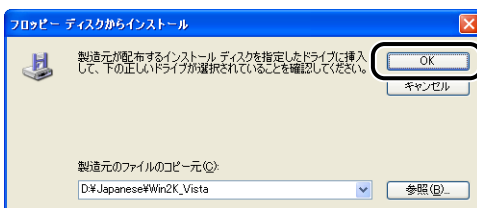
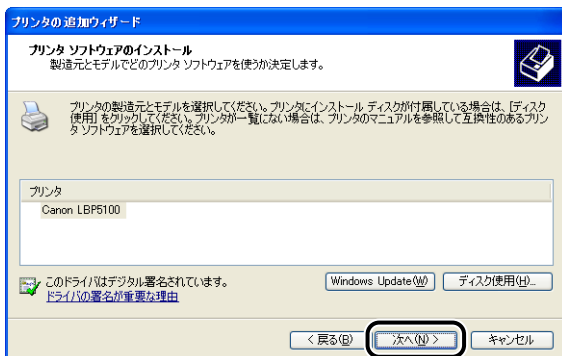
13 プリンタドライバが収められているフォルダを開きます。

• 32 ビット版 OS の場合

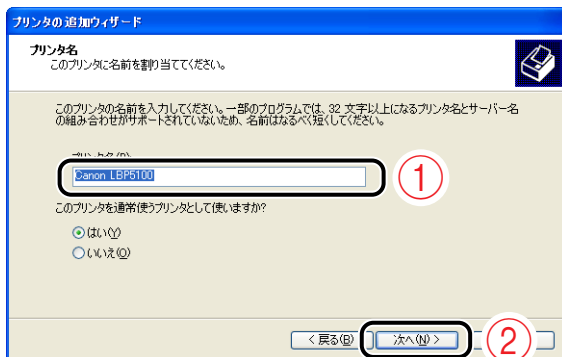
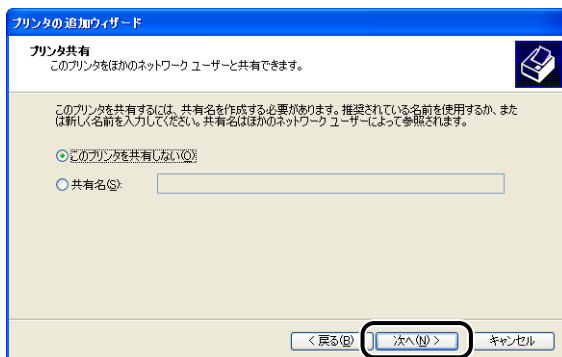
付属の CD-ROM 内の [Japanese] – [32bit] – [Win2K_Vista] フォルダを開きます。（[Japanese］フォルダの中に［32bit］フォルダがない場合は、[Japanese］ – ［Win2K_Vista］フォルダを開きます。）

• 64 ビット版 OS の場合

付属の CD-ROM 内の［Japanese］ – ［x64］ – ［Driver］フォルダを開きます。

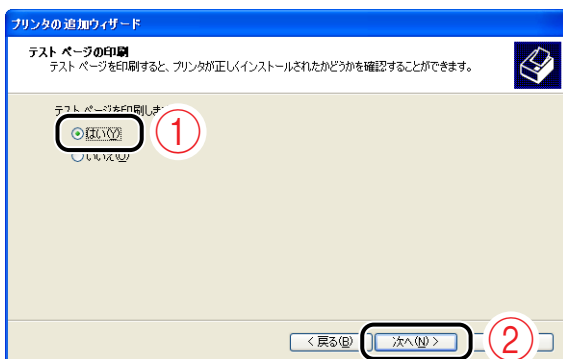
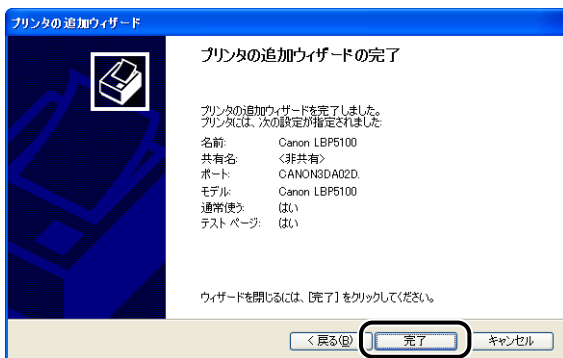
14 INF ファイルを選択して ①、[開く] をクリックします ②。

15 [OK] をクリックします。

16 [次へ] をクリックします。

17 プリンタ名を変更する場合は、[プリンタ名] に新しい名前を入力して ①、[次へ] をクリックします ②。

メモ　すでにコンピュータに他のプリンタドライバがインストールされている場合は、「このプリンタを通常使うプリンタとして使いますか？」が表示されます。[はい] または [いいえ] を選択します。

18 [次へ] をクリックします。

メモ　プリンタをネットワークで共有する場合は、次の操作を行います。

1. [共有名] を選択して、[次へ] をクリックする
2. [場所] と [コメント] を入力する画面が表示されますので、必要に応じて入力する
3. [次へ] をクリックする

19 テストページを印刷する場合は、[はい] を選択して ①、[次へ] をクリックします ②。

20 [完了] をクリックします。

ファイルのコピーがはじまります。

テストページを印刷する場合は、確認のダイアログボックスが表示されます。[OK] をクリックしてダイアログボックスを閉じます。

重要 Windows XP SP2 などの Windows ファイアウォール機能を持っている OS のコンピュータをプリントサーバとして使用する場合は、クライアント側との通信に対する Windows ファイアウォールのブロックを解除してください *。ブロックの解除のしかたについては、「ユーザーズガイド」を参照してください。

* LBP3310 の場合は、この操作を行う必要はありません。

メモ [ハードウェアのインストール] ダイアログボックスが表示された場合は、[続行] をクリックします。

プリンタドライバのインストールが完了しました。
インストール完了後は、CD-ROM ドライブから CD-ROM を取り出すことができます。
「インストールが完了すると（Windows のみ）」（➞P.2-64）を参照して、正しくインストールされているかを確認してください。
DNS や WINS などの詳細なネットワーク設定については、「プリンタのプロトコル設定」（➞P.2-70）を参照してください。

Windows ファイアウォール機能を持っている OS を使用している場合は、Windows ファイアウォール機能でポートを開くように設定することをおすすめします。（➞P.2-61）

Windows 2000 の場合

メモ　ここでは、LBP5100 の画面例で手順を説明します。

1 **コンピュータとプリンタがネットワーク経由で接続されていることを確認します。**

2 **プリンタの電源が入っていることを確認します。**

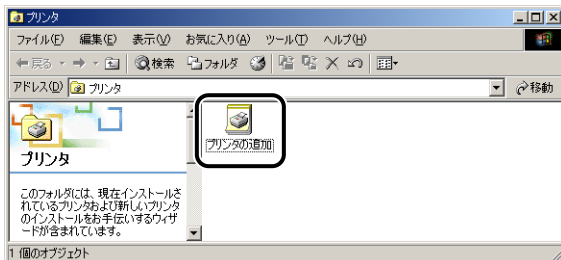
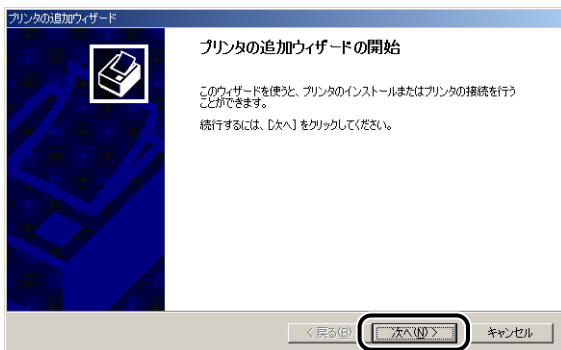
3 **コンピュータの電源を入れて、Windows 2000 を起動します。**

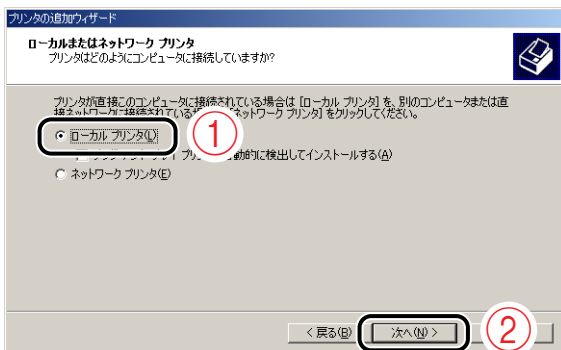
4 **管理者権限のユーザとしてログオンします。**

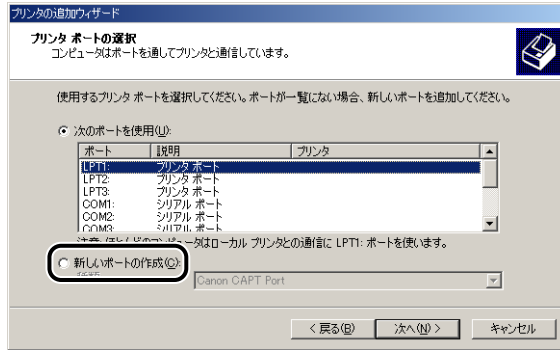
重要　権限がわからない場合は、お使いのコンピュータの管理者へお問い合わせください。

5 **［プリンタ］フォルダを表示します。**

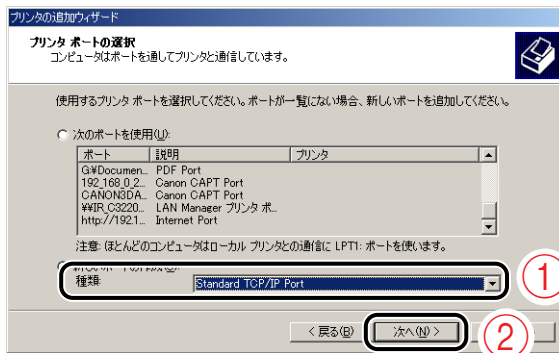
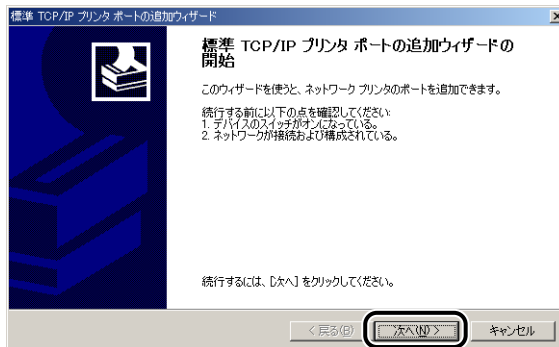
［スタート］メニューから［設定］➞［プリンタ］を選択します。

6 ［プリンタの追加］をダブルクリックします。

7 ［次へ］をクリックします。

8 ［ローカルプリンタ］を選択して①、［次へ］をクリックします②。

メモ ［プラグアンドプレイプリンタを自動的に検出してインストールする］は選択しないでください。

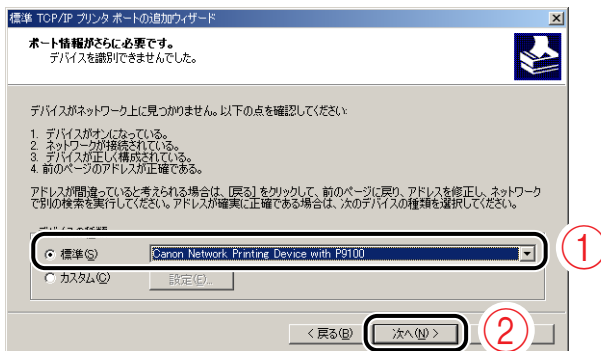
9 ［新しいポートの作成］を選択します。

10 ポートを作成します。

● LBP5100/3310 をお使いの場合

1. ［種類］のリストから［Standard TCP/IP Port］を選択して ①、［次へ］をクリックします ②。

2. ［次へ］をクリックします。

3. ［プリンタ名または IP アドレス］にプリンタの IP アドレスまたは名前（DNS サーバに登録するDNS 名(最大で半角78 文字)）を入力して ①、［次へ］をクリックします ②。

プリンタの IP アドレスを設定する方法によって、入力する値が異なります。詳しくは、「ポートを追加するときの設定について （Windows のみ)」（➞P.5-15）を参照するか、ネットワーク管理者へお問い合わせください。

重要 次の画面が表示された場合は、画面の指示に従って再検索を行うか、［デバイスの種類］で［標準］➞［Canon Network Printing Device with P9100］を選択して ①、［次へ］をクリックします ②。

4. ［完了］をクリックします。

5. 手順 11 に進みます。

● LBP5600/5600SE/5000/3500/3300 をお使いの場合

1. [種類]のリストから[Canon CAPT Port]を選択して ①、[次へ]をクリックします ②。

メモ　[Canon CAPT Port] が表示されていない場合は、再度「Canon CAPT Print Monitor のインストール」(➞P.2-30) を行ってください。

2. [利用可能なネットワークプリンタ] から NetSpot Device Installer、ARP/PING コマンド、またはプリンタステータスウィンドウで設定した IP アドレスのポートを選択して ①、[OK] をクリックします ②。

[利用可能なネットワークプリンタ] に目的のプリンタのポート名が表示されていない場合は、[プリンター覧の更新] をクリックします。それでも表示されない場合は、次の操作を行います。

(1) [手動で追加] をクリックする

(2) [IP アドレスまたはプリンタ名] に IP アドレスまたはプリンタ名 (DNS サーバに登録する DNS 名 (最大で半角 78 文字)) を入力して ①、[OK] をクリックする ②

IP アドレスを設定する方法によって、入力する値が異なります。詳しくは、「ポートを追加するときの設定について (Windows のみ)」(➞P.5-15) を参照するか、ネットワーク管理者へお問い合わせください。

3. 手順 11 に進みます。

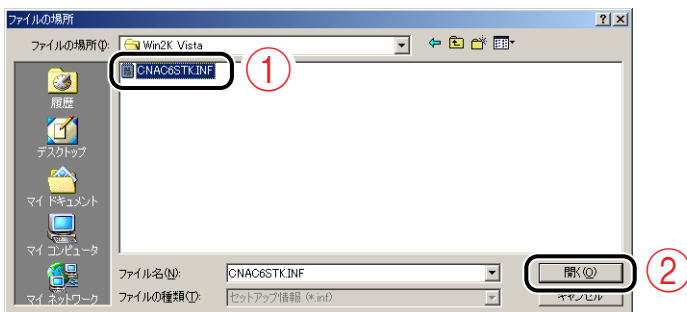
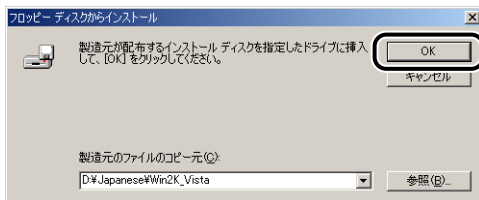
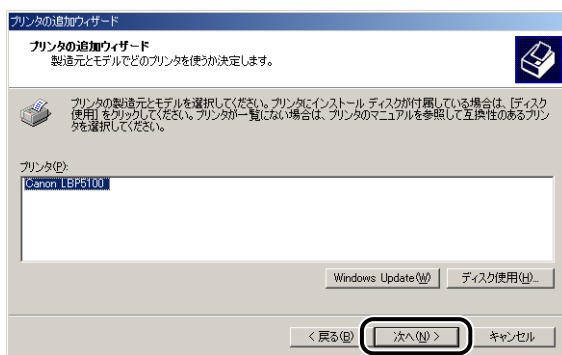
11 ［ディスク使用］をクリックします。

12 プリンタに付属のCD-ROMをCD-ROMドライブにセットして、［参照］をクリックします。

CD-ROM Setupが表示された場合は、［終了］をクリックします。

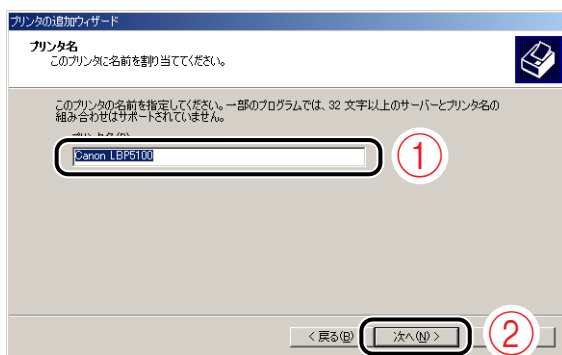
13 プリンタドライバが収められているフォルダを開きます。

付属のCD-ROM内の［Japanese］－［32bit］－［Win2K_Vista］フォルダを開きます。（［Japanese］フォルダの中に［32bit］フォルダがない場合は、［Japanese］－［Win2K_Vista］フォルダを開きます。）

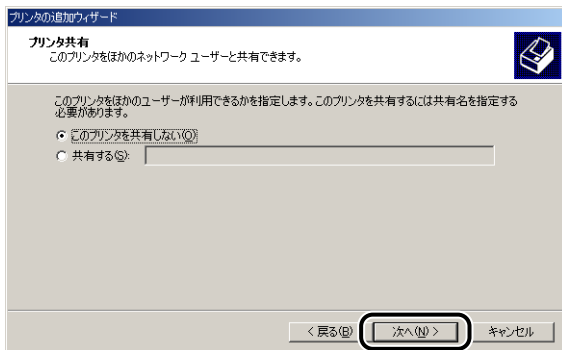
14 INFファイルを選択して①、［開く］をクリックします②。

15 [OK] をクリックします。

16 [次へ] をクリックします。

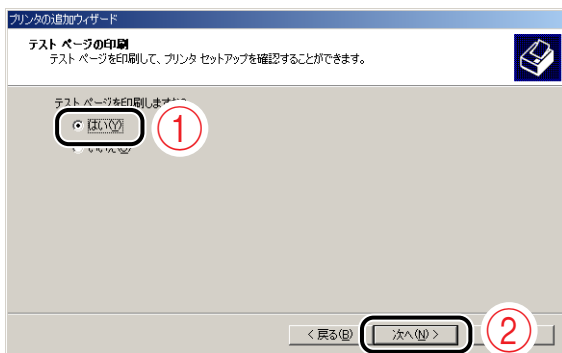
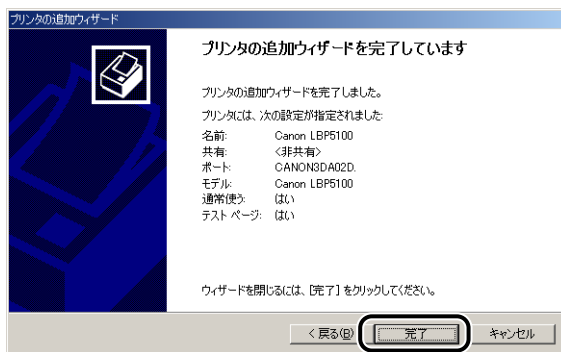
17 プリンタ名を変更する場合は、[プリンタ名] に新しい名前を入力して ①、[次へ] をクリックします ②。

メモ

すでにコンピュータに他のプリンタドライバがインストールされている場合は、「Windows アプリケーションで、このプリンタを通常使うプリンタとして使いますか？」が表示されます。[はい] または [いいえ] を選択します。

18 ［次へ］をクリックします。

メモ

プリンタをネットワークで共有する場合は、次の操作を行います。

1. ［共有する］を選択して、［次へ］をクリックする
2. ［場所］と［コメント］を入力する画面が表示されますので、必要に応じて入力する
3. ［次へ］をクリックする

19 テストページを印刷する場合は、［はい］を選択して ①、［次へ］をクリックします ②。

20 ［完了］をクリックします。

ファイルのコピーがはじまります。

テストページを印刷する場合は、確認のダイアログボックスが表示されます。［OK］をクリックしてダイアログボックスを閉じます。

メモ ［デジタル署名が見つかりませんでした］ダイアログボックスが表示された場合は、［はい］をクリックします。

プリンタドライバのインストールが完了しました。
インストール完了後は、CD-ROM ドライブから CD-ROM を取り出すことができます。
「インストールが完了すると（Windows のみ）」（➞P.2-64）を参照して、正しくインストールされているかを確認してください。
DNS や WINS などの詳細なネットワーク設定については、「プリンタのプロトコル設定」（➞P.2-70）を参照してください。

Windows ファイアウォール機能でポートを開く

Windows ファイアウォール機能でポートを開く設定をします。

設定しなくても印刷はできますが、プリンタステータスウィンドウでステータスの取得に時間がかかることがあります。

1 ［Windows ファイアウォール］（Windows Vista は［Windows ファイアウォールの設定］）ダイアログボックスを表示します。

Windows XP

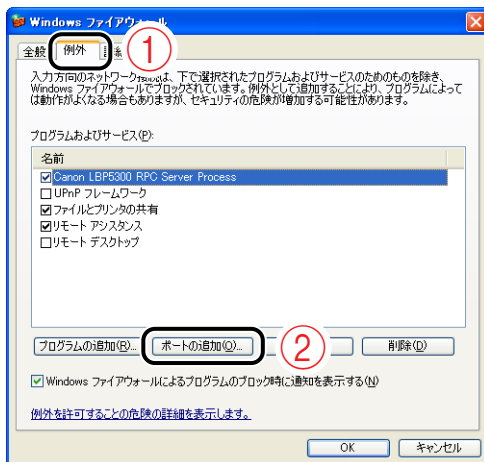
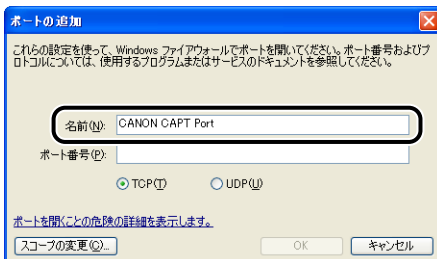
［スタート］メニューから［コントロールパネル］を選択して、［ネットワークとインターネット接続］➞［Windows ファイアウォール］の順にクリックします。

Windows Server 2003

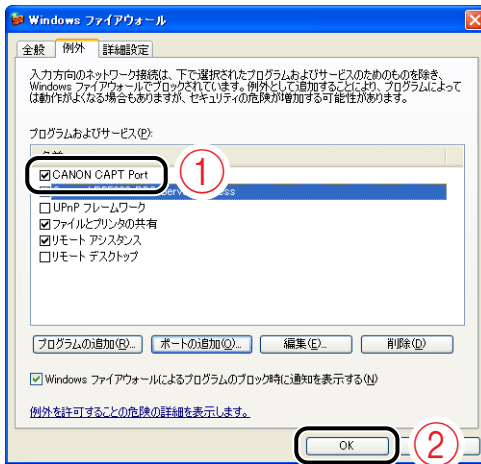
［スタート］メニューから［コントロールパネル］➞［Windows ファイアウォール］を選択します。

Windows Vista

［スタート］メニューから［コントロールパネル］を選択して、［Windows ファイアウォールによるプログラムの許可］をクリックします。

2 ［例外］ページを表示して①、［ポートの追加］をクリックします②。

3 ［名前］に「CANON CAPT Port」と入力します。

4 ［ポート番号］に「3756」と入力します。

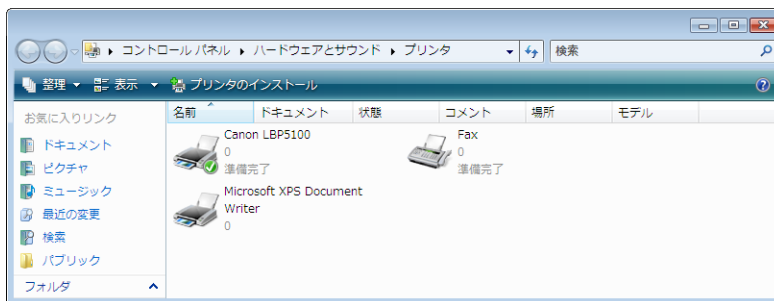
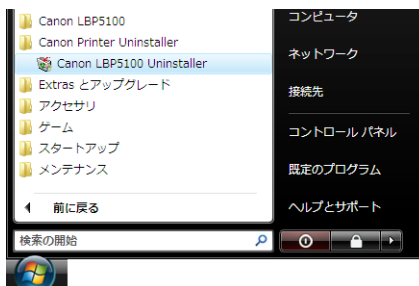
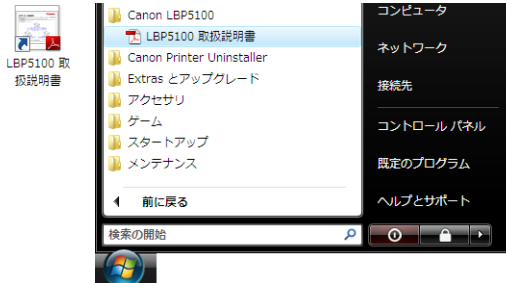
5 ［UDP］を選択して①、［OK］をクリックします②。

6 ［プログラムおよびサービス］（Windows Vista は［プログラムまたはポート］）に「CANON CAPT Port」が追加されていることを確認して①、［OK］をクリックします②。

インストールが完了すると（Windows のみ）

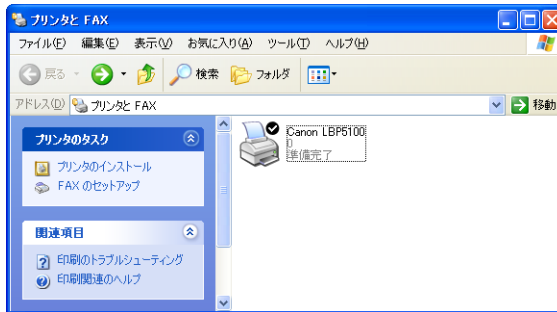
プリンタドライバのインストールが完了すると、プリンタのアイコンやフォルダが作成されます。

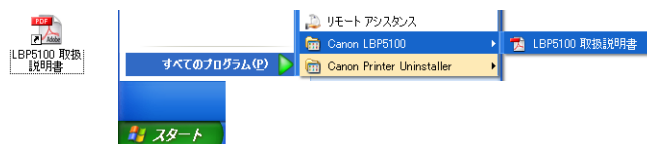
Windows Vista の場合

メモ　ここでは、LBP5100 の画面例で説明します。

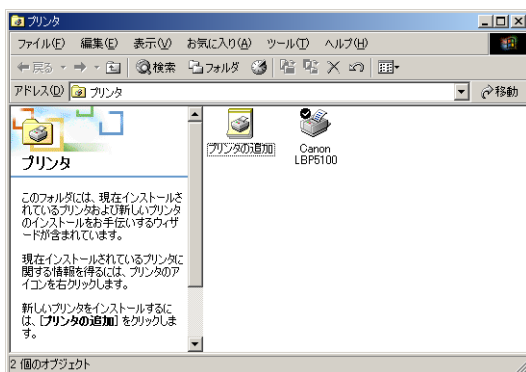
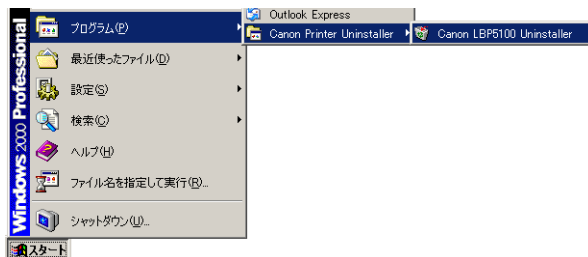
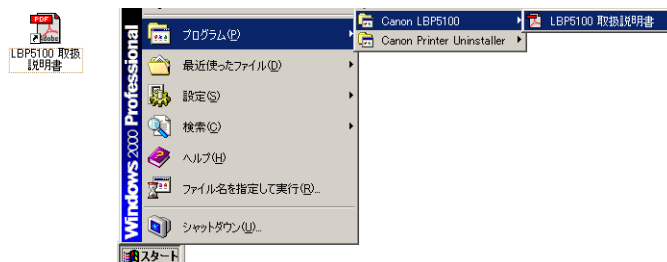
- ［プリンタ］フォルダにプリンタアイコンが表示されます。

- ［スタート］メニューの［すべてのプログラム］に［Canon Printer Uninstaller］が追加されます。

- 取扱説明書をインストールした場合は、デスクトップに［LBPXXXX 取扱説明書］が作成され、［スタート］メニューの［すべてのプログラム］に［Canon LBPXXXX］-［LBPXXXX 取扱説明書］が追加されます（XXXX は機種名）。

Windows XP/Server 2003 の場合

ここでは、プリンタは LBP5100、OS は Windows XP Professional の画面例で説明します。

- ［プリンタと FAX］フォルダにプリンタアイコンが表示されます。

- ［スタート］メニューの［すべてのプログラム］に［Canon Printer Uninstaller］が追加されます。

- 取扱説明書をインストールした場合は、デスクトップに［LBPXXXX 取扱説明書］が作成され、［スタート］メニューの［すべてのプログラム］に［Canon LBPXXXX］-［LBPXXXX 取扱説明書］が追加されます（XXXX は機種名）。

Windows 2000 の場合

メモ　ここでは、LBP5100 の画面例で説明します。

- ［プリンタ］フォルダにプリンタアイコンが表示されます。

- ［スタート］メニューの［プログラム］に［Canon Printer Uninstaller］が追加されます。

- 取扱説明書をインストールした場合は、デスクトップに［LBPXXXX 取扱説明書］が作成され、［スタート］メニューの［プログラム］に［Canon LBPXXXX］-［LBPXXXX 取扱説明書］が追加されます（XXXX は機種名）。

ネットワークステータスプリントを印刷して動作を確認する

プリンタドライバをインストールした後は、次の手順で必ずネットワークステータスプリントを印刷して動作を確認してください。ネットワークステータスプリントには、オプションのネットワークボードのバージョンや TCP/IP の設定などが印刷されます。

※ Macintosh をお使いの場合、ネットワークステータスプリントの印刷はできません。

メモ

- ネットワークステータスプリントは、A4 サイズ用に設定されています。A4 サイズの用紙をセットしてください。
- ここでは、プリンタはLBP5100、OS はWindows XP Professional の画面例で手順を説明します。

1 ［プリンタと FAX］または［プリンタ］フォルダを表示します。

Windows 2000

［スタート］メニューから［設定］→［プリンタ］を選択します。

Windows XP Professional　Windows Server 2003

［スタート］メニューから［プリンタと FAX］を選択します。

Windows XP Home Edition

［スタート］メニューから［コントロールパネル］を選択して、［プリンタとその他のハードウェア］→［プリンタと FAX］の順にクリックします。

Windows Vista

［スタート］メニューから［コントロールパネル］を選択して、［プリンタ］をクリックします。

2 お使いのプリンタのアイコンを右クリックして、ポップアップメニューから［印刷設定］を選択します。

3 ［ページ設定］ページを表示して①、［ ］（プリンタステータスウィンドウを表示する）をクリックします②。

メモ　プリンタステータスウィンドウについては、「ユーザーズガイド」を参照してください。

4 ［オプション］メニューから［ユーティリティ］→［ネットワークステータスプリント］を選択します。

5 ［OK］をクリックします。

ネットワークステータスプリントが印刷されます。

Canon ネットワークステータスプリント

項目	値
製品名	:LBP5100
CAPTインタフェースバージョン	:2.1
インタフェース	:Fast Ethernet 10/100BaseT
伝送速度	:10/100Mbps
MACアドレス	:00:00:85:92:A9:E2
ファームウェア名	:NB-C2
ファームウェアバージョン	:
CANON-MIBバージョン	:
プリントサーバ名	:CANON92A9E2
TCP/IP	
IPアドレス	:192.168.0.215
サブネットマスク	:Automatic router sensing
ゲートウェイアドレス	:Automatic router sensing
DHCPによるアドレス設定	:OFF
BOOTPによるアドレス設定	:OFF
RARPによるアドレス設定	:OFF
DNSサーバアドレス	:0.0.0.0
DNSホスト名	:
DNSドメイン名	:
SMTPサーバ名	:
WINSサーバアドレス	:
WINSホスト名	:
SNTPサーバ名	:
マルチキャスト探索応答	:ON
セキュリティ	
SNMPv1	:ON
SNMPv3	:OFF
TCP/IP印刷の制限	:OFF
SNMP設定/参照の制限	:OFF
マルチキャスト探索の制限	:OFF
MACアドレスアクセスの制限	:OFF
SMTP認証	:OFF
ポート	:IP_192.168.0.215
キヤノン CAPT プリントモニタ	
バージョン	:1.40
CAPT TCP/IPポートモジュール	
バージョン	:1.41

Canon および Canon ロゴ はキヤノン株式会社の商標です。

重要 ここに掲載されているネットワークステータスプリントはサンプルです。お使いのプリンタで印刷したネットワークステータスプリントとは、内容が異なることがあります。

メモ ネットワークステータスプリントが正しく印刷されなかった場合は、「第４章 困ったときには」を参照してください。

プリンタのプロトコル設定

プリンタドライバのインストールが終わったら、必要に応じてプリンタのプロトコル設定を行ってください。プリンタのプロトコル設定は、次のいずれかのソフトウェアを使用して、お使いのコンピュータから設定できます。

■ **リモート UI によるプロトコル設定（→P.2-71）**
お手持ちの Web ブラウザからネットワークを経由してプリンタにアクセスして、プロトコル設定を行います。

■ **NetSpot Device Installer によるプロトコル設定（→P.2-78）**
プリンタに付属の CD-ROM から NetSpot Device Installer、またはインストールした NetSpot Device Installer を起動して、基本的なプロトコル設定を行います。DNS サーバや SMTP サーバの設定をする場合は、リモート UI、FTP クライアントを使用してください。

■ **FTP クライアントによるプロトコル設定（→P.2-84）**
コマンドプロンプト（Macintosh はターミナル）を使用して、ネットワークボードの FTP サーバにアクセスし、プロトコル設定を行います。

リモートUIによるプロトコル設定

メモ
- ここでは、プリンタはLBP5100、OSはWindows XP Professionalの画面例で手順を説明します。
- リモートUIの詳細については、「リモートUIガイド」を参照してください。

1 **Webブラウザを起動します。**

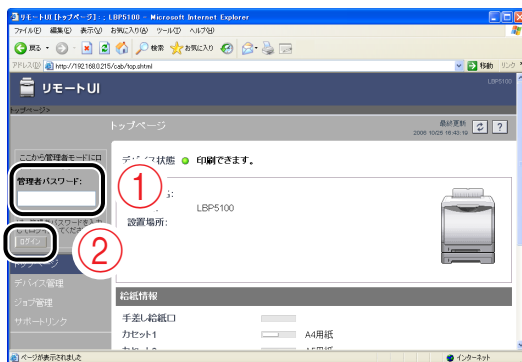
2 **アドレス入力欄に次のURLを入力したあと、キーボードの［ENTER］キーを押します。**

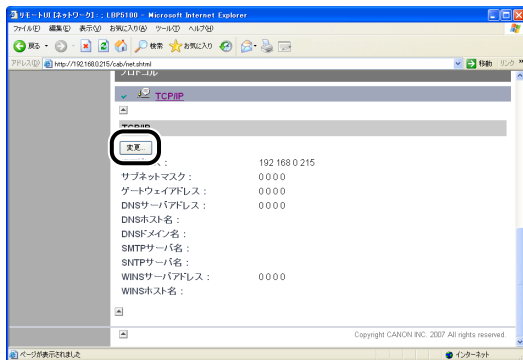
http://<プリンタのIPアドレスまたは名前>/

入力例： http://192.168.0.215/

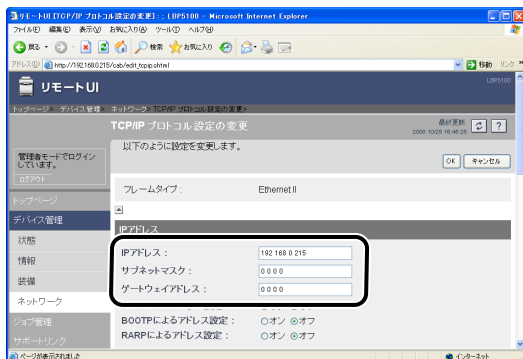
重要
- プリンタのIPアドレスがわからないときは、ネットワークステータスプリントを参照するかネットワーク管理者に相談してください。
  ネットワークステータスプリントについては、「ネットワークステータスプリントを印刷して動作を確認する」（➞P.2-67）を参照してください（Macintoshをお使いの場合、ネットワークステータスプリントの印刷はできません）。
- DNSサーバにプリンタのホスト名が登録されているときは、IPアドレスのかわりに［ホスト名.ドメイン名］で入力することもできます。
  例：http://my_printer.xy_dept.company.co.jp/

3 **［管理者パスワード］を入力して①、［ログイン］をクリックします②。**

メモ
パスワードを設定していないときは、入力する必要はありません。

4 ［デバイス管理］メニューから［ネットワーク］をクリックします。

5 ［TCP/IP］にある［変更］をクリックします。

6 ［IP アドレス］、［サブネットマスク］、［ゲートウェイアドレス］を設定します。

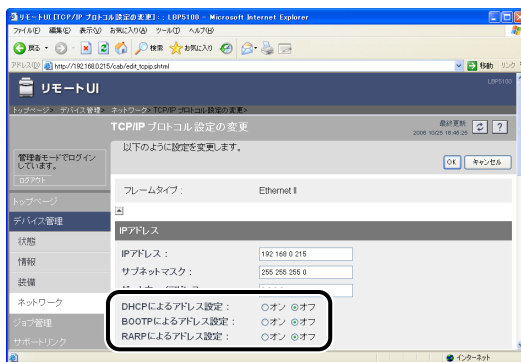
［IP アドレス］には、プリンタの IP アドレスを指定します。［サブネットマスク］、［ゲートウェイアドレス］には、TCP/IP ネットワークでお使いのものを指定します。

メモ

- DHCP、BOOTP、RARPのいずれかをお使いの場合でも、[IP アドレス]、[サブネットマスク]、[ゲートウェイアドレス] を設定しておいてください。DHCP、BOOTP、RARPのサーバから情報を取得できなかった場合、ここで設定した値を使用します。
- DHCP、BOOTP、RARP のいずれかを使用する設定を行った場合、ネットワークボードのリセット後は、これらから取得した値が表示されます（あらかじめ設定してあった場合は、DHCP、BOOTP、RARP で取得できた項目については上書きされます）。
- プリンタドライバのインストールをしたあとに IPアドレスを変更した場合や IPアドレスの取得方法を変更した場合は、ポートを設定しなおす必要がある場合があります。
ポートを設定しなおす方法は、「IP アドレスを変更したあとに（ポートの変更について）」（➞P.5-18）を参照してください。

必要に応じて、以降の手順に記載している設定を行ってください。

設定を行わない場合は、手順 13 へ進んでください。

7 プリンタの IP アドレスの設定方法を選択します。

プリンタに直接 IP アドレスを割り当てるほかに、DHCP、BOOTP、RARPのいずれかを使用して IP アドレスを設定することもできます。
[DHCP によるアドレス設定]、[BOOTP によるアドレス設定]、[RARP によるアドレス設定] のうち、IP アドレスの設定に使用する項目を［オン］にします。

プリンタの起動時やリセット時は、DHCP、BOOTP、RARPが使用可能かどうかを調べ、最初に使用可能とわかった設定方法で IP アドレスを割り当てます。[DHCP によるアドレス設定]、[BOOTP によるアドレス設定]、[RARP によるアドレス設定] を［オフ］にしたときは、その項目のチェックは行われません。
これらがいずれも使用できないときは、[IP アドレス] に設定されている IP アドレスを割り当てます。

重要

DHCP、BOOTP、RARP を使用して IP アドレスを設定する場合のポートの設定方法については、「ポートを追加するときの設定について（Windows のみ）」（➞P.5-15）を参照するか、ネットワーク管理者へお問い合わせください。

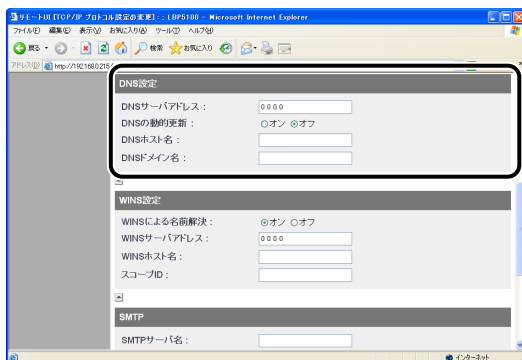
メモ

- DHCP、BOOTP、RARP が使用可能かどうかのチェックは 1 ～ 2 分程度かかりますので、使用しない項目を［オフ］にすることをおすすめします。

- DHCP、RARP、BOOTPを使用してIPアドレスを割り当てるには、それぞれのサーバ（またはデーモン）がネットワーク上で起動している必要があります。例えば、DHCPを使用する場合は、DHCPサーバ（またはデーモン）が必要です。
- DHCPサーバの機能を使用して、自動的にプリンタにIPアドレスを割り当てる場合、プリンタの電源を入れなおすと、印刷できなくなることがあります。これは、今まで使用していたIPアドレスとは異なるIPアドレスが割り当てられたためです。
DHCPサーバの機能を使用する場合は、ネットワーク管理者にお問い合わせの上、次のいずれかの設定を行ってください。
  ･DNS動的更新機能の設定をする（→手順8）
  ･プリンタの起動時に常に同じIPアドレスを割り当てるように設定する（→ネットワーク管理者）

2

ネットワーク環境で印刷する環境を設定するには

8 ［DNS設定］を設定します。

1. ［DNSサーバアドレス］に、DNSサーバのIPアドレスを入力します。
2. ［DNSの動的更新］を設定します。

   DNSサーバへの動的更新機能を使用する場合は、［DNSの動的更新］を［オン］に設定します。
   動的更新機能を使用しない場合は、［オフ］に設定します。
3. ［DNSホスト名］に、DNSサーバに登録するホスト名を設定します。
4. ［DNSドメイン名］に、プリンタの所属するドメイン名を入力します。

   入力例： example.co.jp

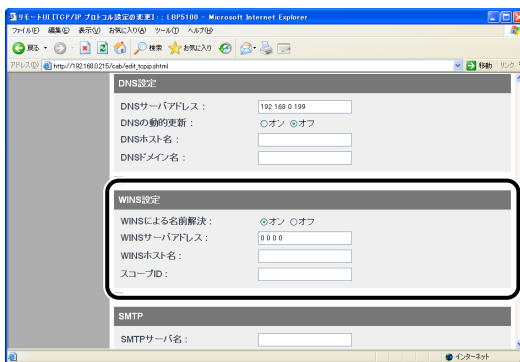
重要

- DNSの動的更新とは、デバイスのIPアドレスとホスト名、ドメイン名に指定した名前を自動的にDNSサーバに登録する機能です。この機能は、ダイナミックDNSサーバがある環境で使用することができます。
- DNSの動的更新機能を使用するには、DNSサーバのIPアドレスとホスト名、ドメイン名の設定が必要です。
- DNSサーバを使用する場合のポートの設定方法については、「ポートを追加するときの設定について （Windowsのみ）」（→P.5-15）を参照するか、ネットワーク管理者へお問い合わせください。

メモ

DNSは次の場合に使用されます。
･SMTPサーバ名の名前解決を使用するとき（手順10でSMTPサーバを名前で指定するとき）

・SNTP サーバ名の名前解決を使用するとき（手順 11 で SNTP サーバを名前で指定するとき）

9 ［WINS 設定］を設定します。

● WINS による名前解決を使用する場合

1. ［WINS による名前解決］を［オン］に設定します。
2. ［WINS サーバアドレス］に、WINS サーバの IP アドレスを入力します。
3. ［WINS ホスト名］に、WINS サーバに登録するホスト名を入力します。
4. ［スコープID］に、WINSサーバから検索したいNetBIOS 名のスコープIDを入力します。

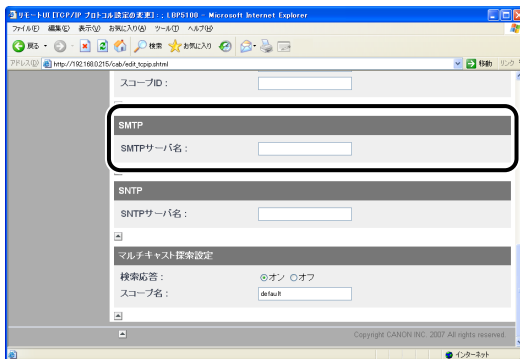
   文字列を「.」で区切って入力することで、絞込検索が行えます。

● WINS による名前解決を使用しない場合

［WINS による名前解決］を［オフ］に設定します。

10 紙づまりが起きた場合などに、プリンタの状況を電子メールで送信する機能（電子メール通知機能）を利用するときは、［SMTP］を設定します。

2

ネットワーク環境で印刷する環境を設定するには

● 手順８で DNS を設定したとき

[SMTP サーバ名］に、メールサーバのサーバ名を入力します。

入力例： smtp.example.co.jp

● 手順８で DNS を設定していないとき

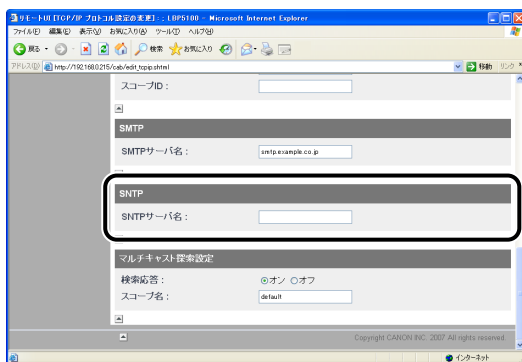
1. [SMTP サーバ名］に、メールサーバの IP アドレスを入力します。
2. [DNS ドメイン名］に、SMTP サーバに送るメールの送信元ドメイン名を入力します。

入力例： example.co.jp

メモ　電子メール通知機能を利用するときは、さらに詳細な設定を行う必要があります。（→ プリンタの状況を電子メールで通知する：P.3-3）

2

ネットワーク環境で印刷する環境を設定するには

11 時刻情報を得るためにSNTPクライアント機能を利用するには、[SNTP]を設定します。

● 手順８で DNS を設定したとき

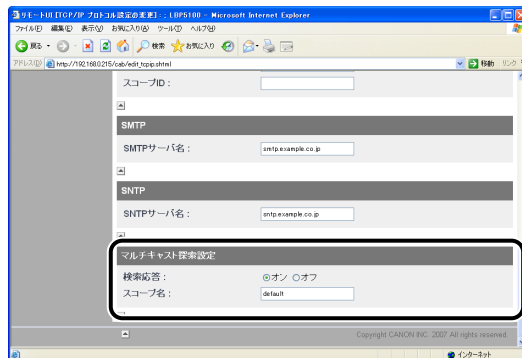
[SNTP サーバ名］に、SNTP サーバのサーバ名を入力します。

● 手順８で DNS を設定していないとき

[SNTP サーバ名］に、SNTP サーバの IP アドレスを入力します。

メモ　SNTP サーバ機能が使用できない場合、以下の手順でコンピュータで設定している時刻をプリンタに通知することができます。プリンタステータスウィンドウについては、「ユーザーズガイド」を参照してください（Macintosh からは、時刻の通知はできません）。

1. プリンタステータスウィンドウを表示します。
2. [オプション］メニューから［環境設定］または［環境設定（管理者）］を選択します。
3. [プリンタ状態の監視］にある［常に監視］を選択して、[プリンタに時刻を通知する］にチェックマークを付けます。

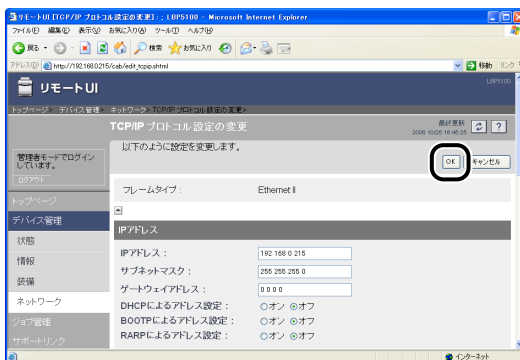
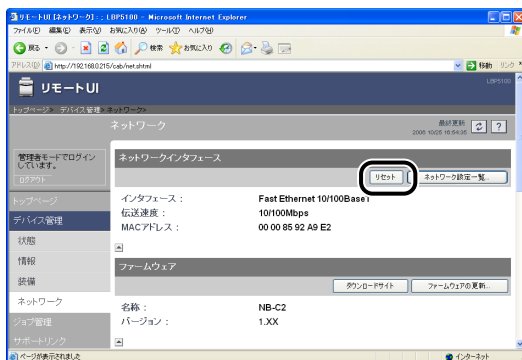
12 ［マルチキャスト探索設定］を設定します。

メモ　マルチキャスト探索とは、サービスロケーションプロトコル（SLP）によって特定のデバイスを探索する機能です。
マルチキャスト探索を利用すると、NetSpot Device Installer などのユーティリティソフトウェアからサービスロケーションプロトコル（SLP）を使用して、［スコープ名］が一致するデバイスのみを探索することができます。

● マルチキャストを使用した探索に応答するように設定する場合

1. ［探索応答］を［オン］に設定します。
2. ［スコープ名］に、NetSpot Device Installer などのユーティリティソフトウェアからマルチキャストによる特定のデバイスの探索をするときに使用するスコープ名を入力します。

● マルチキャストを使用した探索に応答しないように設定する場合

［探索応答］を［オフ］に設定します。

13 ［OK］をクリックします。

14 次の画面が表示されたら、［リセット］をクリックしてネットワークボードをリセットします。

ネットワークボードのリセット後に設定が有効になります。

メモ　プリンタを再起動（電源をいったん切り、10 秒以上待ってから入れる）しても設定が有効になります。

これでプリンタのプロトコル設定は完了しました。

NetSpot Device Installer によるプロトコル設定

NetSpot Device Installerでは基本的なプロトコル設定をすることができます。DNSサーバや SMTP サーバの設定をする場合は、リモート UI、FTP クライアントを使用してください。

重要　Windows XP SP2 などの Windows ファイアウォール機能を持っている OS をお使いで、Windows ファイアウォール機能が有効になっている場合、NetSpot Device Installer を使用しているコンピュータと異なるサブネット上にあるプリンタは、探索することができません。
このようなプリンタを探索する場合は、あらかじめ Windows ファイアウォールに「NetSpot Device Installer」を登録する必要があります。次のどちらかの操作を行ってください。

・［Windows ファイアウォール］ダイアログボックスの［例外］ページに「NetSpot Device Installer」を登録する（➞NetSpot Device Installer の Readme）
・NetSpot Device Installer をインストールする（インストールの途中で登録することができます）（➞P.3-43）

NetSpot Device Installer の Readme は、CD-ROM Setup の［付属ソフトウェア］画面にある［NetSpot Device Installer for TCP/IP］の［ ］をクリックすると表示されます。

メモ
- ここでは、プリンタはLBP5100、OS は Windows XP Professional の画面例で手順を説明します。
- NetSpot Device Installer の画面例は、実際の画面と異なる場合があります。

- ここでは、プリンタに付属のCD-ROMからNetSpot Device Installerを起動する方法を説明しています。NetSpot Device Installer をコンピュータにインストールした場合の起動方法は、次のとおりです。NetSpot Device Installer のインストール方法については、「NetSpot Device Installer をインストールする」(➞P.3-43) を参照してください。
  - ・Windows の場合
    - インストール時に［スタート］メニューに追加した場合
      ［スタート］メニューから［すべてのプログラム］(Windows 2000 は［プログラム］) ➞［NetSpot Device Installer］➞［NetSpot Device Installer］を選択します。
    - ［スタート］メニューに追加しなかった場合
      インストール先のフォルダにある［nsdi.exe］をダブルクリックします。
  - ・Macintosh の場合
    - インストール先の［NetSpot Device Installer］をダブルクリックします。

---

1 プリンタに付属の CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットします。

すでに CD-ROM がセットされている場合は、いったん CD-ROM を取り出してもう一度セットします。

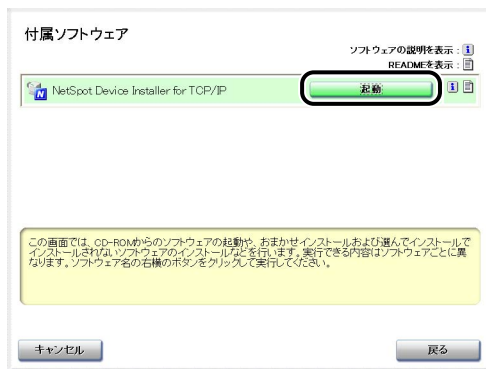
Macintosh をお使いの場合は、次の手順を行います。

1. CD-ROM 内の［NetSpot_Device_Installer］-［MacOSX］フォルダに収められている［NetSpot_Device_Installer.dmg］をダブルクリックします。
2. 表示されたウィンドウ内にある［NetSpot Device Installer］をダブルクリックして、手順４へ進みます。

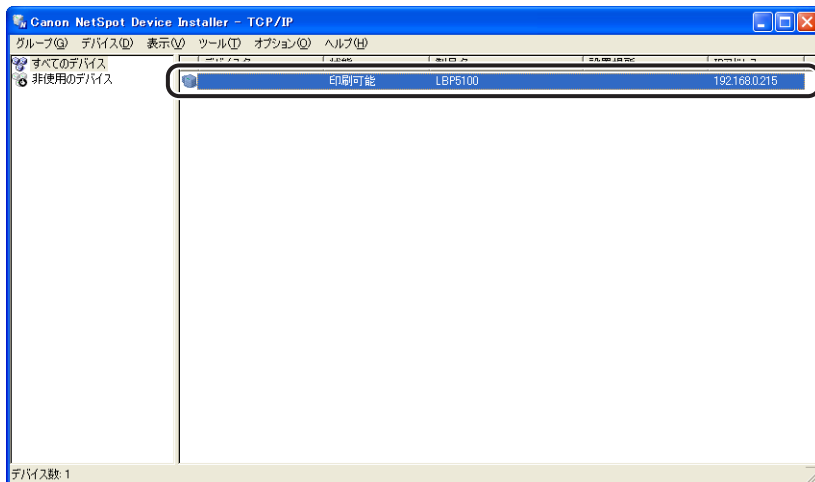
メモ

- Windows Vista をお使いの場合、［自動再生］ダイアログボックスが表示されたときは、［AUTORUN.EXE の実行］をクリックします。
- CD-ROM Setup が表示されない場合は、次の方法で表示します。(ここでは、CD-ROM ドライブ名を「D:」と表記しています。CD-ROM ドライブ名は、お使いのコンピュータによって異なります。)
  - ・Windows Vista 以外の OS の場合は、［スタート］メニューから［ファイル名を指定して実行］を選択して「D:¥Japanese¥MInst.exe」と入力し、［OK］をクリックします。
  - ・Windows Vista の場合は、［スタート］メニューの［検索の開始］に「D:¥Japanese¥MInst.exe」と入力して、キーボードの［ENTER］キーを押します。
- Windows Vista をお使いの場合、［ユーザーアカウント制御］ダイアログボックスが表示されたときは、［許可］をクリックします。
- プリンタに付属の CD-ROM によっては、Macintosh 用の「NetSpot Device Installer」が同梱されていない場合があります。同梱されていない場合は、キヤノンホームページ (http://canon.jp/) からダウンロードしてください。

2 ［付属ソフトウェア］をクリックします。

3 ［NetSpot Device Installer for TCP/IP］の［起動］をクリックします。

［使用許諾契約］ダイアログボックスが表示された場合は、内容を確認して、［はい］をクリックします。

メモ　Windows Vista をお使いの場合、［ユーザーアカウント制御］ダイアログボックスが表示されたときは、［許可］をクリックします。

4 プリンタを選択します。

重要

Windows XP SP2 などの Windows ファイアウォール機能を持っている OS をお使いで、Windows ファイアウォール機能が有効になっている場合、NetSpot Device Installer を使用しているコンピュータと異なるサブネット上にあるプリンタは、探索することができません。
このようなプリンタを探索する場合は、あらかじめ Windows ファイアウォールに「NetSpot Device Installer」を登録する必要があります。次のどちらかの操作を行ってください。

・[Windows ファイアウォール]ダイアログボックスの[例外]ページに「NetSpot Device Installer」を登録する（➞NetSpot Device Installer の Readme）
・NetSpot Device Installer をインストールする（インストールの途中で登録することができます）（➞P.3-43）

NetSpot Device Installer の Readme は、CD-ROM Setup の［付属ソフトウェア］画面にある［NetSpot Device Installer for TCP/IP］の［ ］をクリックすると表示されます。

5 ［デバイス］メニューから［プロトコル設定］を選択します。

6 プロトコル設定を行います。

設定する項目

[IP アドレス設定方法]： IP アドレスの設定方法を選択します。

[手動設定]： 直接 IP アドレスを指定します。[IP アドレス] に入力した IP アドレスが、ネットワークボードに設定されます。

[自動検出]： RARP、BOOTP、DHCPを使用して IP アドレスを取得します。

[RARP]： RARP を使用して IP アドレスを取得します。（RARPデーモンが起動されている必要があります。）

[BOOTP]： BOOTP を使用して IP アドレスを取得します。（BOOTP デーモンが起動されている必要があります。）

[DHCP]： DHCP を使用して IP アドレスを取得します。（DHCP サーバが起動されている必要があります。）

[IP アドレス]： ネットワークボードの IP アドレスを入力します。

必要に応じて設定する項目

[サブネットマスク]： TCP/IP ネットワークで使用しているサブネットマスクを入力します。

[ゲートウェイアドレス]： TCP/IP ネットワークで使用しているゲートウェイアドレスを入力します。

メモ

- [RARP] を選択したときは、[IP アドレス] は入力できません。
- [BOOTP] や [DHCP] を選択したときは、[IP アドレス]、[サブネットマスク]、[ゲートウェイアドレス] は入力できません。
- RARP、BOOTP、DHCP を使用できないときは、[手動設定] に設定してください。
- プリンタドライバのインストールをしたあとに IPアドレスを変更した場合や IPアドレスの取得方法を変更した場合は、ポートを設定しなおす必要がある場合があります。
  ポートを設定しなおす方法は、「IP アドレスを変更したあとに（ポートの変更について）」（➞P.5-18）を参照してください。

7 設定が終了したら、[OK] をクリックします。

8 「デバイスをリセットしました。」と表示されたら、[OK] をクリックします。

正常にリセット処理を行うため、[OK] をクリックしたあと、約 20 秒間はそのままお待ちください。リセットが完了すると、設定が有効になります。

これでプリンタのプロトコル設定は完了しました。

FTP クライアントによるプロトコル設定

※ Macintosh をお使いの場合は、オンラインマニュアル「第 7 章 付録」を参照してください。

1 コマンドプロンプトを起動します。

Windows 2000

［スタート］メニューから［プログラム］→［アクセサリ］→［コマンドプロンプト］を選択します。

Windows XP　Windows Server 2003　Windows Vista

［スタート］メニューから［すべてのプログラム］→［アクセサリ］→［コマンドプロンプト］を選択します。

2 次のコマンドを入力して、キーボードの［ENTER］キーを押します。

ftp <プリンタの IP アドレス>

入力例： ftp 192.168.0.215

メモ　プリンタの IP アドレスがわからないときは、ネットワークステータスプリントを参照するかネットワーク管理者に相談してください。
ネットワークステータスプリントについては、「ネットワークステータスプリントを印刷して動作を確認する」（→P.2-67）を参照してください（Macintosh をお使いの場合、ネットワークステータスプリントの印刷はできません）。

3 ユーザ名として、「root」を入力して、キーボードの［ENTER］キーを押します。

メモ　ユーザ名は、「root」以外（空欄など）でもログインできます。そのときは、設定以外の操作のみ行えます。

4 パスワードを入力して、キーボードの［ENTER］キーを押します。

パスワードを設定していないときは、何も入力せずに、キーボードの［ENTER］キーを押します。

5 次のコマンドを入力して、キーボードの［ENTER］キーを押します。

get config <ファイル名>

config ファイルがダウンロードされます。<ファイル名>に入力した文字が、ダウンロードされたときの config ファイルのファイル名になります。

メモ　config ファイルのダウンロード先は、お使いの OS の環境や設定によって異なります。config ファイルが見つからない場合は、OS のファイル検索機能を利用して config ファイルを検索してください。

6 メモ帳などでダウンロードしたconfig ファイルを編集します。

各項目の説明については、「ネットワーク設定項目一覧」（→P.5-2）を参照してください。

メモ　プリンタドライバのインストールをしたあとにIPアドレスを変更した場合やIPアドレスの取得方法を変更した場合は、ポートを設定しなおす必要がある場合があります。
ポートを設定しなおす方法は、「IPアドレスを変更したあとに（ポートの変更について）」（→P.5-18）を参照してください。

7 次のコマンドを入力して、キーボードの［ENTER］キーを押します。

put　<ファイル名> CONFIG

メモ　<ファイル名>には、ダウンロードしたときに入力したconfigファイルのファイル名を入力します。

8 次のコマンドを入力して、キーボードの［ENTER］キーを押し、ネットワークボードをリセットします。

get reset

ネットワークボードのリセット後に設定が有効になります。

メモ　プリンタを再起動（電源をいったん切り、10秒以上待ってから入れる）しても設定が有効になります。

9 「quit」を入力して、キーボードの［ENTER］キーを押します。

10 「exit」を入力して、キーボードの［ENTER］キーを押します。

コマンドプロンプトが終了します。

これでプリンタのプロトコル設定は完了しました。

ソフトウェアのアンインストール

ソフトウェアを削除して、インストール前の状態に戻すことをアンインストールといいます。ソフトウェアをアンインストールする場合は、次の手順で行います。

※ Macintosh をお使いの場合は、オンラインマニュアル「第 2 章 プリンタドライバのインストールと印刷方法」を参照してください。

- プリンタドライバのアンインストール（➞P.2-86）
- Canon CAPT Print Monitor のアンインストール（➞P.2-88）
- NetSpot Device Installer のアンインストール（➞P.2-90）

重要

- Windows をお使いの場合は、次のことに気を付けてください。
  - ･管理者権限がないユーザはアンインストールできません。必ず、管理者権限のユーザとしてログオンしてからアンインストールを行ってください。
    権限がわからない場合は、お使いのコンピュータの管理者へお問い合わせください。
  - ･プリンタドライバがインストールされている状態で、Canon CAPT Print Monitor をアンインストールすることはできません。Canon CAPT Print Monitor をアンインストールする場合は、プリンタドライバをアンインストールしてから行ってください。
- Windows XP SP2 などの Windows ファイアウォール機能を持っている OS のコンピュータを使用している場合、[Windows ファイアウォール] ダイアログボックスの [例外] ページにお使いのプリンタが登録されています。プリンタドライバのアンインストールを行うと、[例外] ページの設定も削除されます。

プリンタドライバのアンインストール

重要

プリンタドライバをアンインストールすると、インストールした取扱説明書もアンインストールされます *。

* お使いの OS が 64 ビット版の Windows XP/Server 2003/Vista の場合は、プリンタドライバをアンインストールしても、取扱説明書はアンインストールされません。取扱説明書もアンインストールする場合は、次のファイルやフォルダを削除してください。

（LBP3310 の例）

･「¥Program Files (x86)¥Canon¥LBP3310」にある「Manuals」フォルダ

･ デスクトップにある［LBP3310 取扱説明書］（［Index.pdf］のショートカット）

メモ

ここでは、プリンタは LBP5100、OS は Windows XP Professional の画面例で手順を説明します。

1 **次のファイルやプログラムをすべて閉じてください。**

- ヘルプファイル
- プリンタステータスウィンドウ
- コントロールパネル
- その他のアプリケーションソフト

2 次の操作を行います。

Windows 2000

［スタート］メニューから［プログラム］→［Canon Printer Uninstaller］→［Canon LBPxxxx Uninstaller］を選択します（xxxx は機種名）。

Windows XP **Windows Server 2003** **Windows Vista**

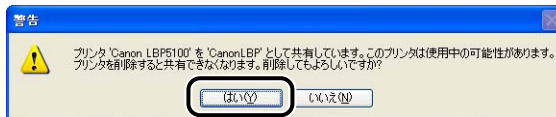
［スタート］メニューから［すべてのプログラム］→［Canon Printer Uninstaller］→［Canon LBPxxxx Uninstaller］を選択します（xxxxは機種名）。

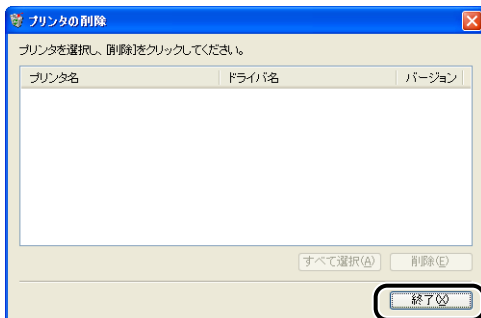
メモ　Windows Vista をお使いの場合、［ユーザーアカウント制御］ダイアログボックスが表示されたときは、［許可］をクリックします。

3 プリンタを選択して ①、［削除］をクリックします ②。

メモ　［プリンタの削除］ダイアログボックス内のリストにプリンタが表示されていない場合でも、［削除］をクリックするとプリンタに関連するファイルおよび情報を削除することができます。

4 ［はい］をクリックします。

プリンタを共有している場合は、次の画面が表示されます。メッセージの内容を確認して、アンインストールする場合は［はい］をクリックします。

アンインストールを開始します。しばらくお待ちください。

5 ［終了］をクリックします。

メモ　アンインストールができなかった場合は、「アンインストールできなかったときは」(→P.4-5）を参照してください。

Canon CAPT Print Monitor のアンインストール

重要　プリンタドライバがインストールされている状態で、Canon CAPT Print Monitor をアンインストールすることはできません。Canon CAPT Print Monitor をアンインストールする場合は、プリンタドライバをアンインストールしてから行ってください。

メモ　ここでは、Windows XP Professional の画面例で手順を説明します。

1 次のファイルやプログラムをすべて閉じてください。

- ヘルプファイル
- コントロールパネル
- その他のアプリケーションソフト

2 次の操作を行います。

Windows 2000

［スタート］メニューから［設定］➞［コントロールパネル］を選択して、［アプリケーションの追加と削除］をダブルクリックします。

Windows XP

［スタート］メニューから［コントロールパネル］を選択して、［プログラムの追加と削除］をクリックしたあと、［コントロールパネル］を閉じます。

Windows Server 2003

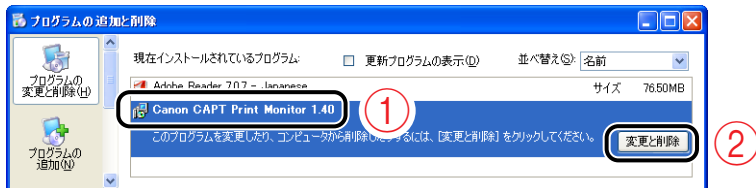
［スタート］メニューから［コントロールパネル］➞［プログラムの追加と削除］を選択します。

Windows Vista

［スタート］メニューから［コントロールパネル］を選択して、［プログラムのアンインストール］をクリックします。

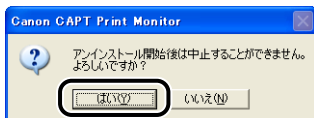
3 次の操作を行います。

Windows 2000　Windows XP　Windows Server 2003

［Canon CAPT Print Monitor］を選択して ①、［変更と削除］をクリックします ②。

Windows Vista

［Canon CAPT Print Monitor］を選択して ①、［アンインストールと変更］をクリックします ②。

メモ　Windows Vista をお使いの場合、［ユーザーアカウント制御］ダイアログボックスが表示されたときは、［続行］をクリックします。

4 ［はい］をクリックします。

アンインストールを開始します。しばらくお待ちください。

5 ［OK］をクリックします。

NetSpot Device Installer のアンインストール

1 次の操作を行います。

Windows 2000

［スタート］メニューから［プログラム］➞［NetSpot Device Installer］➞［NetSpot Device Installer をアンインストール］を選択します。

Windows XP **Windows Server 2003** **Windows Vista**

［スタート］メニューから［すべてのプログラム］➞［NetSpot Device Installer］➞［NetSpot Device Installer をアンインストール］を選択します。

コマンドプロンプトが表示され、アンインストールを開始します。

メモ

- インストール時に NetSpot Device Installer を［スタート］メニューに登録していない場合は、インストール先のフォルダ内にある［rmnsdi.bat］をダブルクリックしてください。
- Macintoshをお使いの場合は、インストール先のNetSpot Device Installerのアイコンを削除します。また、プラグインをアンインストールするには、［ライブラリ］フォルダ内の［Canon NSDI］フォルダを削除します。初期設定ファイルもアンインストールする場合は、［ライブラリ］-［Preferences］フォルダにある［jp.canon.nsdi］フォルダを削除してください。
- Windows をお使いでアンインストールが完全にできなかった場合は、NetSpot Device Installer の Readme を参照してください。

ネットワーク環境でプリンタを管理するには

3
CHAPTER

この章では、ネットワーク環境でプリンタを管理するための方法について説明しています。

プリンタを管理する

次のソフトウェアを使用して、プリンタの状況の確認や各種設定など、ネットワーク環境でプリンタの管理を行うことができます。ソフトウェアによって設定できる項目が異なります。「ネットワーク設定項目一覧」（→P.5-2）を参照して、お使いの環境や設定したい項目に応じて各ソフトウェアをご利用ください。

■ リモートUI（→P.3-3）

リモートUIは、お手持ちのWebブラウザを使ってプリンタの管理を行うためのソフトウェアです。Webブラウザからネットワークを経由してプリンタにアクセスして、プリンタの状況やジョブ履歴の確認、ネットワークやセキュリティに関する設定などができます。

■ NetSpot Device Installer（→P.3-42）

NetSpot Device Installerは、プリンタに付属のCD-ROMに収められているソフトウェアです。NetSpot Device Installerはインストールが不要なソフトウェアで、CD-ROMからNetSpot Device Installerを起動して、プロトコル設定やデバイス情報の設定ができます。

■ FTPクライアント（→P.3-40）

FTPクライアントは、コマンドプロンプト（Macintoshはターミナル）を使用して、ネットワークボードのFTPサーバにアクセスし、デバイスに関するさまざまな情報の設定やネットワークやセキュリティに関する設定ができます。

リモート UI を使用してプリンタを管理する

ここでは、リモート UI を使用して次の管理を行う手順を記載します。

- プリンタの状況を電子メールで通知する（➞P.3-3）
- 印刷できるユーザを制限する（➞P.3-10）
- SNMP プロトコルで設定／参照できるユーザを制限する（➞P.3-14）
- マルチキャスト探索できるユーザを制限する（➞P.3-20）
- アクセスできるデバイスを MAC アドレスによって制限する（➞P.3-24）
- SMTP サーバへのアクセス時にユーザ認証を行う（➞P.3-28）
- セキュリティアクセスログを取得／確認する（➞P.3-31）
- ネットワーク設定を初期化する（➞P.3-37）

なお、これらの管理は FTP クライアントでも管理することができます。

プリンタの状況を電子メールで通知する

印刷が終了したときや、紙づまり、用紙切れなどのデバイスエラーが発生したときなどに、設定した宛先（メールアドレス）に電子メールでプリンタ状況を通知させることができます。通知させることができるプリンタ状況は、次の通りです。

- [ジョブ終了時]
  印刷が終了したとき（印刷ジョブごとに通知されます）。
  通知される電子メールには、「ドキュメント名」、「ユーザ名」、「総ページ数」、「印刷結果」などの情報が記載されます。
- [デバイスエラー発生時]
  紙づまり、用紙切れ、用紙交換要求などのプリンタエラーや、電源を入れなおす必要があるプリンタエラーが発生したとき。
  通知される電子メールには、発生したエラーやエラーの解除方法などの情報が記載されます。
- [消耗品交換要求時]
  トナーなどの消耗品が寿命に達して交換が必要なとき。
  通知される電子メールには、該当する消耗品の名称や状態などの情報が記載されます。

例えば、プリンタの前カバーが開いているときに、次のような電子メールを受信できます。

```
From: “TestPrinter” <000085044567>
To: xxx001@example.com
Subject: [DEVICE ERROR] (0x0303100C)
Reply-to: xxx002@example.com
MIME-Version: 1.xx
Cotent-Type: text/plain; charset=ISO-2022-JP

エラーが発生しています。
    前カバーが開いています。
    前カバーをきちんと閉じてください。
--------
製品名：Canon LBPxxxx
Page Count：560
設置場所：○×ビル3階　営業部
連絡先：システム情報部　システム監視課　鈴木
```

メモ

- 電子メールのヘッダのFromには、送信元のアドレス情報として、デバイス名とMACアドレスが表示されています（例："TestPrinter"<000085044567>）。このメールの送信元（上記例の"TestPrinter"<000085044567>）は、リモートUIの［デバイス管理］－［情報］－［デバイス情報の変更］ページで設定するデバイス名とMACアドレスから生成したメールアドレス（変更不可）になります。プリンタからのメールを識別するためには、固有のデバイス名を指定してください。ただし、このアドレスに直接返信することはできません。
- リモートUIの詳細については、「リモートUIガイド」を参照してください。
- ここでは、プリンタはLBP5100、OSはWindows XP Professionalの画面例で手順を説明します。

1 Web ブラウザを起動します。

2 アドレス入力欄に次の URL を入力したあと、キーボードの［ENTER］キーを押します。

http:// <プリンタの IP アドレスまたは名前> /

入力例： http://192.168.0.215/

重要

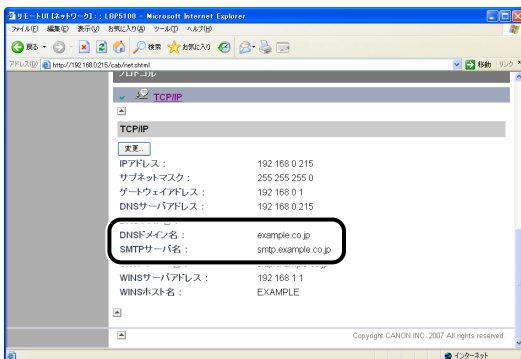
- プリンタのIPアドレスがわからないときは、ネットワークステータスプリントを参照するかネットワーク管理者に相談してください。
  ネットワークステータスプリントについては、「ネットワークステータスプリントを印刷して動作を確認する」（➞P.2-67）を参照してください（Macintosh をお使いの場合、ネットワークステータスプリントの印刷はできません）。
- DNS サーバにプリンタのホスト名が登録されているときは、IP アドレスのかわりに［ホスト名 . ドメイン名］で入力することもできます。
  例：http://my_printer.xy_dept.company.co.jp/

3 ［管理者パスワード］を入力して ①、［ログイン］をクリックします ②。

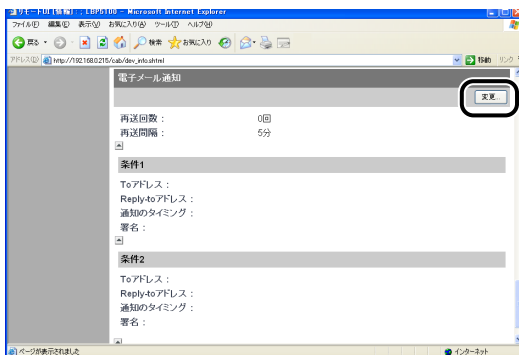
メモ　パスワードを設定していないときは、入力する必要はありません。

4 ［デバイス管理］メニューから［ネットワーク］を選択します。

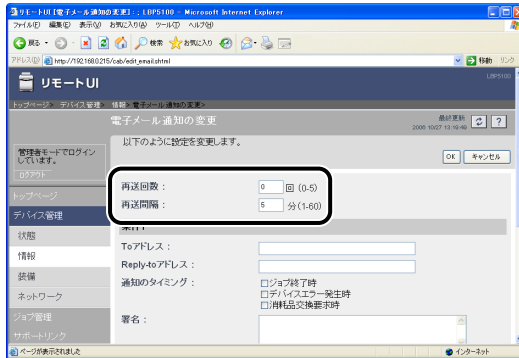
5 次のことを確認します。

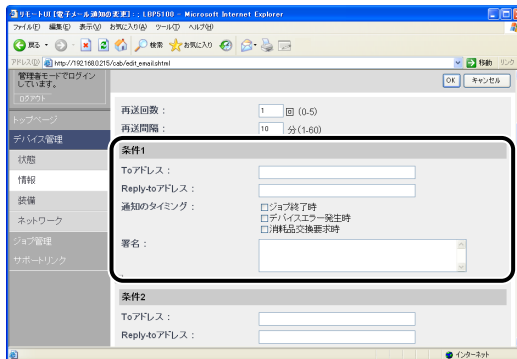
- ［DNS ドメイン名］にプリンタの所属するドメイン名が正しく設定されていること
- ［SMTP サーバアドレス］にメールサーバのアドレスが正しく設定されていること

メールサーバのアドレスとプリンタのドメイン名が正しく設定されていない場合は、メールサーバのアドレスとプリンタのドメイン名を設定します。（→ リモート UI によるプロトコル設定：P.2-71）

6 ［デバイス管理］メニューから［情報］を選択します。

7 ［電子メール通知］の右にある［変更］をクリックします。

3

ネットワーク環境でプリンタを管理するには

8 ［再送回数］、［再送間隔］に、プリンタの状況を通知するメールの送信に失敗したときに再送する回数と、再送するまでの時間を設定します。

重要　ネットワークボードは送信した電子メールを保存することができるため、プリンタの状況を通知するメールの送信に失敗したときに、再送することができます。電子メールは 15 個まで保存することができます。16 個以上になった場合は、古い電子メールから順に削除されるため、再送することはできません。

9 ［条件 1］の各項目を設定します。

設定する項目

[To アドレス]：　プリンタ状況を通知する電子メールの宛先（メールアドレス）を設定します。複数のメールアドレスを設定するときは、アドレスごとに「,」で区切って入力します。

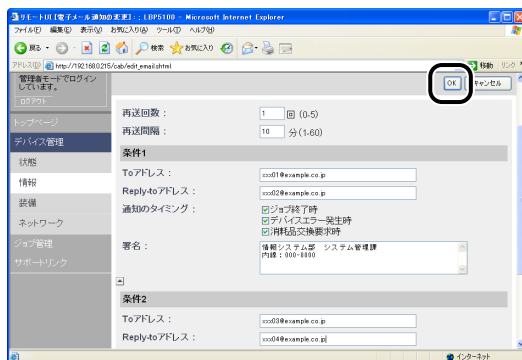
[Reply-to アドレス]：返信先となる宛先（メールアドレス）を設定します。プリンタ状況を通知する電子メールに対して返信すると、ここで設定した宛先に電子メールが送信されます。
プリンタ管理者や消耗品管理者などのメールアドレスを設定しておくと、管理者に電子メールで状況を知らせることができます。
複数のメールアドレスを設定するときは、アドレスごとに「，」で区切って入力します。

[通知のタイミング]：　通知させたいプリンタ状況を選択します。次の項目から選択します。複数の項目を選択することもできます。また、いずれも選択しなかった場合は、電子メール通知は行われません。

・[ジョブ終了時]：
印刷が終了したときに通知させたい場合に選択します。
・[デバイスエラー発生時]：
紙づまり、用紙切れ、用紙交換要求などのプリンタエラーが発生したときに通知させたい場合に選択します。
・[消耗品交換要求時]：
トナーなどの消耗品が寿命に達して交換が必要なときに通知させたい場合に選択します。

[署名]：　メールの本文の最後に表示される文章を設定します。

10 **[条件 1] と異なる宛先や、異なる条件でプリンタの状況を通知するメールを送信したいときは、[条件 2] も設定します。**

11 **[OK] をクリックします。**

これで電子メール通知機能の設定は完了しました。

印刷できるユーザを制限する

重要　本機能によって制限されるのは印刷要求のみであり、リモート UI からのアクセスなどは制限されません。

メモ
- 印刷を拒否したIPアドレスのコンピュータから印刷しようとした場合、プリンタステータスウィンドウ（Windows）／ステータスモニタ（Macintosh）に「印刷ができません」と表示されます。
- 印刷を拒否したIPアドレスのコンピュータの場合、プリンタステータスウィンドウ（Windows）／ステータスモニタ（Macintosh）の［オプション］メニューから実行できなくなる項目があります。
- リモート UI の詳細については、「リモート UI ガイド」を参照してください。
- ここでは、プリンタはLBP5100、OS は Windows XP Professional の画面例で手順を説明します。

1 Web ブラウザを起動します。

2 アドレス入力欄に次の URL を入力したあと、キーボードの［ENTER］キーを押します。

http:// <プリンタの IP アドレスまたは名前> /

入力例：http://192.168.0.215/

重要
- プリンタのIPアドレスがわからないときは、ネットワークステータスプリントを参照するかネットワーク管理者に相談してください。
  ネットワークステータスプリントについては、「ネットワークステータスプリントを印刷して動作を確認する」（→P.2-67）を参照してください（Macintosh をお使いの場合、ネットワークステータスプリントの印刷はできません）。
- DNS サーバにプリンタのホスト名が登録されているときは、IP アドレスのかわりに［ホスト名 . ドメイン名］で入力することもできます。
  例：http://my_printer.xy_dept.company.co.jp/

3 ［管理者パスワード］を入力して①、［ログイン］をクリックします②。

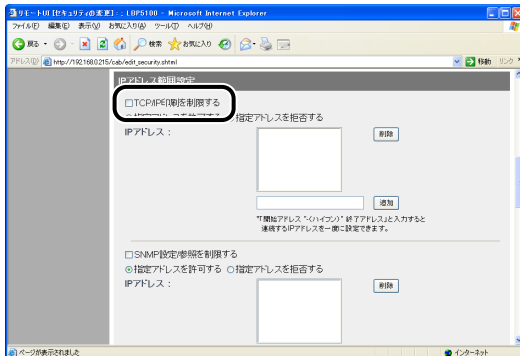
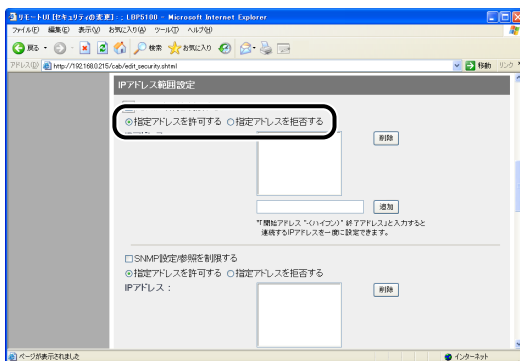
メモ　パスワードを設定していないときは、入力する必要はありません。

4 ［デバイス管理］メニューから［情報］を選択します。

5 ［セキュリティ］の右にある［変更］をクリックします。

6 [TCP/IP 印刷を制限する] にチェックマークを付けます。

7 [指定アドレスを許可する] または [指定アドレスを拒否する] を選択します。

メモ

[指定アドレスを許可する] を選択すると、[IP アドレス] で入力したユーザからのみ印刷できます。
[指定アドレスを拒否する] を選択すると、[IP アドレス] で入力したユーザからの印刷ができなくなります。

8 印刷を許可または拒否するコンピュータのIPアドレスを入力して①、[追加] をクリックします ②。

IP アドレスは AAA.BBB.C.DD のように「.」で数字を区切って入力します。また、次のように入力することもできます。

IP アドレスの入力例	IP アドレスの入力方法
AAA.BBB.C.15-AAA.BBB.C.18	連続する複数の IP アドレスを入力するときは「-」で IP アドレスをつなげます。 左記の例では AAA.BBB.C.15 ～ AAA.BBB.C.18 までの IP アドレスを入力するのと同じです。
AAA.BBB.C.*	IP アドレスに「*」を入力すると、0 ～ 255 までの数値を入力するのと同じです。 左記の例では AAA.BBB.C.0 ～ AAA.BBB.C.255 までの IP アドレスを入力するのと同じです。

IP アドレスを削除する場合は、削除する IP アドレスを選択して ①、[削除] をクリックします ②。

9 ［OK］をクリックします。

SNMP プロトコルで設定／参照できるユーザを制限する

メモ

- リモート UI の詳細については、「リモート UI ガイド」を参照してください。
- ここでは、プリンタはLBP5100、OS は Windows XP Professional の画面例で手順を説明します。

1 Web ブラウザを起動します。

2 アドレス入力欄に次の URL を入力したあと、キーボードの［ENTER］キーを押します。

http:// <プリンタの IP アドレスまたは名前> /

入力例：http://192.168.0.215/

重要

- プリンタのIPアドレスがわからないときは、ネットワークステータスプリントを参照するかネットワーク管理者に相談してください。
  ネットワークステータスプリントについては、「ネットワークステータスプリントを印刷して動作を確認する」（→P.2-67）を参照してください（Macintosh をお使いの場合、ネットワークステータスプリントの印刷はできません）。
- DNS サーバにプリンタのホスト名が登録されているときは、IP アドレスのかわりに［ホスト名 . ドメイン名］で入力することもできます。
  例：http://my_printer.xy_dept.company.co.jp/

3 ［管理者パスワード］を入力して①、［ログイン］をクリックします②。

メモ　パスワードを設定していないときは、入力する必要はありません。

4 ［デバイス管理］メニューから［情報］を選択します。

5 ［セキュリティ］の右にある［変更］をクリックします。

6 SNMPv1 プロトコルを設定します。

● SNMPv1 プロトコルを使用する場合

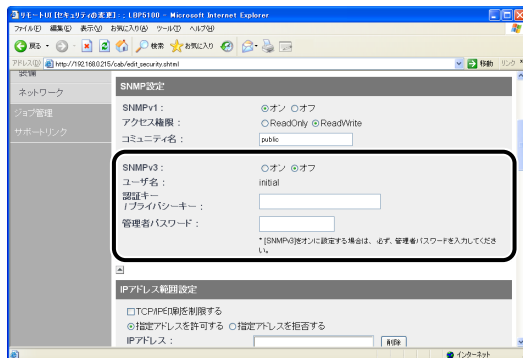
1. ［SNMPv1］を［オン］に設定します。
2. ［アクセス権限］で SNMPv1 エージェントを［ReadOnly］または［ReadWrite］のどちらのモードで動作させるか選択します。
3. ［コミュニティ名］に、SNMP のコミュニティ名を設定します。

重要　［ReadOnly］を選択すると書き込みができなくなり、キヤノン製のユーティリティソフトウェアの一部が使用できなくなったり、エラーが発生して正常に使えないことがあります。

● SNMPv1 プロトコルを使用しない場合

［SNMPv1］を［オフ］に設定します。

重要　［SNMPv1］を［オフ］に設定すると、キヤノン製のユーティリティソフトウェアが使用できなくなることがあります。［オフ］を選択する場合は、ネットワーク管理者に相談してから設定してください。

7 SNMPv3 プロトコルを設定します。

● SNMPv3 プロトコルを使用する場合

1. ［SNMPv3］を［オン］に設定します。
2. ［認証キー / プライバシーキー］に、SNMPv3 で使用する認証キーとプライバシーキーを設定します。
3. ［管理者パスワード］に、リモート UI の管理者パスワードを入力します。

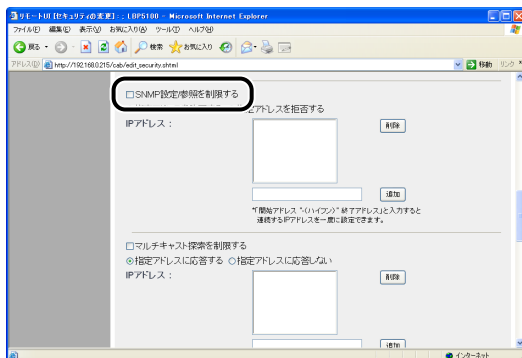
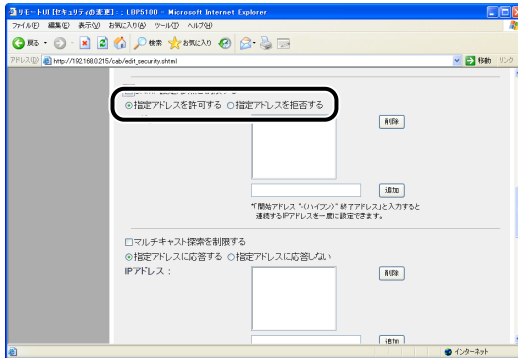
重要 SNMPv3 プロトコルの設定をリモート UI 以外のソフトウェアで行った場合、SNMPv3 プロトコルの設定項目はリモート UI には表示されなくなります。再度表示するには、ネットワーク設定を工場出荷時の状態に戻してください。
ネットワーク設定を工場出荷時の状態に戻す方法については、「ネットワーク設定の初期化」(→P.5-11) を参照してください。

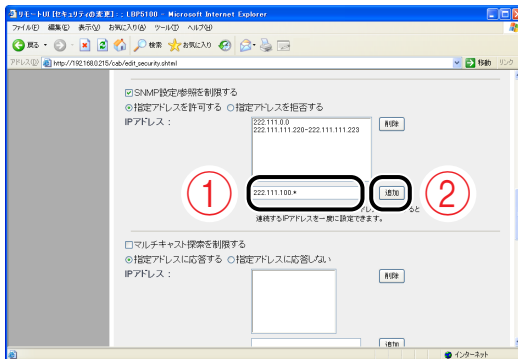
メモ

- SNMPv3 プロトコルで使用するユーザ名は、「initial」に設定されます。
- リモート UI の管理者パスワードを設定していない場合は、［管理者パスワード］を入力する必要はありません。

● SNMPv3 プロトコルを使用しない場合

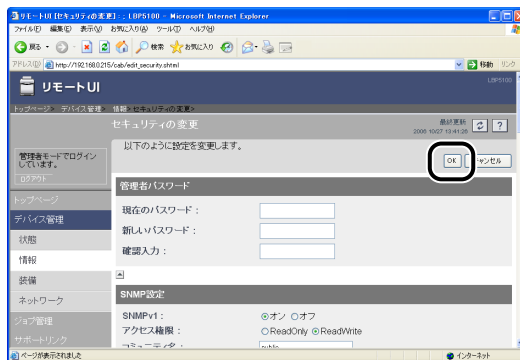
［SNMPv3］を［オフ］に設定します。

8 ［SNMP 設定 / 参照を制限する］にチェックマークを付けます。

9 ［指定アドレスを許可する］または［指定アドレスを拒否する］を選択します。

メモ　［指定アドレスを許可する］を選択すると、［IP アドレス］で入力したユーザからのみ設定 / 参照できます。
［指定アドレスを拒否する］を選択すると、［IP アドレス］で入力したユーザからの設定 / 参照ができなくなります。

10 SNMP での設定 / 参照を許可または拒否するコンピュータの IP アドレスを入力して ①、［追加］をクリックします ②。

IP アドレスは AAA.BBB.C.DD のように「.」で数字を区切って入力します。また、次のように入力することもできます。

IP アドレスの入力例	IP アドレスの入力方法
AAA.BBB.C.15-AAA.BBB.C.18	連続する複数の IP アドレスを入力するときは「-」で IP アドレスをつなげます。 左記の例では AAA.BBB.C.15 ～ AAA.BBB.C.18 までの IP アドレスを入力するのと同じです。
AAA.BBB.C.*	IP アドレスに「*」を入力すると、0 ～ 255 までの数値を入力するのと同じです。 左記の例では AAA.BBB.C.0 ～ AAA.BBB.C.255 までの IP アドレスを入力するのと同じです。

IP アドレスを削除する場合は、削除する IP アドレスを選択して ①、[削除] をクリックします ②。

11 [OK] をクリックします。

マルチキャスト探索できるユーザを制限する

メモ

- マルチキャスト探索とは、サービスロケーションプロトコル（SLP）によって特定のデバイスを探索する機能です。
  マルチキャスト探索を利用すると、NetSpot Device Installer などのユーティリティソフトウェアからサービスロケーションプロトコル（SLP）を使用して、［スコープ名］が一致するデバイスのみを探索することができます。
- リモート UI の詳細については、「リモート UI ガイド」を参照してください。
- ここでは、プリンタはLBP5100、OS は Windows XP Professional の画面例で手順を説明します。

1 **Web ブラウザを起動します。**

2 **アドレス入力欄に次の URL を入力したあと、キーボードの［ENTER］キーを押します。**

http:// <プリンタの IP アドレスまたは名前> /

入力例：http://192.168.0.215/

重要

- プリンタのIPアドレスがわからないときは、ネットワークステータスプリントを参照するかネットワーク管理者に相談してください。
  ネットワークステータスプリントについては、「ネットワークステータスプリントを印刷して動作を確認する」（➞P.2-67）を参照してください（Macintosh をお使いの場合、ネットワークステータスプリントの印刷はできません）。
- DNS サーバにプリンタのホスト名が登録されているときは、IP アドレスのかわりに［ホスト名 . ドメイン名］で入力することもできます。
  例：http://my_printer.xy_dept.company.co.jp/

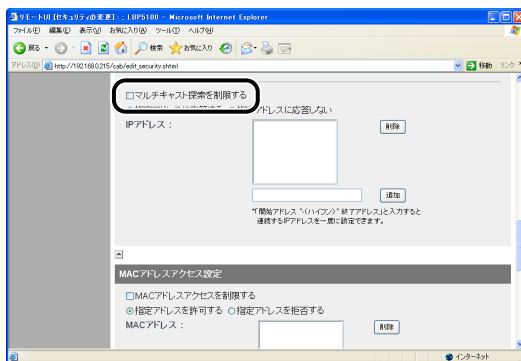
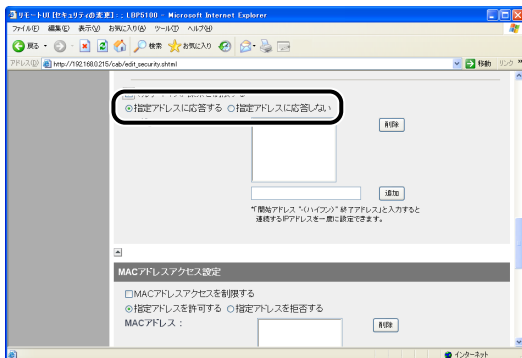
3 **［管理者パスワード］を入力して ①、［ログイン］をクリックします ②。**

メモ

パスワードを設定していないときは、入力する必要はありません。

4 ［デバイス管理］メニューから［情報］を選択します。

5 ［セキュリティ］の右にある［変更］をクリックします。

6 ［マルチキャスト探索を制限する］にチェックマークを付けます。

7 [指定アドレスに応答する]または[指定アドレスに応答しない]を選択します。

メモ
[指定アドレスに応答する]を選択すると、[IP アドレス]で入力したユーザからのみマルチキャストを使用した探索に応答します。
[指定アドレスに応答しない]を選択すると、[IP アドレス]で入力したユーザからのマルチキャストを使用した探索に応答しなくなります。

8 マルチキャスト探索に応答するまたは応答しないコンピュータのIPアドレスを入力して①、[追加]をクリックします②。

IP アドレスは AAA.BBB.C.DD のように「.」で数字を区切って入力します。また、次のように入力することもできます。

IP アドレスの入力例	IP アドレスの入力方法
AAA.BBB.C.15-AAA.BBB.C.18	連続する複数の IP アドレスを入力するときは「-」で IP アドレスをつなげます。 左記の例では AAA.BBB.C.15 ～ AAA.BBB.C.18 までの IP アドレスを入力するのと同じです。
AAA.BBB.C.*	IP アドレスに「*」を入力すると、0 ～ 255 までの数値を入力するのと同じです。 左記の例では AAA.BBB.C.0 ～ AAA.BBB.C.255 までの IP アドレスを入力するのと同じです。

IP アドレスを削除する場合は、削除する IP アドレスを選択して ①、［削除］をクリックします ②。

9 ［OK］をクリックします。

アクセスできるデバイスを MAC アドレスによって制限する

メモ
- アクセスを拒否したMACアドレスのコンピュータから印刷などのアクセスをしようとした場合、プリンタステータスウィンドウ（Windows）／ステータスモニタ（Macintosh）に「ネットワークボードエラー」と表示されます。
- リモート UI の詳細については、「リモート UI ガイド」を参照してください。
- ここでは、プリンタはLBP5100、OS は Windows XP Professional の画面例で手順を説明します。

1 Web ブラウザを起動します。

2 アドレス入力欄に次の URL を入力したあと、キーボードの［ENTER］キーを押します。

http:// <プリンタの IP アドレスまたは名前> /

入力例：http://192.168.0.215/

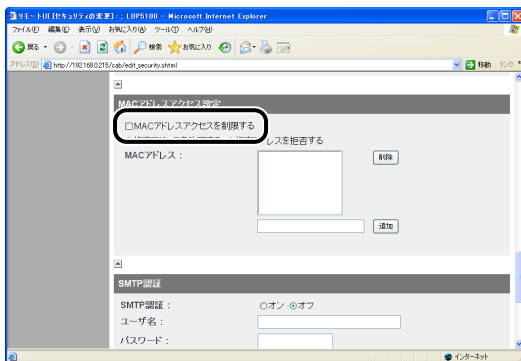
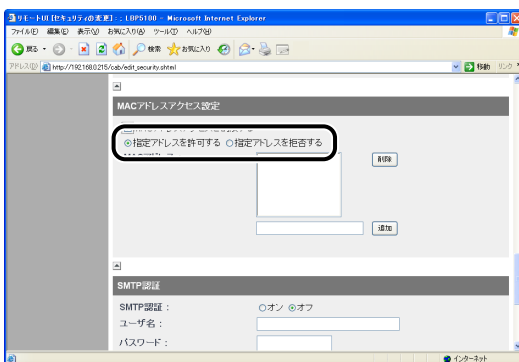
重要
- プリンタのIPアドレスがわからないときは、ネットワークステータスプリントを参照するかネットワーク管理者に相談してください。
ネットワークステータスプリントについては、「ネットワークステータスプリントを印刷して動作を確認する」（➞P.2-67）を参照してください（Macintosh をお使いの場合、ネットワークステータスプリントの印刷はできません）。
- DNS サーバにプリンタのホスト名が登録されているときは、IP アドレスのかわりに［ホスト名 . ドメイン名］で入力することもできます。
例：http://my_printer.xy_dept.company.co.jp/

3 ［管理者パスワード］を入力して ①、［ログイン］をクリックします ②。

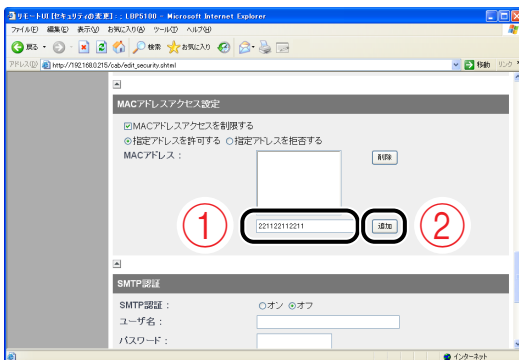
メモ　パスワードを設定していないときは、入力する必要はありません。

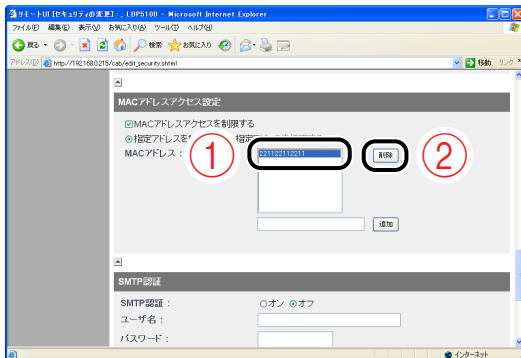
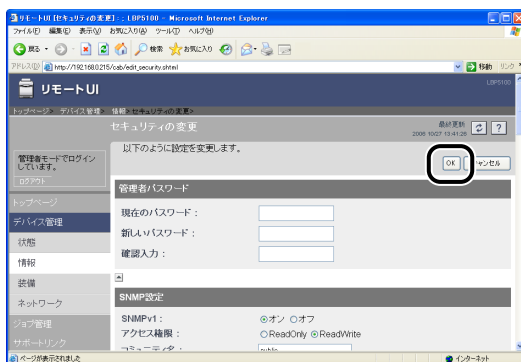
4 ［デバイス管理］メニューから［情報］を選択します。

5 ［セキュリティ］の右にある［変更］をクリックします。

6 ［MAC アドレスアクセスを制限する］にチェックマークを付けます。

7 ［指定アドレスを許可する］または［指定アドレスを拒否する］を選択します。

重要 ［指定アドレスを許可する］を選択すると、許可されていない MAC アドレスからのアクセスができなくなります。そのため入力の際には MAC アドレスをよく確認してください。該当する MAC アドレスが存在しない場合は、ネットワークにアクセスできなくなります。なお、その際は、ネットワーク設定を初期化する必要があります。（→ネットワーク設定の初期化：P.5-11）

8 アクセスを許可または拒否するデバイスのMACアドレスを入力して①、［追加］をクリックします②。

MAC アドレスは、12 桁の英数字を 0123456789ab のようにハイフン（-）やコロン（:）で区切らずに入力します。

メモ MAC アドレスは 20 個まで追加することができます。

MAC アドレスを削除する場合は、削除する MAC アドレスを選択して ①、[削除] をクリックします ②。

9 [OK] をクリックします。

SMTP サーバへのアクセス時にユーザ認証を行う

メモ
- リモート UI の詳細については、「リモート UI ガイド」を参照してください。
- ここでは、プリンタはLBP5100、OS は Windows XP Professional の画面例で手順を説明します。

1 Web ブラウザを起動します。

2 アドレス入力欄に次の URL を入力したあと、キーボードの［ENTER］キーを押します。

http:// <プリンタの IP アドレスまたは名前> /

入力例：http://192.168.0.215/

重要
- プリンタのIPアドレスがわからないときは、ネットワークステータスプリントを参照するかネットワーク管理者に相談してください。
  ネットワークステータスプリントについては、「ネットワークステータスプリントを印刷して動作を確認する」(➞P.2-67) を参照してください (Macintosh をお使いの場合、ネットワークステータスプリントの印刷はできません)。
- DNS サーバにプリンタのホスト名が登録されているときは、IP アドレスのかわりに［ホスト名 . ドメイン名］で入力することもできます。
  例：http://my_printer.xy_dept.company.co.jp/

3 ［管理者パスワード］を入力して ①、［ログイン］をクリックします ②。

メモ　パスワードを設定していないときは、入力する必要はありません。

4 ［デバイス管理］メニューから［情報］を選択します。

5 ［セキュリティ］の右にある［変更］をクリックします。

6 [SMTP 認証] を設定します。

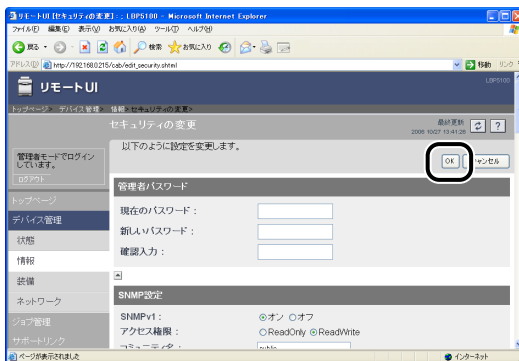
● SMTP 認証を行う場合

1. [SMTP 認証] を [オン] にします。
2. [ユーザ名] に、SMTP 認証で使用するユーザ名を入力します。
3. [パスワード] に、SMTP 認証で使用するパスワードを入力します。
4. [管理者パスワード] に、リモート UI の管理者パスワードを入力します。

メモ　リモート UI の管理者パスワードを設定していない場合は、[管理者パスワード] を入力する必要はありません。

● SMTP 認証を行わない場合

[SMTP 認証] を [オフ] にします。

7 [OK] をクリックします。

セキュリティアクセスログを取得／確認する

セキュリティアクセスログを取得する

印刷できるユーザや、SNMP プロトコルで設定／参照できるユーザ、マルチキャスト探索できるユーザを［IP アドレス範囲設定］で制限している場合、制限したユーザからのアクセスをブロックしたときに、セキュリティアクセスログ（アクセスをブロックした日時、IP アドレス、ポート番号、制限の種類の情報）を取得することができます。
制限の種類によってセキュリティアクセスログを取得するかしないかを選択することができます。

メモ
- リモート UI の詳細については、「リモート UI ガイド」を参照してください。
- ここでは、プリンタは LBP5100、OS は Windows XP Professional の画面例で手順を説明します。

1 Web ブラウザを起動します。

2 アドレス入力欄に次の URL を入力したあと、キーボードの［ENTER］キーを押します。

http:// <プリンタの IP アドレスまたは名前> /

入力例：http://192.168.0.215/

重要
- プリンタの IP アドレスがわからないときは、ネットワークステータスプリントを参照するかネットワーク管理者に相談してください。
  ネットワークステータスプリントについては、「ネットワークステータスプリントを印刷して動作を確認する」（➞P.2-67）を参照してください（Macintosh をお使いの場合、ネットワークステータスプリントの印刷はできません）。
- DNS サーバにプリンタのホスト名が登録されているときは、IP アドレスのかわりに［ホスト名 . ドメイン名］で入力することもできます。
  例：http://my_printer.xy_dept.company.co.jp/

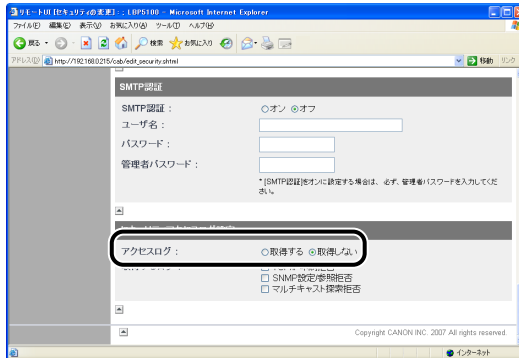
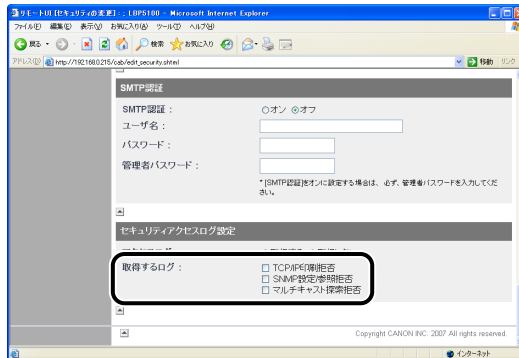
3 ［管理者パスワード］を入力して ①、［ログイン］をクリックします ②。

メモ　パスワードを設定していないときは、入力する必要はありません。

4 ［デバイス管理］メニューから［情報］を選択します。

5 ［セキュリティ］の右にある［変更］をクリックします。

6 ［アクセスログ］の［取得する］または［取得しない］を選択します。

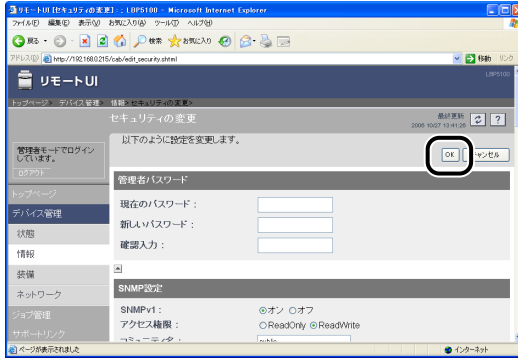
［取得する］を選択すると、［IP アドレス範囲設定］で制限したユーザからのアクセスをブロックした場合に、セキュリティアクセスログを取得します。
［取得しない］を選択すると、［IP アドレス範囲設定］で制限したユーザからのアクセスをブロックした場合に、セキュリティアクセスログを取得しません。

7 ［アクセスログ］で［取得する］を選択した場合、［取得するログ］から取得したいセキュリティアクセスログを選択します。

設定する項目

［TCP/IP 印刷拒否］：　TCP/IP 印刷を制限したユーザからのアクセスをブロックした場合に、セキュリティアクセスログを記録します。

［SNMP 設定 / 参照拒否］：　SNMP 設定 / 参照を制限したユーザからのアクセスをブロックした場合に、セキュリティアクセスログを記録します。

［マルチキャスト探索拒否］：　マルチキャスト探索を制限したユーザからのアクセスをブロックした場合に、セキュリティアクセスログを記録します。

メモ　取得したセキュリティアクセスログは、［セキュリティアクセスログ］ページで表示や［保存］、［クリア］をすることができます。
［セキュリティアクセスログ］ページを表示するには、リモート UI の［デバイス管理］メニューの［情報］ページで［ログ表示］をクリックします。詳しくは、「セキュリティアクセスログを確認する」（→P.3-34）を参照してください。

8 ［OK］をクリックします。

セキュリティアクセスログを確認する

印刷できるユーザや、SNMP プロトコルで設定／参照できるユーザ、マルチキャスト探索できるユーザを［IP アドレス範囲設定］で制限している場合、制限したユーザからのアクセスをブロックしたときに、取得されるセキュリティアクセスログ（アクセスをブロックした日時、IP アドレス、ポート番号、制限の種類の情報）を確認することができます。
また、セキュリティアクセスログの［保存］、［クリア］を行うこともできます。

メモ
- リモート UI の詳細については、「リモート UI ガイド」を参照してください。
- ここでは、プリンタはLBP5100、OS は Windows XP Professional の画面例で手順を説明します。

1 Web ブラウザを起動します。

2 アドレス入力欄に次の URL を入力したあと、キーボードの［ENTER］キーを押します。

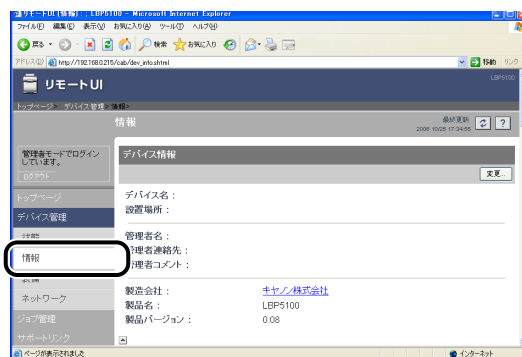
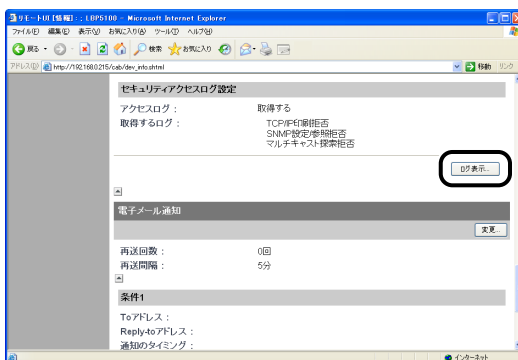
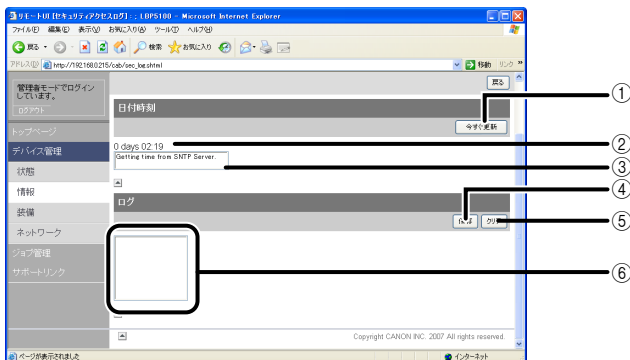
http:// <プリンタの IP アドレスまたは名前> /

入力例：http://192.168.0.215/

重要
- プリンタのIPアドレスがわからないときは、ネットワークステータスプリントを参照するかネットワーク管理者に相談してください。
  ネットワークステータスプリントについては、「ネットワークステータスプリントを印刷して動作を確認する」(→P.2-67) を参照してください（Macintosh をお使いの場合、ネットワークステータスプリントの印刷はできません）。
- DNS サーバにプリンタのホスト名が登録されているときは、IP アドレスのかわりに［ホスト名 . ドメイン名］で入力することもできます。
  例：http://my_printer.xy_dept.company.co.jp/

3 ［管理者パスワード］を入力して①、［ログイン］をクリックします②。

メモ　パスワードを設定していないときは、入力する必要はありません。

4 ［デバイス管理］メニューから［情報］を選択します。

5 ［セキュリティ］にある［ログ表示］をクリックします。

6 [セキュリティアクセスログ] ページでセキュリティアクセスログを確認します。

① [今すぐ更新]
このボタンをクリックすると設定している SNTP サーバから日付と時刻の情報を取得します。情報の取得成功 / 失敗時に応じて、日付時刻と SNTP サーバログにステータスを反映します。

② [日付時刻]
SNTP サーバから取得した日付と時刻を表示します。SNTP サーバアドレスが設定されていなかったり、SNTP サーバから応答がないなど、日付時刻が取得できなかった場合は、ネットワークボードの持つローカルタイムを表示します。

③ [SNTP サーバログ]
SNTP サーバからの取得状況を表示します。
SNTP から取得成功時：Synchronized with the SNTP server at ＜取得した日時＞.
Next synchronization in ＜次回の取得日時＞.
SNTP から取得実行時：Getting time from SNTP Server.
SNTP から取得失敗時：Failed to get time from SNTP Server.

④ [保存]
取得したセキュリティアクセスログをテキスト形式で保存します。

⑤ [クリア]
取得したセキュリティアクセスログをクリアします。

⑥ [セキュリティアクセスログ]
取得したセキュリティアクセスログを表示します。アクセスをブロックした日時、IP アドレス、ポート番号、制限の種類（「PRINT」（TCP/IP 印刷拒否）、「SNMP」（SNMP 設定 / 参照拒否）、「SLP」（マルチキャスト探索拒否）のいずれか）が表示されます。

重要 取得できるセキュリティアクセスログは 100 ログまでです。100 ログを超えた場合は、古いログから消去されます。

ネットワーク設定を初期化する

ネットワークボードの設定値を工場出荷時の値に戻したいときは、リモート UI、FTP クライアント、NetSpot Device Installer のいずれかの方法で行います。

ここでは、リモート UI でネットワーク設定を初期化する方法を説明します。FTP クライアントまたは NetSpot Device Installer のどちらかを使用して、ネットワーク設定の初期化を行う場合は、「ネットワーク設定の初期化」（→P.5-11）を参照してください。

重要 ネットワーク設定の初期化は、プリンタが動作していないことを確認して行ってください。印刷中やデータの受信中に行うと、受信したデータが正しく印刷されなかったり、紙づまりや故障の原因になります。

メモ
- リモート UI の詳細については、「リモート UI ガイド」を参照してください。
- ここでは、プリンタは LBP5100、OS は Windows XP Professional の画面例で手順を説明します。

---

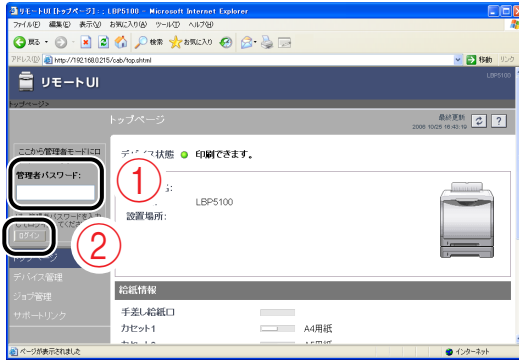
1 **Web ブラウザを起動します。**

2 **アドレス入力欄に次の URL を入力したあと、キーボードの［ENTER］キーを押します。**

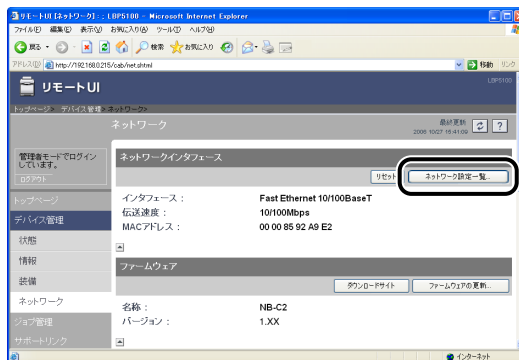
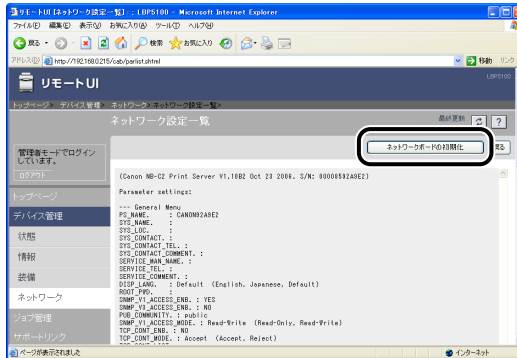
http:// <プリンタの IP アドレスまたは名前> /

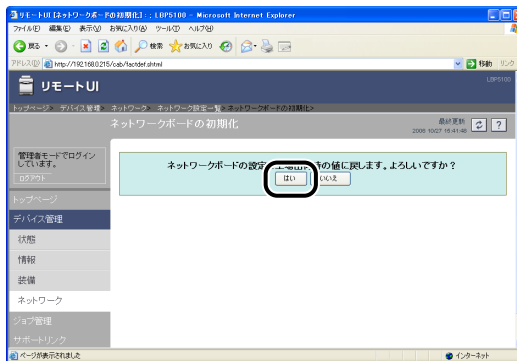
入力例：http://192.168.0.215/

重要
- プリンタの IP アドレスがわからないときは、ネットワークステータスプリントを参照するかネットワーク管理者に相談してください。
  ネットワークステータスプリントについては、「ネットワークステータスプリントを印刷して動作を確認する」（→P.2-67）を参照してください（Macintosh をお使いの場合、ネットワークステータスプリントの印刷はできません）。
- DNS サーバにプリンタのホスト名が登録されているときは、IP アドレスのかわりに［ホスト名 . ドメイン名］で入力することもできます。
  例：http://my_printer.xy_dept.company.co.jp/

3 ［管理者パスワード］を入力して①、［ログイン］をクリックします②。

メモ　パスワードを設定していないときは、入力する必要はありません。

4 ［デバイス管理］メニューから［ネットワーク］を選択します。

5 ［ネットワークインタフェース］にある［ネットワーク設定一覧］をクリックします。

6 ［ネットワークボードの初期化］をクリックします。

7 ［はい］をクリックすると、ネットワーク設定を初期化します。

［いいえ］をクリックすると、ネットワーク設定を初期化しないで元のページに戻ります。

FTP クライアントを使用してプリンタを管理する

次の手順で、FTP クライアントを使用して、プリンタを管理することができます。また、ファームウェアのバージョンアップなども行うことができます。

※ Macintosh をお使いの場合は、オンラインマニュアル「第 2 章 プリンタドライバのインストールと印刷方法」を参照してください。

1 コマンドプロンプトを起動します。

Windows 2000

［スタート］メニューから［プログラム］➞［アクセサリ］➞［コマンドプロンプト］を選択します。

Windows XP　Windows Server 2003　Windows Vista

［スタート］メニューから［すべてのプログラム］➞［アクセサリ］➞［コマンドプロンプト］を選択します。

2 次のコマンドを入力して、キーボードの［ENTER］キーを押します。

ftp <プリンタの IP アドレス>

入力例： ftp 192.168.0.215

メモ　プリンタの IP アドレスがわからないときは、「ネットワークステータスプリントを印刷して動作を確認する」（➞P.2-67）で印刷したネットワークステータスプリントを参照するかネットワーク管理者に相談してください。

3 ユーザ名として「root」を入力して、キーボードの［ENTER］キーを押します。

メモ　ユーザ名は、「root」以外（空欄など）でもログインできます。そのときは、設定以外の操作のみ行えます。

4 パスワードを入力して、キーボードの［ENTER］キーを押します。

パスワードを設定していないときは、何も入力せずに、キーボードの［ENTER］キーを押します。

5 次のコマンドを入力して、キーボードの［ENTER］キーを押します。

get config <ファイル名>

config ファイルがダウンロードされます。<ファイル名>に入力した文字が、ダウンロードされたときの config ファイルのファイル名になります。

メモ
- ファームウェアのバージョンアップを行う場合は、「put <ファームウェアのアップデートファイル> FLASH」を入力して、キーボードの［ENTER］キーを押します。
  ファームウェアのアップデートファイルについては、「ファームウェアを更新する」(➞P.5-32) を参照してください。
- ネットワーク設定の初期設定値を取得する場合は、「get defaults」を入力して、キーボードの［ENTER］キーを押すと、ネットワーク設定の初期設定値リストがダウンロードされます。
- config ファイルのダウンロード先は、お使いの OS の環境や設定によって異なります。config ファイルが見つからない場合は、OS のファイル検索機能を利用して config ファイルを検索してください。

6 メモ帳などでダウンロードした config ファイルを編集します。

各項目の説明については「ネットワーク設定項目一覧」（➞P.5-2）を参照してください。

7 次のコマンドを入力して、キーボードの［ENTER］キーを押します。

put <ファイル名> CONFIG

メモ
<ファイル名>には、ダウンロードしたときに入力した config ファイルのファイル名を入力します。

8 次のコマンドを入力して、キーボードの［ENTER］キーを押し、ネットワークボードをリセットします。

get reset

ネットワークボードのリセット後に設定が有効になります。

メモ
プリンタを再起動（電源をいったん切り、10 秒以上待ってから入れる）しても設定が有効になります。

9 「quit」を入力して、キーボードの［ENTER］キーを押します。

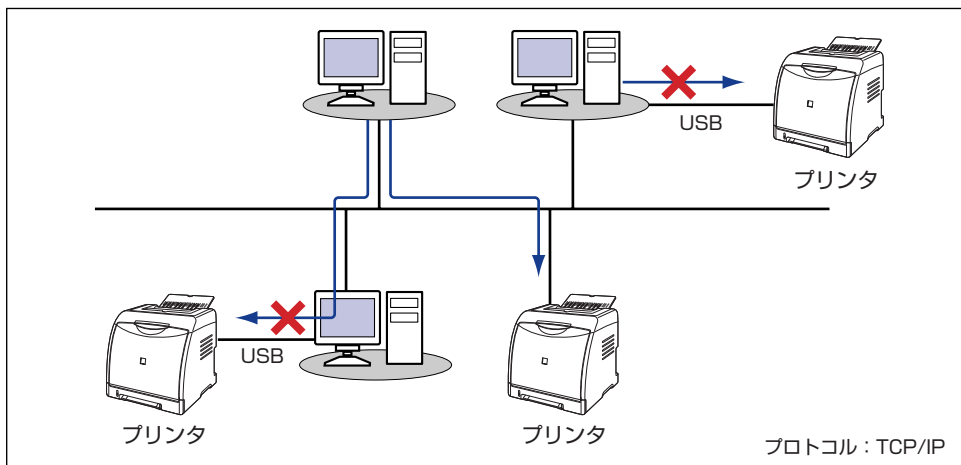
10 「exit」を入力して、キーボードの［ENTER］キーを押します。

コマンドプロンプトが終了します。

NetSpot Device Installer を使用してプリンタを管理する

NetSpot Device Installer を使うと、ネットワーク上にあるさまざまなプリンタの基本的なプロトコル設定や状態表示を行えます。ここでは、NetSpot Device Installer の起動方法やインストール方法などを説明しています。NetSpot Device Installer の使用方法については、NetSpot Device Installer のヘルプをご覧ください。

設定できるデバイスの種類

NetSpot Device Installer では、TCP/IP ネットワークに接続されているデバイスのネットワークプロトコルの初期設定を行うことができます。それ以外の接続形態のデバイスは、NetSpot Device Installer では設定できません。

NetSpot Device Installer をインストールする

※ Macintosh をお使いの場合は、次の手順で行います。

1. CD-ROM 内の［NetSpot_Device_Installer］-［MacOSX］フォルダに収められている［NetSpot_Device_Installer.dmg］をダブルクリックします。
2. 表示されたウィンドウ内にある［NetSpot Device Installer］をお使いのハードディスクにコピー（インストール）します。

重要

- インストール前に、他のアプリケーションソフトをすべて終了してください。
- 管理者権限がないユーザはインストールできません。必ず、管理者権限のユーザとしてログオンしてからインストールを行ってください。
  権限がわからない場合は、お使いのコンピュータの管理者へお問い合わせください。
- Windows XP SP2などのWindowsファイアウォール機能を持っているOSをお使いで、Windows ファイアウォール機能が有効になっている場合、NetSpot Device Installer を使用しているコンピュータと異なるサブネット上にあるプリンタは、探索することができません。
  このようなプリンタを探索する場合は、インストールの途中で NetSpot Device Installer を Windows ファイアウォールに登録してください。

メモ

- プリンタに付属の CD-ROM によっては、Macintosh 用の「NetSpot Device Installer」が同梱されていない場合があります。同梱されていない場合は、キヤノンホームページ（http://canon.jp/）からダウンロードしてください。
- NetSpot Device Installer は、インストールせずに使用できるユーティリティソフトウェアです。インストールせずに使用する場合は、「NetSpot Device Installer を起動する」（➞P.3-48）をお読みください。
- NetSpot Device Installer にプラグインを追加すると、機能を拡張することができます。プラグインの機能を使用する場合は、NetSpot Device Installer とプラグインの両方をコンピュータにインストールしてください。プラグインの詳細については、NetSpot Device Installer の Readme を参照してください。
  NetSpot Device Installer の Readme は、プリンタに付属されている CD-ROM を使って、次のように表示します。
  - ・Windows： CD-ROM Setup の［付属ソフトウェア］画面にある［NetSpot Device Installer for TCP/IP］の［ ］をクリックする
  - ・Macintosh： 1. ［NetSpot_Device_Installer］-［MacOSX］フォルダの［NetSpot_Device_Installer.dmg］をダブルクリックする
    2. 表示されたウィンドウ内にある［Readme_Japanese.html］をダブルクリックする
- ここでは、プリンタは LBP5100、OS は Windows XP Professional の画面例で手順を説明します。

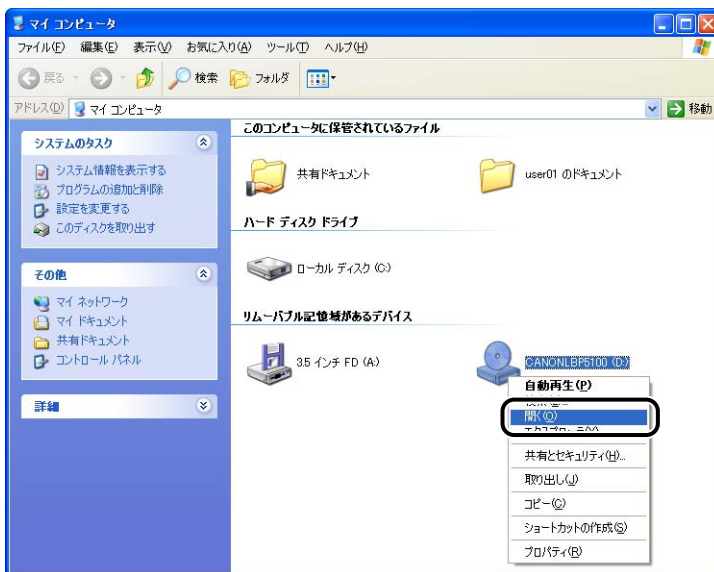
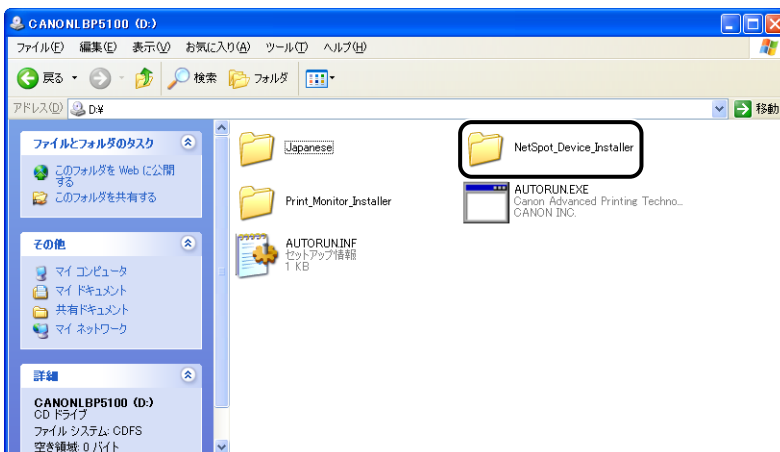
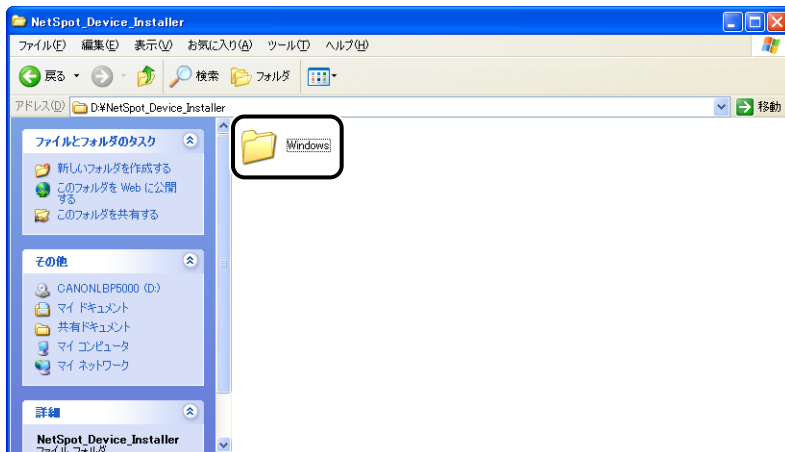
---

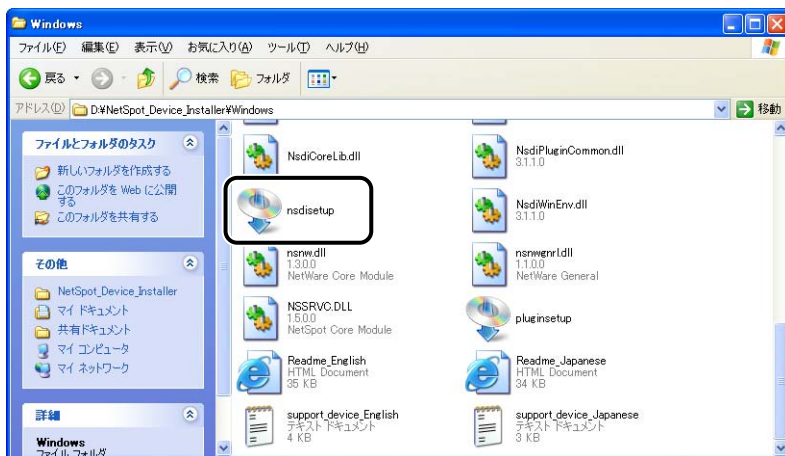
1 プリンタに付属の CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットします。

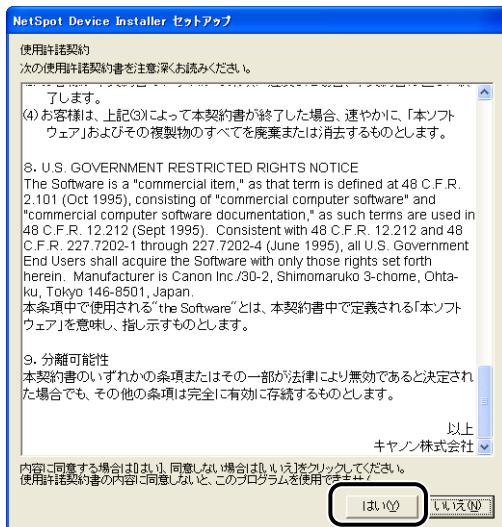
CD-ROM Setup が表示された場合は、［終了］をクリックします。

Windows Vista をお使いの場合に、［自動再生］ダイアログボックスが表示されたときは、［フォルダを開いてファイルを表示］をクリックして手順 4 へ進みます。

2 [マイコンピュータ]（Windows Vista は [コンピュータ]）を開きます。

3 CD-ROM アイコンを右クリックして、ポップアップメニューから[開く]を選択します。

4 [NetSpot_Device_Installer] フォルダをダブルクリックします。

5 ［Windows］フォルダをダブルクリックします。

6 ［nsdisetup.exe］をダブルクリックします。

メモ

Windows Vista をお使いの場合、［ユーザーアカウント制御］ダイアログボックスが表示されたときは、［許可］をクリックします。

7 内容を確認して、［はい］をクリックします。

8 ［参照］をクリックして、インストール先を選択します。

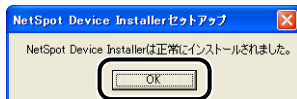
［スタート］メニューに NetSpot Device Installer を追加する場合は、［スタートメニューに追加する］にチェックマークを付けます。

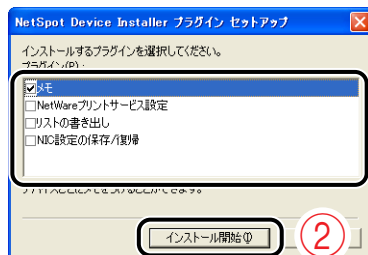
9 ［OK］をクリックします。

NetSpot Device Installer のインストールが開始されます。

Windows XP SP2などのWindows ファイアウォール機能を持っているOSをお使いで、Windows ファイアウォール機能が有効になっている場合、次の画面が表示されます。

登録する場合は、［はい］をクリックします。
［いいえ］をクリックすると、IP アドレスが設定されていないプリンタや NetSpot Device Installer を使用しているコンピュータと異なるサブネット上にあるプリンタは、探索することができません。

10 ［OK］をクリックします。

11 続いてインストールしたいプラグインを選択して ①、［インストール開始］をクリックします ②。

プラグインをインストールしない場合は、［キャンセル］をクリックして終了します。
プラグインの詳細については、NetSpot Device InstallerのReadmeファイルを参照してください。

メモ

プラグインは、後でインストールすることもできます。後からプラグインをインストールする手順については、Readmeファイルを参照してください。
NetSpot Device Installer のReadme は、プリンタに付属されているCD-ROM を使って、次のように表示します。

・Windows： CD-ROM Setup の［付属ソフトウェア］画面にある［NetSpot Device Installer for TCP/IP］の［📄］をクリックする
・Macintosh：1. ［NetSpot_Device_Installer］-［MacOSX］フォルダの［NetSpot_Device_Installer.dmg］をダブルクリックする
2. 表示されたウィンドウ内にある［Readme_Japanese.html］をダブルクリックする

NetSpot Device Installer のインストールの作業が終了しました。

NetSpot Device Installer を起動する

ここでは、NetSpot Device Installer を起動する方法を説明しています。

コンピュータにインストールした NetSpot Device Installer を起動する場合

※ Macintosh をお使いの場合は、インストール先の［NetSpot Device Installer］をダブルクリックします。

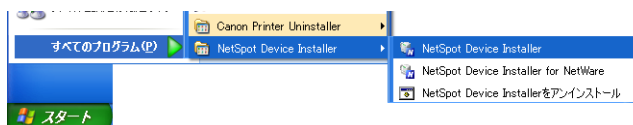
メモ　ここでは、Windows XP Professional の画面例で手順を説明します。

1 次の操作を行います。

Windows 2000

［スタート］メニューから［プログラム］→［NetSpot Device Installer］→［NetSpot Device Installer］を選択します。

Windows XP　Windows Server 2003　Windows Vista

［スタート］メニューから［すべてのプログラム］→［NetSpot Device Installer］→［NetSpot Device Installer］を選択します。

NetSpot Device Installer が起動します。

メモ
- Windows Vista をお使いの場合、［ユーザーアカウント制御］ダイアログボックスが表示されたときは、［許可］をクリックします。
- インストールするときに NetSpot Device Installer を［スタート］メニューに追加しなかった場合は、インストール先のフォルダにある［nsdi.exe］をダブルクリックします。

プリンタに付属の CD-ROM から NetSpot Device Installer を起動する場合

※ Macintosh をお使いの場合は、次の手順で行います。

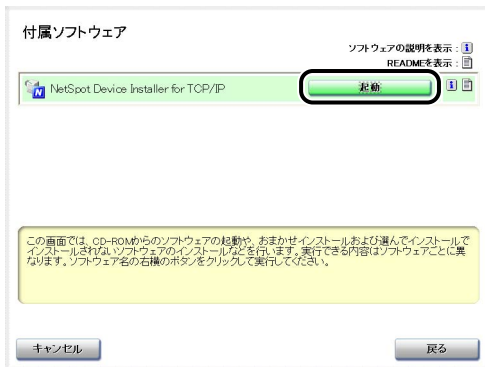
1. CD-ROM 内の［NetSpot_Device_Installer］-［MacOSX］フォルダに収められている［NetSpot_Device_Installer.dmg］をダブルクリックします。
2. 表示されたウィンドウ内にある［NetSpot Device Installer］をダブルクリックします。

メモ
- プリンタに付属の CD-ROM によっては、Macintosh 用の「NetSpot Device Installer」が同梱されていない場合があります。同梱されていない場合は、キヤノンホームページ（http://canon.jp/）からダウンロードしてください。
- ここでは、プリンタはLBP5100、OS はWindows XP Professional の画面例で手順を説明します。

1 プリンタに付属の CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットします。

すでに CD-ROM がセットされている場合は、いったん CD-ROM を取り出してもう一度セットします。

メモ
- Windows Vista をお使いの場合、［自動再生］ダイアログボックスが表示されたときは、［AUTORUN.EXE の実行］をクリックします。
- CD-ROM Setup が表示されない場合は、次の方法で表示します。（ここでは、CD-ROM ドライブ名を「D:」と表記しています。CD-ROM ドライブ名は、お使いのコンピュータによって異なります。）
  - ・Windows Vista 以外の OS の場合は、［スタート］メニューから［ファイル名を指定して実行］を選択して「D:¥Japanese¥MInst.exe」と入力し、［OK］をクリックします。
  - ・Windows Vistaの場合は、［スタート］メニューの［検索の開始］に「D:¥Japanese¥MInst.exe」と入力して、キーボードの［ENTER］キーを押します。
- Windows Vista をお使いの場合、［ユーザーアカウント制御］ダイアログボックスが表示されたときは、［許可］をクリックします。

2 ［付属ソフトウェア］をクリックします。

3 [NetSpot Device Installer for TCP/IP]の[起動]をクリックします。

[使用許諾契約]ダイアログボックスが表示された場合は、内容を確認して、[はい]をクリックします。

NetSpot Device Installer が起動します。

メモ　Windows Vista をお使いの場合、[ユーザーアカウント制御]ダイアログボックスが表示されたときは、[許可]をクリックします。

使用方法

NetSpot Device Installerで IPアドレスを設定する方法は、「NetSpot Device Installer による IP アドレスの設定」(➞P.2-19)を参照してください。その他の NetSpot Device Installer の詳しい使用方法については、ヘルプを参照してください。

ヘルプは、[ヘルプ]メニューの[ヘルプ]をクリックすると、表示されます。

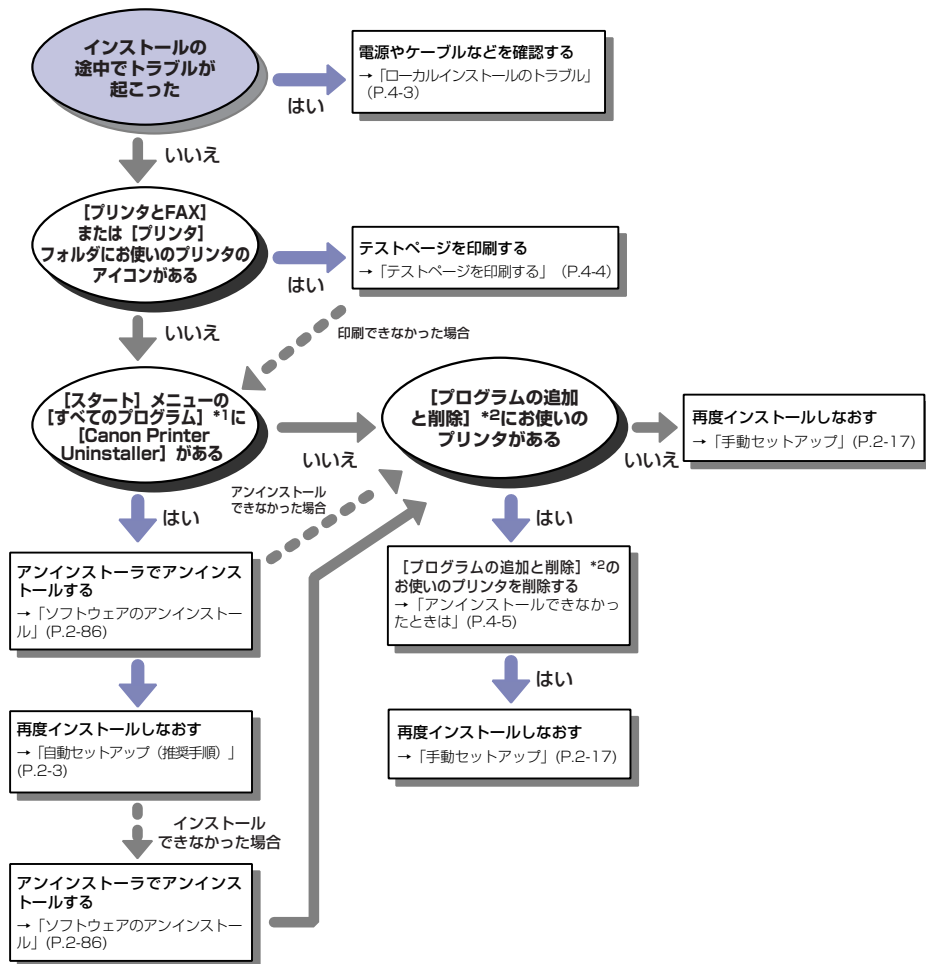
困ったときには

ネットワーク環境で起こったトラブルの解決法について説明しています。

インストールのトラブル（Windows のみ）

プリンタドライバのインストールが正常にできないときは、次の手順にしたがってチェックしてください。

※ Macintosh をお使いの場合は、オンラインマニュアル「第 6 章 困ったときには」を参照してください。

メモ　プリンタとコンピュータをUSBケーブルで接続している場合のインストール時のトラブルについては、「ユーザーズガイド」を参照してください。

*1 Windows 2000 は［プログラム］

*2 Windows 2000 は［アプリケーションの追加と削除］、Windows Vista は［プログラムのアンインストール］

ローカルインストールのトラブル

メモ　プリンタの共有機能を使用したときのインストールのトラブルについては、「ユーザーズガイド」を参照してください。

自動セットアップでプリンタドライバをインストールするとき、プリンタが探索されない

原因1　プリンタの電源が入っていない

処　置　プリンタの電源を入れてください。

原因2　プリンタとケーブルが、正しく接続されていない

処　置　プリンタがネットワークに、正しいケーブルを使って接続されていることを確認したあと、プリンタの電源を入れなおしてください。

原因3　Windows XP SP2などのWindowsファイアウォール機能を持っているOSを使用している

処　置　インストール途中に表示される次の画面で［はい］をクリックして、Windowsファイアウォール機能のブロックを一時的に解除します。

インストールが完了するとブロックは有効状態に戻ります。

NetSpot Device Installerに使用するプリンタが探索されない

原因1　プリンタの電源が入っていない

処　置　プリンタの電源を入れてください。

原因2　プリンタとケーブルが、正しく接続されていない

処　置　プリンタがネットワークに、正しいケーブルを使って接続されていることを確認したあと、プリンタの電源を入れなおしてください。

原因3　Windows XP SP2などのWindowsファイアウォール機能を持っているOSを使用している

処　置　Windows XP SP2などのWindowsファイアウォール機能を持っているOSをお使いで、Windowsファイアウォール機能が有効になっている場合、Windowsファイアウォールに「NetSpot Device Installer」を登録する必要があります。次のどちらかの操作を行ってください。

- [Windows ファイアウォール]ダイアログボックスの[例外]ページに「NetSpot Device Installer」を登録する（➞NetSpot Device Installer の Readme）
- NetSpot Device Installer をインストールする（インストールの途中で登録することができます）（➞P.3-43）

NetSpot Device Installer の Readme は、CD-ROM Setup の［付属ソフトウェア］画面にある［NetSpot Device Installer for TCP/IP］の［ ］をクリックすると表示されます。

テストページを印刷する

次の手順でテストページを印刷して、プリンタドライバの動作を確認します。

1 プリンタステータスウィンドウにエラーが表示されていないかを確認してください。

重要

エラーが表示されている場合は、プリンタステータスウィンドウに表示されているメッセージにしたがって対処してください。
プリンタステータスウィンドウについては、「ユーザーズガイド」を参照してください。

2 ［プリンタと FAX］または［プリンタ］フォルダを表示します。

Windows 2000

［スタート］メニューから［設定］➞［プリンタ］を選択します。

Windows XP Professional　Windows Server 2003

［スタート］メニューから［プリンタと FAX］を選択します。

Windows XP Home Edition

［スタート］メニューから［コントロールパネル］を選択して、［プリンタとその他のハードウェア］➞［プリンタと FAX］の順にクリックします。

Windows Vista

［スタート］メニューから［コントロールパネル］を選択して、［プリンタ］をクリックします。

3 お使いのプリンタのアイコンを右クリックして、ポップアップメニューから［印刷設定］を選択します。

4 ［全般］ページにある［テストページの印刷］をクリックします。

● テストページが印刷される場合

プリンタドライバからの印刷は可能です。アプリケーションソフトをチェックして、すべての印刷設定が適切かどうか確認してください。

● テストページが印刷できない場合

「インストールのトラブル（Windows のみ）」（→P.4-2）を参照してください。

アンインストールできなかったときは

インストール時に作成されたアンインストーラでアンインストールできなかった場合は、次の手順にしたがってプリンタドライバを削除します。

メモ　ここでは、プリンタは LBP5100、OS は Windows XP Professional の画面例で手順を説明します。

1 次の操作を行います。

Windows 2000

［スタート］メニューから［設定］→［コントロールパネル］を選択して、［アプリケーションの追加と削除］をダブルクリックします。

Windows XP

［スタート］メニューから［コントロールパネル］を選択して、［プログラムの追加と削除］をクリックします。

Windows Server 2003

［スタート］メニューから［コントロールパネル］→［プログラムの追加と削除］を選択します。

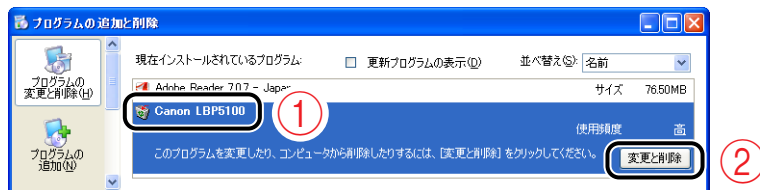
Windows Vista

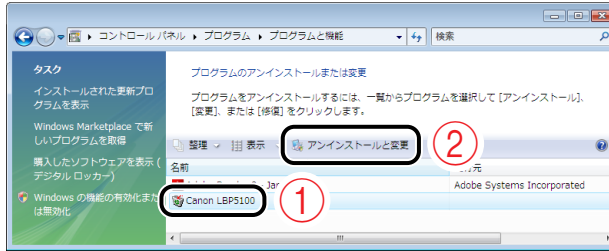
［スタート］メニューから［コントロールパネル］を選択して、［プログラムのアンインストール］をクリックします。

2 次の操作を行います。

Windows 2000　**Windows XP**　**Windows Server 2003**

お使いのプリンタを選択して ①、［変更と削除］をクリックします ②。

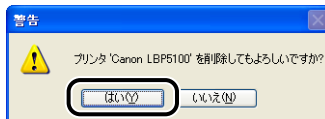
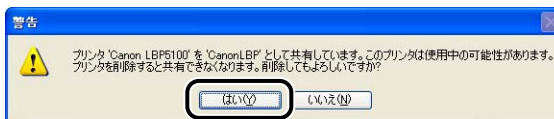
4 困ったときには

Windows Vista

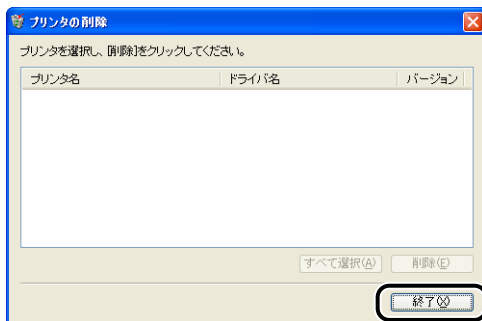
お使いのプリンタを選択して ①、［アンインストールと変更］をクリックします ②。

メモ

- ダイアログボックス内にプリンタがない場合は「手動セットアップ」（→P.2-17）を行って再度インストールしてください。
- Windows Vista をお使いの場合、［ユーザーアカウント制御］ダイアログボックスが表示されたときは、［続行］をクリックします。

3 プリンタを選択して ①、［削除］をクリックします ②。

確認メッセージが表示されます。

4 ［はい］をクリックします。

プリンタを共有している場合は、次の画面が表示されます。メッセージの内容を確認して、アンインストールする場合は［はい］をクリックします。

アンインストールを開始します。しばらくお待ちください。

5 ［終了］をクリックします。

［プリンタの削除］ダイアログボックスが閉じます。

6 Windows を再起動します。

データがプリンタへ送られないときには

何らかの理由で印刷ができないときや、プリンタステータスウィンドウ（Windows）／ステータスモニタ（Macintosh）に「ネットワークボードエラー」と表示されているときは、次のことが考えられます。適切な処置を行ってください。

※ ここに記載されている操作方法は、Windowsを例に記載しています。Macintoshをお使いの場合は、「オンラインマニュアル」を参照してください。

メモ　プリンタとコンピュータをUSBケーブルで接続している場合やプリンタの共有機能を使用している場合は、「ユーザーズガイド」を参照してください。

プリンタの電源に問題がある

原因１　プリンタの電源が入っていない

処　置　プリンタの電源を入れてください。

原因２　電源プラグが電源コンセントから抜けている

処　置　電源プラグを電源コンセントに差し込みます。

原因３　延長コードを使用したり、タコ足配線をしている

処　置　壁の電源コンセントに直接電源プラグを差し込みます。

原因４　ブレーカが落ちている

処　置　配電盤のブレーカをオンにします。

原因５　電源コード内部で断線している

処　置　同じタイプの他の装置に使用している電源コードに交換してみて、電源が入るようであれば電源コード内部の断線です。新しい同じタイプの電源コードを購入の上、交換してください。

LANケーブルの接続に問題がある

原　因　LANケーブルが正しく接続されていない

処　置　プリンタとコンピュータがLANケーブルで正しく接続されているかを確認してください。

ネットワークボードに問題がある

原因 1　ネットワークボードが正しく接続されていない

処　置　ネットワークボードが、プリンタに正しく取り付けられていることを確認してください（→ プリンタに付属の取扱説明書）

メモ　ネットワークボードの ERR ランプが点灯 / 点滅しているときや、すべてのランプが消灯しているときは、「その他のトラブル」（→P.4-13）を参照して、処置を行ってください。

原因 2　ユニキャスト通信モードになっている

処　置　通常のモード（ブロードキャスト通信モード）に戻します。詳しくは、「ユニキャスト通信モードを使用する」（→P.5-29）を参照するか、ネットワーク管理者へお問い合わせください。

使用するポートに問題がある

原因 1　使用するポートが正しく設定されていない

処　置　次の操作を行ってください。

1. ［プリンタと FAX］または［プリンタ］フォルダを表示します。

   Windows 2000

   ［スタート］メニューから［設定］→［プリンタ］を選択します。

   Windows XP Professional　**Windows Server 2003**

   ［スタート］メニューから［プリンタと FAX］を選択します。

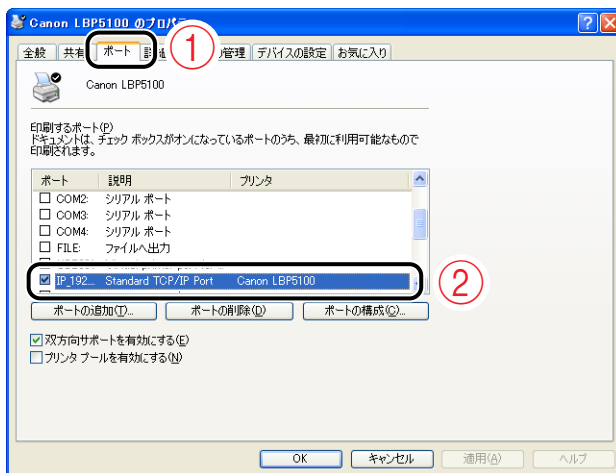
   Windows XP Home Edition

   ［スタート］メニューから［コントロールパネル］を選択して、［プリンタとその他のハードウェア］→［プリンタと FAX］の順にクリックします。

   Windows Vista

   ［スタート］メニューから［コントロールパネル］を選択して、［プリンタ］をクリックします。

2. お使いのプリンタのアイコンを右クリックして、ポップアップメニューから［プロパティ］を選択します。

3. ［ポート］ページを表示して ①、使用するポートが正しく選択されているか確認します②。

- **正しいポートが選択されていない場合**

  正しいポートを選択して、［OK］をクリックします。

- **使用するポートがない場合**

  プリンタドライバをアンインストールして、もう一度インストールしなおしてください。（➞ プリンタドライバのアンインストール：P.2-86、プリンタドライバのインストール方法について：P.2-2）

原因 2　**IP アドレスを変更した**

処　置　IP アドレスを変更した場合は、「IP アドレスを変更したあとに（ポートの変更について）」（➞P.5-18）を参照してポートを設定しなおしてください。

原因 3　**Canon CAPT Print Monitor がインストールされていない（LBP5600/5600SE/5000/3500/3300）**

処　置　次のいずれかの方法でプリンタドライバをインストールする場合、ポートを Canon CAPT Port に設定するときは、プリンタドライバをインストールする前に、必ず Canon CAPT Print Monitor をインストールしてください。（➞Canon CAPT Print Monitor のインストール：P.2-30）

- ［プリンタと FAX］または［プリンタ］フォルダからインストールする
- 付属の CD-ROM（CD-ROM Setup）を使って、ポートを手動で設定してインストールする

IP アドレスに問題がある

原　因　**IP アドレスが正しく設定されていない**

処置 1　IP アドレスが正しく設定されていることを確認してください。

メモ　確認方法として、次の操作を行ってください。

Windows の場合

1. コマンドプロンプトを起動します。

Windows 2000

［スタート］メニューから［プログラム］➞［アクセサリ］➞［コマンドプロンプト］を選択します。

Windows XP **Windows Server 2003** **Windows Vista**

［スタート］メニューから［すべてのプログラム］➞［アクセサリ］➞［コマンドプロンプト］を選択します。

2. 「ping <プリンタの IP アドレス>」を入力して、キーボードの［ENTER］キーを押します。
   - 入力例：ping 192.168.0.215
3. IP アドレスが正しく設定されている場合は、次のコマンド（信号を 4 回送り、4 回正常に通信できたことを表しています）が表示されます。
   - Packets: Sent = 4, Received = 4, Lost = 0 (0% loss),

   次のようなコマンドが表示された場合は、ネットワーク管理者へお問い合わせください。
   - Packets: Sent = 4, Received = 0, Lost = 4 (100% loss),
4. 「exit」を入力して、キーボードの［ENTER］キーを押します。

Macintosh の場合

1. ターミナルを起動します。
   お使いのハードディスク ➞［アプリケーション］➞［ユーティリティ］フォルダにある［ターミナル］アイコンをダブルクリックします。
2. 「ping -c 4 <プリンタの IP アドレス>」を入力して、キーボードの［return］キーを押します。
   - 入力例：ping -c 4 192.168.0.215
3. IP アドレスが正しく設定されている場合は、次のコマンド（信号を 4 回送り、4 回正常に通信できたことを表しています）が表示されます。
   - 4 packets transmitted, 4 packets received, 0% packet loss

   次のようなコマンドが表示された場合は、ネットワーク管理者へお問い合わせください。
   - 4 packets transmitted, 0 packets received, 100% packet loss
4. 「exit」を入力して、キーボードの［return］キーを押します。
5. ［ターミナル］メニューから［ターミナルを終了］を選択します。

処置 2　DHCP、BOOTP、RARP のいずれかを使用して IP アドレスを設定する場合は、DHCP、BOOTP、RARP が動作していることを確認してください。（➞ プリンタのプロトコル設定：P.2-70）

印刷を行うコンピュータに問題がある

原因 1　**プリンタが通常使うプリンタとして設定されていない**

処　置　プリンタを通常使うプリンタとして設定してください。

原因２　プリンタドライバが正常にインストールされていない

処　置　次の操作を行います。

1. ネットワークステータスプリントを印刷する（➞ ネットワークステータスプリントを印刷して動作を確認する：P.2-67）
   - ・印刷された場合：　　　プリンタドライバは正常にインストールされています。
   - ・印刷されなかった場合：引き続き次の操作を行ってください。
2. プリンタドライバをアンインストールする（➞ ソフトウェアのアンインストール：P.2-86）
3. プリンタドライバをインストールしなおす（➞ 自動セットアップ（推奨手順）：P.2-3）

原因３　TCP/IP プロトコルが動作していない

処　置　TCP/IP プロトコルが動作しているか確認してください。

原因４　印刷できるユーザが制限されている

処　置　リモート UI の［IP アドレス範囲設定］にある［TCP/IP 印刷を制限する］の設定内容を確認してください。（➞ 印刷できるユーザを制限する：P.3-10）

その他のトラブル

※ Macintosh をお使いの場合で、ここに記載されていない症状が起こったときは、オンラインマニュアル「第 6 章 困ったときには」を参照してください。

メモ　紙づまりが起こったときや印刷品質のトラブルなど、プリンタに関するトラブルについては、「ユーザーズガイド」を参照してください。

ネットワークボードのランプがすべて消灯している

原因 1　LAN ケーブルが正しく取り付けられていない、または断線している

処置 1　LAN ケーブルを一度取り外して、接続しなおします。

処置 2　他の LAN ケーブルに交換して、接続しなおします。

原因 2　ハブの UP-LINK（カスケード）ポートに接続している

処置 1　ハブの“X”マークのあるポートに接続しなおします。

処置 2　ハブに UP-LINK（カスケード）スイッチがある場合は、“X”側に切り替えます。

原因 3　クロスタイプの LAN ケーブルを使っている

処置 1　ストレートタイプの LAN ケーブルと交換します。

処置 2　クロスタイプの LAN ケーブルをハブの UP-LINK（カスケード）ポートに接続します。ハブに UP-LINK（カスケード）スイッチがある場合は“=”側にします。

メモ　クロスタイプの LAN ケーブルとは、プリンタとコンピュータを直接接続する場合に使用するケーブルのことです。

原因 4　ハブと通信できない

処置 1　ハブの電源が入っていることを確認します。

処置 2　接続したハブの通信速度に合わせてネットワークボードのディップスイッチを設定します。（➞ ネットワークボードを設定する：P.5-8）

処置 3　ハブを交換します。

原因 5　ネットワークボードが正しく取り付けられていない

処　置　ネットワークボードを一度取り外して、取り付けなおします。

原因 6　**ネットワークボードのハードウェアに異常がある**

処　置　お買い求めの販売店に状況を連絡してください。

ネットワークボードの ERR ランプが点灯している

原因 1　**LAN ケーブルが正しく取り付けられていない、または断線している**

処置 1　LAN ケーブルが正しく取り付けられているか確認してください。

処置 2　LAN ケーブルを正常に使えるものと交換して、断線や破損がないか確認してください。

処置 3　上記の操作を行っても ERR ランプが点灯するときは、お買い求めの販売店に連絡して、修理を依頼してください。

原因 2　**ネットワークボードが正しく取り付けられていない**

処　置　ネットワークボードを一度取り外して、取り付けなおします。

ネットワークボードの ERR ランプが 4 回ずつ点滅している

原　因　**ネットワークボードのディップスイッチ 1 がオンになっている**

処　置　ディップスイッチ 1 をオフにしてください。（→ ネットワーク設定の初期化：P.5-11）

ネットワークボードの ERR ランプが点滅し続けている

原　因　**ネットワークボードのハードウェアに異常がある**

処　置　お買い求めの販売店に連絡して、修理を依頼してください。

Canon CAPT Print Monitor をアンインストールできない（LBP5600/5600SE/5000/3500/3300）

原因 1　**プリンタドライバをアンインストールしていない**

処　置　プリンタドライバがインストールされている状態で、Canon CAPT Print Monitor をアンインストールすることはできません。Canon CAPT Print Monitor をアンインストールする場合は、プリンタドライバをアンインストールしてから行ってください。（→ プリンタドライバのアンインストール：P.2-86）

原因 2　**Canon CAPT Port にプリンタが割り当てられている**

処　置　次の操作を行ってください。

1. ［プリンタと FAX］または［プリンタ］フォルダを表示します。

Windows 2000

［スタート］メニューから［設定］➞［プリンタ］を選択します。

Windows XP Professional **Windows Server 2003**

［スタート］メニューから［プリンタと FAX］を選択します。

Windows XP Home Edition

［スタート］メニューから［コントロールパネル］を選択して、［プリンタとその他のハードウェア］➞［プリンタと FAX］の順にクリックします。

Windows Vista

［スタート］メニューから［コントロールパネル］を選択して、［プリンタ］をクリックします。

2. お使いのプリンタのアイコンを右クリックして、ポップアップメニューから［プロパティ］を選択します。
3. ［ポート］ページを表示して、使用するポートを Canon CAPT Port 以外に設定してください。

突然ネットワークから印刷できなくなった

原　因　**DHCP サーバの機能を使用している環境でプリンタを使用しているときに、プリンタの電源を入れなおしたため、プリンタの IP アドレスが変更された**

処　置　ネットワーク管理者にお問い合わせの上、次のいずれかの設定を行ってください。

• DNS 動的更新機能の設定をする（➞P.2-74）
• プリンタの起動時に常に同じIPアドレスを割り当てるように設定する（➞ネットワーク管理者）

メモ　他の原因も考えられますので、本項目内にある次のトラブルの「原因」も参照してください。
・「ネットワークボードのランプがすべて消灯している」
・「ネットワークボードの ERR ランプが点灯している」
・「ネットワークボードの ERR ランプが 4 回ずつ点滅している」
・「ネットワークボードの ERR ランプが点滅し続けている」

プリンタステータスウィンドウでステータスの取得に時間がかかる

原　因　**Windows ファイアウォール機能によってステータスが即時に取得できなくなっている**

処　置　使用しているポートを開くように設定します。（➞Windows ファイアウォール機能でポートを開く：P.2-61）

ネットワークボードの機能を確認したいときには

ネットワークボードのバージョンや TCP/IP の設定が確認できるネットワークステータスプリントの機能が用意されています。
ネットワーク環境の設定が終了したあと、ネットワークボードの動作確認をしたいときなど、必要に応じて行ってください。

※ Macintosh をお使いの場合、ネットワークステータスプリントの印刷はできません。

メモ

- ネットワークステータスプリントは、A4 サイズ用に設定されています。A4 サイズの用紙をセットしてください。
- ここでは、プリンタはLBP5100、OS は Windows XP Professional の画面例で手順を説明します。

1 ［プリンタと FAX］または［プリンタ］フォルダを表示します。

Windows 2000

［スタート］メニューから［設定］➞［プリンタ］を選択します。

Windows XP Professional **Windows Server 2003**

［スタート］メニューから［プリンタと FAX］を選択します。

Windows XP Home Edition

［スタート］メニューから［コントロールパネル］を選択して、［プリンタとその他のハードウェア］➞［プリンタと FAX］の順にクリックします。

Windows Vista

［スタート］メニューから［コントロールパネル］を選択して、［プリンタ］をクリックします。

2 お使いのプリンタのアイコンを右クリックして、ポップアップメニューから［印刷設定］を選択します。

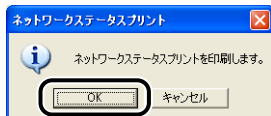
3 ［ページ設定］ページを表示して①、［ ］（プリンタステータスウィンドウを表示する）をクリックします②。

メモ　プリンタステータスウィンドウについては、「ユーザーズガイド」を参照してください。

4 ［オプション］メニューから［ユーティリティ］→［ネットワークステータスプリント］を選択します。

4

困ったときには

5 ［OK］をクリックします。

ネットワークステータスプリントが印刷されます。

6 ネットワークステータスプリントの印刷内容を確認します。

ここに掲載されているネットワークステータスプリントはサンプルです。お使いのプリンタで印刷したネットワークステータスプリントとは、内容が異なることがあります。

Canon ネットワークステータスプリント

項目	値
製品名	:LBP5100
CAPTインタフェースバージョン	:2.1
インタフェース	:Fast Ethernet 10/100BaseT
伝送速度	:10/100Mbps
MACアドレス	:00:00:85:92:A9:E2
ファームウェア名	:NB-C2
ファームウェアバージョン	:[illegible]
CANON-MIBバージョン	:[illegible]
プリントサーバ名	:CANON92A9E2
TCP/IP	
IPアドレス	:192.168.0.215
サブネットマスク	:Automatic router sensing
ゲートウェイアドレス	:Automatic router sensing
DHCPによるアドレス設定	:OFF
BOOTPによるアドレス設定	:OFF
RARPによるアドレス設定	:OFF
DNSサーバアドレス	:0.0.0.0
DNSホスト名	:
DNSドメイン名	:
SMTPサーバ名	:
WINSサーバアドレス	:
WINSホスト名	:
SNTPサーバ名	:
マルチキャスト探索応答	:ON
セキュリティ	
SNMPv1	:ON
SNMPv3	:OFF
TCP/IP印刷の制限	:OFF
SNMP設定/参照の制限	:OFF
マルチキャスト探索の制限	:OFF
MACアドレスアクセスの制限	:OFF
SMTP認証	:OFF
ポート	:IP_192.168.0.215
キヤノン CAPT プリントモニタ	
バージョン	:1.40
CAPT TCP/IPポートモジュール	
バージョン	:1.41

Canon および Canon ロゴ はキヤノン株式会社の商標です。

付録

5
CHAPTER

この章では、ネットワーク設定項目一覧やネットワークボードのおもな仕様などについて説明しています。

ネットワーク設定項目一覧

Web ブラウザ（リモート UI）、FTP クライアント、NetSpot Device Installer を使用すると、ネットワーク設定を変更することができます。

メモ
- 次の一覧で、カッコ内に記載されている情報は、FTP クライアント固有のものです。「デバイス名（SYS_NAME）」を例にした場合、各ソフトウェアによって、次のように表示されます。
  - ・Web ブラウザ（リモート UI）や NetSpot Device Installer：[デバイス名]
  - ・FTP クライアントの config ファイル：[SYS_NAME]
- 項目名の最後の「*[1]」、「*[2]」は次のことを表しています。
  - *[1]： NetSpot Device Installer では設定できません。これらの項目は、リモート UI、FTP クライアントで設定してください。
  - *[2]： FTP クライアントのみで設定できます。
- 文字数は、1byte 文字の場合の設定数です。

5

付録

■ 一般設定

項目名	内容	工場出荷時の設定
[プリントサーバ名] (PS_NAME) *[1]	ネットワークボード（プリントサーバ）の名称（0 ～ 15 文字）	CANONXXXXXX
[デバイス名] (SYS_NAME)	デバイスの名称（0 ～ 32 文字）	(空欄)
[設置場所] (SYS_LOC)	デバイスの設置場所（0 ～ 32 文字）	(空欄)
[管理者名] (SYS_CONTACT)	デバイスの管理者の名前（0 ～ 32 文字）	(空欄)
[管理者連絡先] (SYS_CONTACT_TEL) *[1]	デバイスの管理者の連絡先(0～32 文字)	(空欄)
[管理者コメント] (SYS_CONTACT_COMMENT) *[1]	デバイスの管理者のコメント(0 ～ 32 文字)	(空欄)
(SERVICE_MAN_NAME) *[2]	サービスマンの名前（0 ～ 32 文字）	(空欄)
(SERVICE_TEL) *[2]	サービスマンの連絡先（0 ～ 32 文字）	(空欄)
(SERVICE_COMMENT) *[2]	サービスマンのコメント（0 ～ 32 文字）	(空欄)
[管理者パスワード] (ROOT_PWD)	デバイスのパスワード（0 ～ 15 文字）	(空欄)

項目名	内容	工場出荷時の設定
[表示言語](DISP_LANG)*1	リモートUIで表示する言語(English、Japanese、Default)	Default
[再送回数](EMAIL_RETRY)*1	電子メール通知機能でメール送信に失敗したときの最大再送回数(0～5回)	0
[再送間隔](EMAIL_DELAY)*1	電子メール通知機能でメール送信に失敗したときの再送までの時間(1～60分)	5
[Toアドレス](EMAIL_ADDR1)*1(EMAIL_ADDR2)*1	電子メール通知機能でメールを送信する宛先(0～128文字)	(空欄)
[Reply-toアドレス](EMAIL_REPLY1)*1(EMAIL_REPLY2)*1	電子メール通知機能で送信するメールの返信アドレス(0～128文字)	(空欄)
[通知のタイミング](EMAIL_NOTIFY1)*1(EMAIL_NOTIFY2)*1	電子メール通知機能でメールを送信する条件 1:ジョブ終了時 6:デバイスエラー発生時 8:消耗品交換要求時 0:通知条件なし	0
[署名](EMAIL_SIG1)*1(EMAIL_SIG2)*1	電子メール通知機能で送信するメールの署名(0～255文字)	(空欄)
[リンク先](LINK_NAME1)*1(LINK_NAME2)*1	リモートUIの[サポートリンク]ページに表示されるリンク先(0～32文字)	(空欄)
[URL](LINK_URL1)*1(LINK_URL2)*1	リモートUIの[サポートリンク]ページに表示されるURL(0～128文字)	(空欄)
[コメント](LINK_COMMENT1)*1(LINK_COMMENT2)*1	リモートUIの[サポートリンク]ページに表示されるコメント(0～64文字)	(空欄)
[リンク先](DOWNLOAD_SITE_NAME)*1	リモートUIの[サポートリンク]ページに表示されるリンク先(0～32文字)	Download Service
[URL](DOWNLOAD_SITE_URL)*1	リモートUIのサポートリンクページに表示されるURL/リモートUIの[デバイス管理]―[ネットワーク]ページにある[ファームウェア]の[ダウンロードサイト]をクリックしたときのURL(0～128文字)	http://cweb.canon.jp/drv-upd/nic/index.html
[コメント](DOWNLOAD_SITE_COMMENT)*1	リモートUIのサポートリンクページに表示されるコメント(0～64文字)	Update network firmware

5 付録

項目名	内容	工場出荷時の設定
[SNMPv1] (SNMP_V1_ACCESS_ENB) *1	SNMPv1 プロトコルによるアクセス	YES
[アクセス権限] (SNMP_V1_ACCESS_MODE) *1	SNMPv1 エージェントの動作モード(Read-Only、Read-Write)	Read-Write
[コミュニティ名] (PUB_COMMUNITY) *1	SNMP のコミュニティ名(0 ~ 32 文字)	public
[SNMPv3] (SNMP_V3_ACCESS_ENB) *1	SNMPv3 プロトコルによるアクセス	NO
[TCP/IP 印刷を制限する] (TCP_CONT_ENB) *1	印刷できるユーザを制限するかどうか	NO
[指定アドレスを許可する] / [指定アドレスを拒否する] (TCP_CONT_MODE) *1	[IP アドレス](TCP_CONT_LIST)で入力したユーザからの印刷を許可/拒否する(Accept、Reject)	Accept
[IP アドレス] (TCP_CONT_LIST) *1	TCP/IP 印刷の制限に指定した IP アドレス	(空欄)
[SNMP 設定 / 参照を制限する] (SNMP_CONT_ENB) *1	SNMP 設定/参照ができるユーザを制限するかどうか	NO
[指定アドレスを許可する] / [指定アドレスを拒否する] (SNMP_CONT_MODE) *1	[IP アドレス](SNMP_CONT_LIST)で入力したユーザからSNMP プロトコルによる設定/参照を許可/拒否する(Accept、Reject)	Accept
[IP アドレス] (SNMP_CONT_LIST) *1	SNMP設定/参照の制限に指定したIP アドレス	(空欄)
[マルチキャスト探索を制限する] (SLP_CONT_ENB) *1	マルチキャスト探索できるユーザを制限するかどうか	NO
[指定アドレスに応答する] / [指定アドレスに応答しない] (SLP_CONT_MODE) *1	[IP アドレス](SLP_CONT_LIST)で入力したユーザからのマルチキャスト探索に応答する/しない(Accept、Reject)	Accept
[IP アドレス] (SLP_CONT_LIST) *1	マルチキャスト探索の制限に指定した IP アドレス	(空欄)
[MACアドレスアクセスを制限する] (MAC_CONT_ENB)	アクセスできるデバイスを制限するかどうか	NO
[指定アドレスを許可する] / [指定アドレスを拒否する] (MAC_CONT_MODE)	[MAC アドレス](MAC_CONT_LIST)で入力したデバイスからのアクセスを許可/拒否する(Accept、Reject)	Accept
[MAC アドレス] (MAC_CONT_LIST)	アクセスを許可/拒否するMACアドレス	(空欄)

項目名	内容	工場出荷時の設定
[アクセスログ] (SEC_LOG_ENB) *1	セキュリティアクセスログを取得するかどうか	NO
[取得するログ] (SEC_LOG_KIND) *1	取得するセキュリティアクセスログ 0：取得するアクセスログなし 1：TCP/IP印刷拒否 2：SNMP 設定／参照拒否 3：TCP/IP 印刷拒否と SNMP 設定／参照拒否 4：マルチキャスト探索拒否 5：TCP/IP印刷拒否とマルチキャスト探索拒否 6：SNMP 設定／参照拒否とマルチキャスト探索拒否 7：すべてのアクセスログを取得	0

■ TCP/IP 設定

項目名	内容	工場出荷時の設定
[フレームタイプ] (TCP_FRAME_TYPE)	TCP/IP で使用しているフレームタイプ	Ethernet II
(G_ARP_ENB) *2	Gratuitous ARP 機能を使用するかどうか	YES
[DHCP によるアドレス設定] (DHCP_ENB)	IP アドレスの設定に DHCP を使用するかどうか	NO
[BOOTP によるアドレス設定] (BOOTP_ENB)	IPアドレスの設定に BOOTPを使用するかどうか	NO
[RARP によるアドレス設定] (RARP_ENB)	IP アドレスの設定に RARP を使用するかどうか	NO
[IP アドレス] (INT_ADDR)	プリンタの IP アドレス	192.168.0.215
[サブネットマスク] (NET_MASK)	サブネットマスク	0.0.0.0
[ゲートウェイアドレス] (DEF_ROUT)	ゲートウェイアドレス	0.0.0.0
[DNS サーバアドレス] (DNS_ADDR) *1	DNS サーバの IP アドレス	0.0.0.0
[DNS の動的更新] (DDNS_ENB) *1	本デバイスを DNS に動的に登録するかどうか	NO
[DNS ホスト名] (HOST_NAME) *1	本デバイスのホスト名（0 ～ 63 文字）	（空欄）

項目名	内容	工場出荷時の設定
[DNS ドメイン名] (DOMAIN_NAME) *1	本デバイスの所属するドメイン名(0 ~ 64 文字)	(空欄)
[SMTP サーバ名] (SMTP_ADDR) *1	メールサーバの IP アドレスまたは名前 (0 ~ 64 文字)	(空欄)
[WINS による名前解決] (WINS_ENB) *1	WINS による名前解決機能を使用するかどうか	YES
[WINS サーバアドレス] (WINS_ADDR1) *1	WINS サーバアドレス	0.0.0.0
[WINS ホスト名] (WINS_HOSTNAME) *1	WINS ホスト名の登録 (0 ~ 15 文字)	(空欄)
[スコープ ID] (NBT_SCOPE_ID) *1	プリンタ、コンピュータの通信範囲を決めるための識別子 (0 ~ 220 文字)	(空欄)
[SNTP サーバ名] (SNTP_ADDR) *1	SNTP サーバの IP アドレスまたは名前 (0 ~ 64 文字)	(空欄)
(SNTP_CHECK_ INTERVAL)*2	SNTP 更新間隔 (10min、30min、1hours、3hours、6hours、12hours、24hours)	1hours
[マルチキャスト探索設定] (SLP_ENB) *1	マルチキャスト探索に応答するかどうか	YES
[スコープ名] (SLP_SCOPE) *1	マルチキャスト探索で使用するスコープ名 (0 ~ 32 文字)	default
[SMTP 認証] *1 (SMTP_AUTH_ENB)	SMTP 認証を行うかどうか	NO
[ユーザ名] *1 (SMTP_USER)	SMTP 認証で使用するユーザ名 (0 ~ 64 文字)	(空欄)
[パスワード] *1 (SMTP_PASS)	SMTP認証で使用するパスワード(8~15文字)	(空欄)
(USE_IP_PORT_NAME)*2	ユニキャスト通信モードを使用するかどうか	NO

ネットワーク設定に利用できるソフトウェア

○：設定可能 ×：設定不可 △：一部の設定が可能（➞ ネットワーク設定項目一覧：P.5-2）

設定の種類	Web ブラウザ（リモート UI）	FTP クライアント	NetSpot Device Installer	ARP/PING コマンド	プリンタステータスウィンドウ（Windows）／ステータスモニタ（Macintosh）
IP アドレスの初期設定（➞P.2-19、2-24、2-27）	×	×	○	○	○
プロトコル設定（➞P.2-70）	○	○	△	×	×
電子メール通知機能の設定（➞P.3-3、3-40）	○	○	×	×	×
印刷できるユーザの制限（➞P.3-10、3-40）	○	○	×	×	×
SNMP プロトコルによる設定／参照できるユーザの制限（➞P.3-14、3-40）	○	○	×	×	×
マルチキャスト探索できるユーザの制限（➞P.3-20、3-40）	○	○	×	×	×
MAC アドレスアクセスの制限（➞P.3-24、3-40）	○	○	×	×	×
SMTP 認証（➞P.3-28、3-40）	○	○	×	×	×
セキュリティアクセスログの取得（➞P.3-31、3-40）	○	○	×	×	×

ネットワークボードを設定する

ネットワークボードは、工場出荷状態では「自動検出モード」に設定されています。10BASE-T/100BASE-TX の通信速度や転送モードは自動的に検出されるので、通常は設定を変更する必要はありません。
ネットワーク側の機器とうまく通信できない場合は、次の手順でディップスイッチを設定して、通信速度や転送モードを設定することができます。接続したネットワークの通信速度に合わせて、ディップスイッチを次のように設定してください。

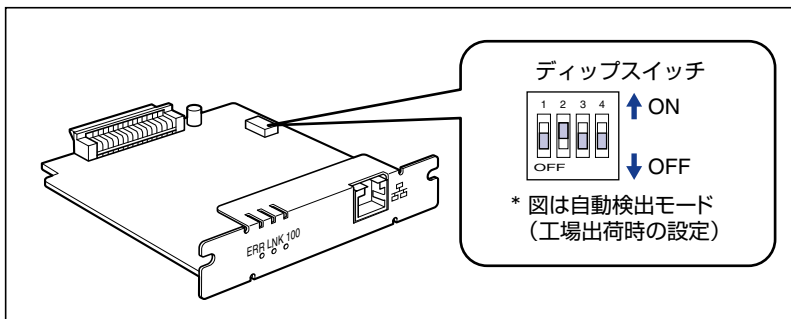
重要

- ディップスイッチを設定する際は、ボールペンなどの先でメインボードを傷つけないように気を付けてください。また、シャープペンシルなどの先端の鋭利なものは使用しないでください。

- ここに記載されているネットワークボードの取り外し手順や、取り付け手順がお使いのプリンタと異なる場合があります。取り外し手順や、取り付け手順の詳細については、「ユーザーズガイド」を参照してください。

メモ

ネットワークボードの取り外し作業や、取り付け作業には、プラスドライバが必要です。あらかじめネジに合ったサイズのものをご用意ください。

5 付録

■ ネットワークの通信速度／転送モードとディップスイッチの設定

LANの通信速度／転送モード	ディップスイッチの設定
自動検出モード （工場出荷時の設定）	1 2 3 4 OFF ↑ON ↓OFF
10BASE-T／半二重モード に固定する場合	1 2 3 4 OFF ↑ON ↓OFF
10BASE-T／全二重モード に固定する場合	1 2 3 4 OFF ↑ON ↓OFF
100BASE-TX／半二重モード に固定する場合	1 2 3 4 OFF ↑ON ↓OFF
100BASE-TX／全二重モード に固定する場合	1 2 3 4 OFF ↑ON ↓OFF

1 プリンタの電源を切ります。

2 USB　ケーブルを接続している場合は、コンピュータの電源を切って、USB ケーブルをプリンタから抜きます。

3 電源プラグを電源コンセントから抜きます。

4 アース線を専用のアース線端子から取り外します。

5 電源コードとアース線をプリンタから取り外します。

6 LAN ケーブルをネットワークボードから抜きます。

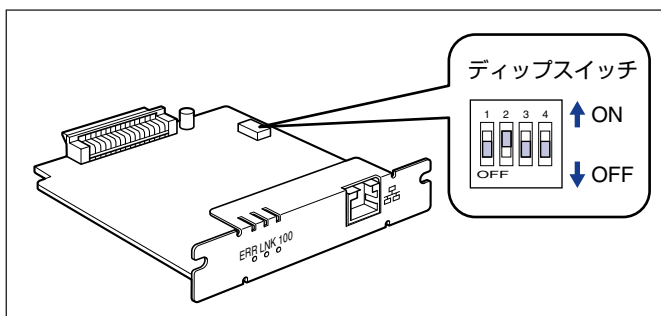
メモ　オプションの両面ユニットが取り付けられているときは、プリンタから取り外します。取り外しかたについては、「ユーザーズガイド」を参照してください。

5
付録

7 2 本のネジを外して、ネットワークボードを取り外します。

重要
- ネットワークボードの部品やプリント配線、コネクタには直接手を触れないでください。
- プリンタ内部に、ネジやクリップ、ステイプル針などを落とさないでください。これらがプリンタ内部に落ちたときは、電源プラグを電源コンセントに接続しないで、お買い求めの販売店にご連絡ください。

8 ディップスイッチを設定します。

ディップスイッチは、ボールペンの先などで設定してください。設定方法は P.5-9 の表を参照してください。

重要
ディップスイッチを設定する際は、ボールペンなどの先でメインボードを傷つけないように気を付けてください。また、シャープペンシルなどの先端の鋭利なものは使用しないでください。

9 ネットワークボードを拡張ボードスロットに差し込みます。

ネットワークボードは、金属製のパネル部分を持ち、拡張ボードスロット内部のガイドレールに合わせてまっすぐに差し込みます。

重要
- ネットワークボードの部品やプリント配線、コネクタには直接手を触れないでください。
- ネットワークボードをしっかりと確実に押し込んでください。

10 ネットワークボードの上下を、付属の 2 本のネジで固定します。

11 LAN ケーブルをネットワークボードに接続します。

12 電源コードとアース線をプリンタに接続します。

13 アース線を専用のアース線端子に、電源プラグを電源コンセントに接続します。

14 必要に応じて、USB ケーブルをプリンタに接続します。

ネットワーク設定の初期化

ネットワーク設定を工場出荷時の値に戻したいときは、リモート UI、FTP クライアント、NetSpot Device Installer のいずれかの方法で行います。

•リモート UI：

「ネットワーク設定を初期化する」（➞P.3-37）を参照してください。

•FTP クライアント：

「FTP クライアントを使用してプリンタを管理する」（➞P.3-40）を参照してください。

•NetSpot Device Installer：

1. デバイスリストで、工場出荷時の設定値に戻したいプリンタを選択して、［デバイス］メニューから［工場出荷時の設定に戻す］を選択します。
2. メッセージが表示されたら、［はい］をクリックします。
3. 「デバイスをリセットしました。」というメッセージが表示されたときは、［OK］をクリックします。正常にリセット処理を行うため、［OK］をクリックしたあと、約 20 秒間はそのままお待ちください。ネットワークボードのリセットが完了すると設定が有効になります。
   「デバイスの電源を入れなおしてください。」というメッセージが表示されたときは、［OK］をクリックして、プリンタの電源を入れなおすと設定が有効になります。

上記のいずれの方法も行えない場合は、次の手順でディップスイッチを設定して、ネットワーク設定を初期化することができます。

重要

- ネットワーク設定の初期化は、プリンタが動作していないことを確認して行ってください。印刷中やデータの受信中に行うと、受信したデータが正しく印刷されなかったり、紙づまりや故障の原因になります。
- Windows XP SP2などのWindowsファイアウォール機能を持っているOSをお使いで、Windowsファイアウォール機能が有効になっている場合は、NetSpot Device Installerを使用しているコンピュータと異なるサブネット上にあるプリンタは、探索することができません。
  このようなプリンタを探索してネットワーク設定を初期化する場合は、次のどちらかの操作を行う必要があります。
  - ［Windows　ファイアウォール］ダイアログボックスの［例外］ページに「NetSpot Device Installer」を登録する（➞NetSpot Device Installer の Readme）
  - NetSpot Device Installer をインストールする（➞P.3-43）

  NetSpot Device Installer の Readme は、CD-ROM Setup の［付属ソフトウェア］画面にある［NetSpot Device Installer for TCP/IP］の［ ］をクリックすると表示されます。
- ここに記載されているネットワークボードの取り外し手順や、取り付け手順がお使いのプリンタと異なる場合があります。取り外し手順や、取り付け手順の詳細については、「ユーザーズガイド」を参照してください。

メモ

ネットワークボードの取り外し作業や、取り付け作業には、プラスドライバが必要です。あらかじめネジに合ったサイズのものをご用意ください。

5 付録

1 プリンタの電源を切ります。

2 USB ケーブルを接続している場合は、コンピュータの電源を切って、USB ケーブルをプリンタから抜きます。

3 電源プラグを電源コンセントから抜きます。

4 アース線を専用のアース線端子から取り外します。

5 電源コードとアース線をプリンタから取り外します。

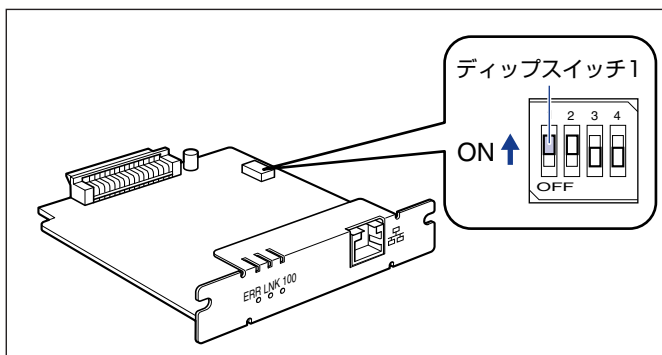
6 LAN ケーブルをネットワークボードから抜きます。

メモ　オプションの両面ユニットが取り付けられているときは、プリンタから取り外します。取り外しかたについては、「ユーザーズガイド」を参照してください。

7 2 本のネジを外して、ネットワークボードを取り外します。

重要
- ネットワークボードの部品やプリント配線、コネクタには直接手を触れないでください。
- プリンタ内部に、ネジやクリップ、ステイプル針などを落とさないでください。これらがプリンタ内部に落ちたときは、電源プラグを電源コンセントに接続しないで、お買い求めの販売店にご連絡ください。

8 ディップスイッチ 1 をオン側に切り替えます。

ディップスイッチは、ボールペンの先などで設定してください。

重要　ディップスイッチを設定する際は、ボールペンなどの先でメインボードを傷つけないように気を付けてください。また、シャープペンシルなどの先端の鋭利なものは使用しないでください。

9 ネットワークボードを拡張ボードスロットに差し込みます。

ネットワークボードは、金属製のパネル部分を持ち、ボードを拡張ボードスロット内部のガイドレールに合わせてまっすぐに差し込みます。

重要
- ネットワークボードの部品やプリント配線、コネクタには直接手を触れないでください。
- ネットワークボードをしっかりと確実に押し込んでください。

10 ネットワークボードの上下を、付属の２本のネジで固定します。

11 電源コードとアース線をプリンタに接続します。

12 アース線を専用のアース線端子に、電源プラグを電源コンセントに接続します。

13 プリンタの電源を入れて、印刷可ランプが点灯するまで待ちます。

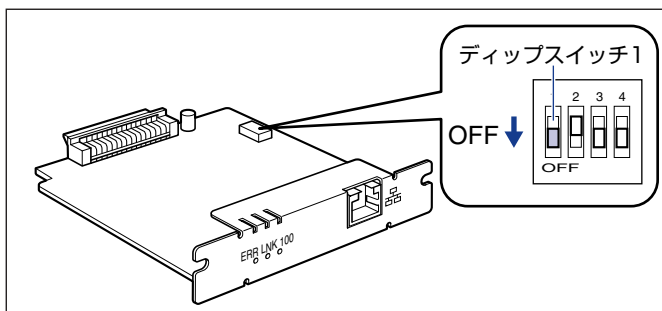
14 プリンタの電源を切ります。

15 電源プラグを電源コンセントから抜きます。

16 アース線を専用のアース線端子から取り外します。

17 電源コードとアース線をプリンタから取り外します。

18 ネットワークボードを取り外して、ディップスイッチ1をオフ側に戻します。

ディップスイッチは、ボールペンの先などで設定してください。

重要
- ネットワークボードの部品やプリント配線、コネクタには直接手を触れないでください。
- プリンタ内部に、ネジやクリップ、ステイプル針などを落とさないでください。これらがプリンタ内部に落ちたときは、電源プラグを電源コンセントに接続しないで、お買い求めの販売店にご連絡ください。
- ディップスイッチを設定する際は、ボールペンなどの先でメインボードを傷つけないように気を付けてください。また、シャープペンシルなどの先端の鋭利なものは使用しないでください。

19 ネットワークボードを取り付けます。

メモ
オプションの両面ユニットが取り付けられていたときは、プリンタに取り付けます。取り付けかたについては、「ユーザーズガイド」を参照してください。

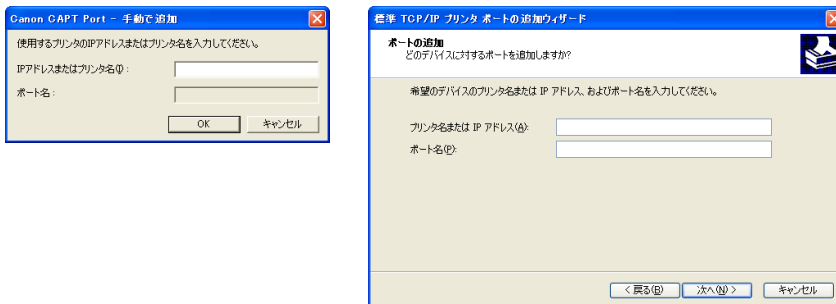
20 LAN ケーブルをネットワークボードに接続します。

21 電源コードとアース線をプリンタに接続します。

22 アース線を専用のアース線端子に、電源プラグを電源コンセントに接続します。

23 必要に応じて、USB ケーブルをプリンタに接続します。

ポートを追加するときの設定について（Windows のみ）

プリンタの IP アドレスを設定する方法によって、ポートを追加するときに表示される次の画面で［IP アドレスまたはプリンタ名］* に入力する値が異なります。

※ Macintosh をお使いの場合は、プリンタをプリンタリストに登録しなおします。詳しくは、オンラインマニュアル「第 2 章 プリンタドライバのインストールと印刷方法」を参照してください。

■ プリンタに割り当てる IP アドレスを手動で設定する場合（使用する IP アドレスがわかっている場合）

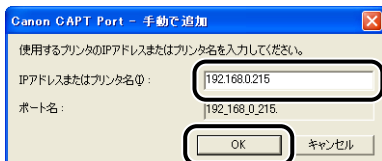
- ［IP アドレスまたはプリンタ名］* に IP アドレスを入力してください。
- DNS サーバを用いて設定する場合は、プリンタの DNS 設定を行います。さらに［IP アドレスまたはプリンタ名］* にプリンタ名（DNS サーバに登録される DNS 名（最大で半角 78 文字））を入力します。
  例えば、ホスト名を「AAA」、ドメイン名を「BBB.co.jp」にした場合は「AAA.BBB.co.jp」と入力します。ただし、DHCP などから IP アドレスを取得するときに同時にドメイン名（CCC.co.jp）が取得できる場合は「AAA.CCC.co.jp」と入力します。

■ プリンタに割り当てる IP アドレスを DHCP などで設定する場合

- プリンタの起動時に、常に同じIPアドレスがプリンタに割り当てられるようにDHCPなどを設定します。この場合、上記の「プリンタに割り当てる IP アドレスを手動で設定する場合」をご覧ください。
- プリンタの起動ごとに、異なる IP アドレスがプリンタに割り当てられる場合は、まずプリンタの DNS 設定を行います。さらに、［IP アドレスまたはプリンタ名］* にはプリンタ名（DNS サーバに登録される DNS 名（最大で半角 78 文字））を入力します。
  例えば、ホスト名を「AAA」、ドメイン名を「BBB.co.jp」にした場合は「AAA.BBB.co.jp」と入力します。ただし、DHCP などから IP アドレスを取得するときに同時にドメイン名（CCC.co.jp）が取得できる場合は「AAA.CCC.co.jp」と入力します。

* 標準 TCP/IP ポート（Standard TCP/IP Port）の場合は、［プリンタ名または IP アドレス］や［ホスト名または IP アドレス］

重要

• Canon CAPT Portの場合、ポートを追加するときに表示される次の画面で［IPアドレスまたはプリンタ名］に入力して［OK］をクリックし、正常に通信が行われたときは、［Canon CAPT Port - プリンタポートの追加］ダイアログボックスが閉じます。

正常に通信が行われないときは「指定したプリンタと通信できませんでした。入力した内容で操作を続行しますか？」というメッセージが表示されます。このメッセージは次の状態のときなどに表示されますので、設定した内容を確認して問題がないときは、［OK］をクリックします。設定した内容を変更するときは、［キャンセル］をクリックします。

・プリンタの電源が入っていない

・プリンタの電源が入っている場合、何らかの理由でデバイスから応答がない

• 使用できるポートは機種によって、次のように異なります。

	標準TCP/IPポート（Standard TCP/IP Port）	Canon CAPT Port
LBP5100/3310	○	×
LBP5600/5600SE/5000/3500/3300	×	○

メモ

プリンタのDNS設定については、「リモートUIによるプロトコル設定」（➞P.2-71）を参照してください。

IP アドレスの変更について

IP アドレスを変更するには

IP アドレスを変更する方法は、次の４種類あります。

	説明	参照先
リモート UI による設定	お手持ちの Web ブラウザを使って、プリンタにアクセスし、IP アドレスを設定します。	P.2-71
NetSpot Device Installer による設定	プリンタに付属の CD-ROM に収められている NetSpot Device Installer で IP アドレスを設定します。	P.2-19
ARP/PING コマンドによる設定	Windows XP SP2などの Windows ファイアウォール機能を持っている OS を使用している場合は、ARP/PING コマンドで IP アドレスを設定します。	P.2-24
プリンタステータスウィンドウによる設定	すでにプリンタドライバがインストールされていて、プリンタとコンピュータが USB ケーブルで接続されているときは、プリンタステータスウィンドウで IP アドレスを設定します。	P.2-27

IP アドレスを変更したときは、必ず行ってください

IP アドレスを変更したときは、「IPアドレスを変更したあとに（ポートの変更について）」（➞P.5-18）を参照して、必ず使用するポートを変更してください。
※ポートを変更しないと、印刷することができません。

5 付録

IP アドレスを変更したあとに（ポートの変更について）

プリンタの IP アドレスや名前（DNS サーバに登録する DNS 名）を変更した場合は、使用するポートを変更する必要があります。
ポートの変更方法は、使用しているポートの種類によって、次のように異なります。

※ Macintosh をお使いの場合は、プリンタをプリンタリストに登録しなおします。詳しくは、オンラインマニュアル「第 2 章 プリンタドライバのインストールと印刷方法」を参照してください。

- 標準 TCP/IP ポート（Standard TCP/IP Port）を使用している場合（→P.5-18）
- Canon CAPT Print Monitor を使用している場合（→P.5-23）

重要　使用できるポートは機種によって、次のように異なります。

	標準 TCP/IP ポート（Standard TCP/IP Port）	Canon CAPT Port
LBP5100/3310	○	×
LBP5600/5600SE/5000/3500/3300	×	○

標準 TCP/IP ポートの場合

標準 TCP/IP ポート（Standard TCP/IP Port）を使用している場合は、次の手順で使用するポートを変更します。

重要　標準TCP/IPポート(Standard TCP/IP Port)は、LBP5100/3310のみ使用可能です。

メモ　ここでは、プリンタは LBP5100、OS は Windows XP Professional の画面例で手順を説明します。

1 ［プリンタと FAX］または［プリンタ］フォルダを表示します。

Windows 2000

［スタート］メニューから［設定］→［プリンタ］を選択します。

Windows XP Professional　Windows Server 2003

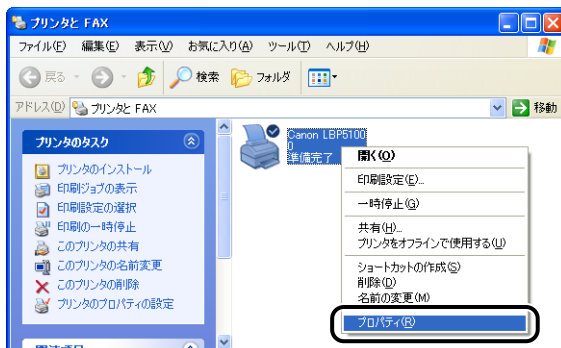
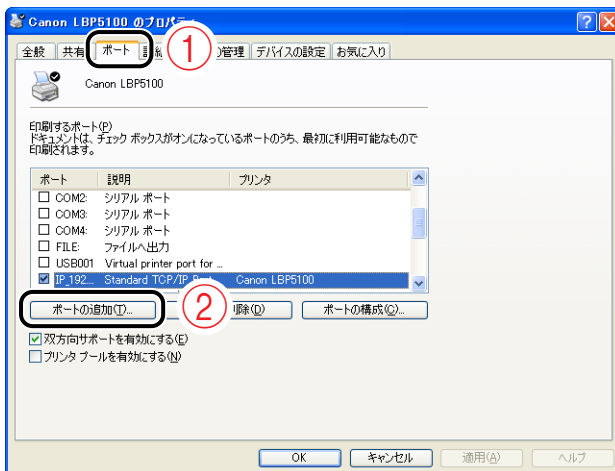
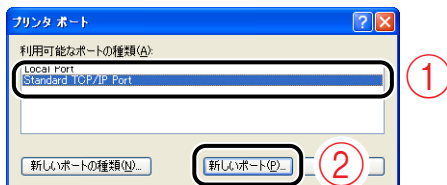
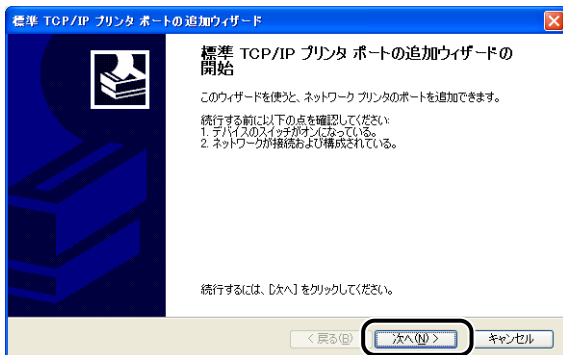
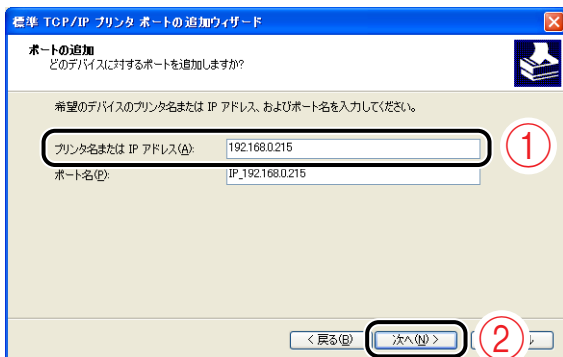
［スタート］メニューから［プリンタと FAX］を選択します。

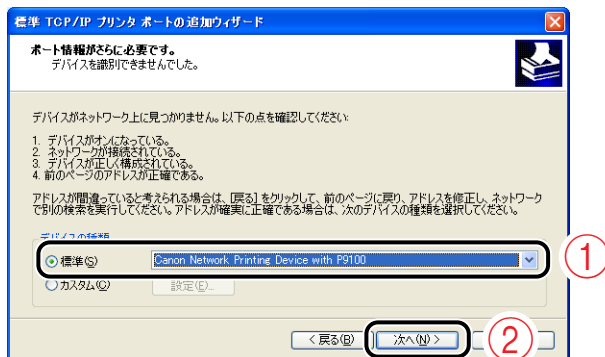
Windows XP Home Edition

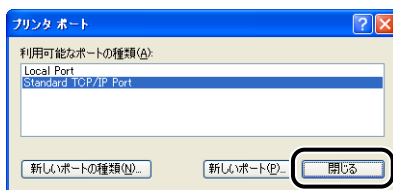
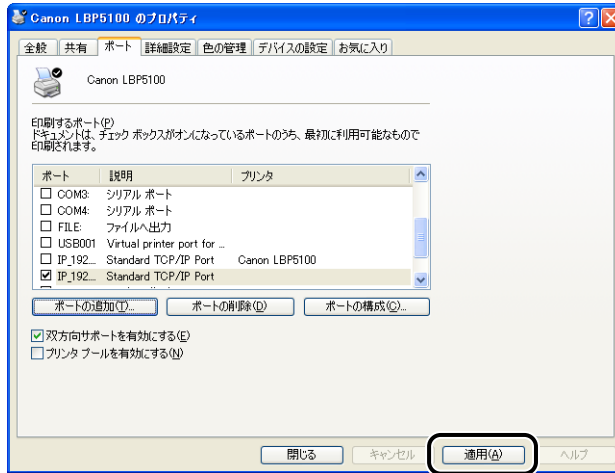
［スタート］メニューから［コントロールパネル］を選択して、［プリンタとその他のハードウェア］→［プリンタと FAX］の順にクリックします。

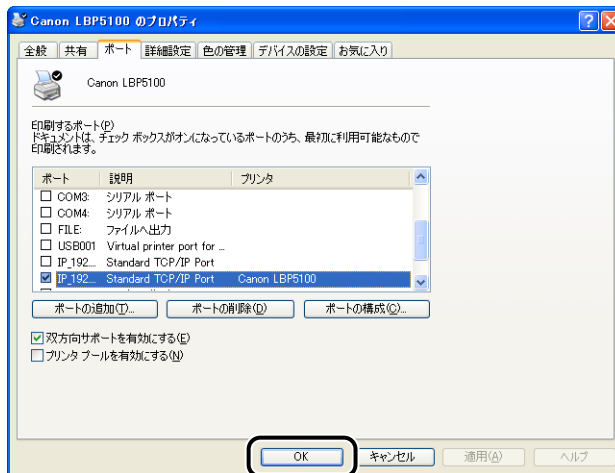
Windows Vista

［スタート］メニューから［コントロールパネル］を選択して、［プリンタ］をクリックします。

2 お使いのプリンタのアイコンを右クリックして、ポップアップメニューから［プロパティ］または［プリンターのプロパティ］を選択します。

3 ［ポート］ページを表示して ①、［ポートの追加］をクリックします ②。

4 ［Standard TCP/IP Port］を選択して ①、［新しいポート］をクリックします ②。

5 ［次へ］をクリックします。

6 ［プリンタ名またはIPアドレス］に新しいプリンタのIPアドレスまたは名前（DNS サーバに登録する DNS 名（最大で半角 78 文字））を入力して ①、［次へ］をクリックします ②。

プリンタの IP アドレスを設定する方法によって、入力する値が異なります。詳しくは、「ポートを追加するときの設定について （Windows のみ）」（→P.5-15）を参照するか、ネットワーク管理者へお問い合わせください。

次の画面が表示された場合は、画面の指示に従って再検索を行うか、［デバイスの種類］で［標準］➞［Canon Network Printing Device with P9100］を選択して①、［次へ］をクリックします②。

7 ［完了］をクリックします。

8 ［閉じる］をクリックします。

9 ［適用］をクリックします。

10 ［OK］をクリックします。

メモ

古いポートを削除する場合は、削除するポートを選択して、［ポートの削除］をクリックします。

Canon CAPT Print Monitor の場合

Canon CAPT Print Monitor を使用している場合は、次の手順で使用するポートを変更します。

重要　LBP5100/3310 の場合、Canon CAPT Print Monitor は使用できません。

メモ　ここでは、プリンタは LBP3500、OS は Windows XP Professional の画面例で手順を説明します。

1 ［プリンタと FAX］または［プリンタ］フォルダを表示します。

Windows 2000

［スタート］メニューから［設定］→［プリンタ］を選択します。

Windows XP Professional　**Windows Server 2003**

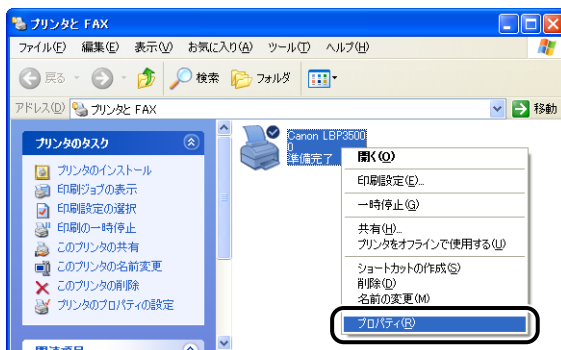
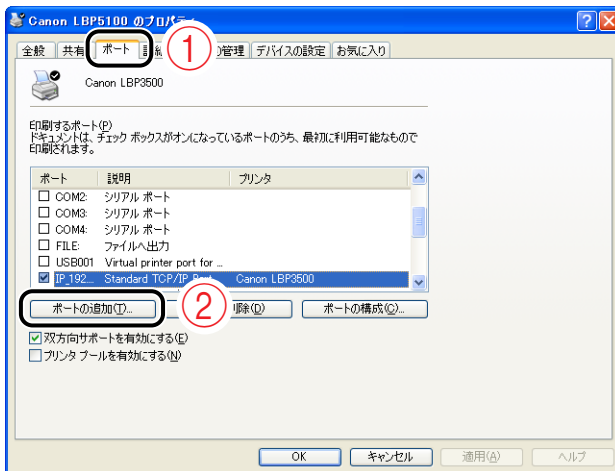
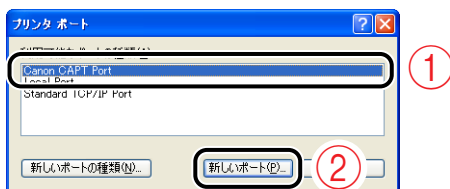
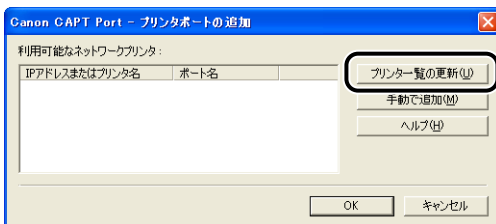
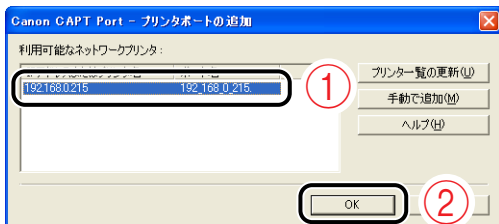
［スタート］メニューから［プリンタと FAX］を選択します。

Windows XP Home Edition

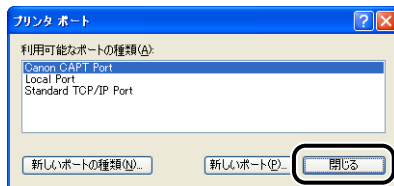
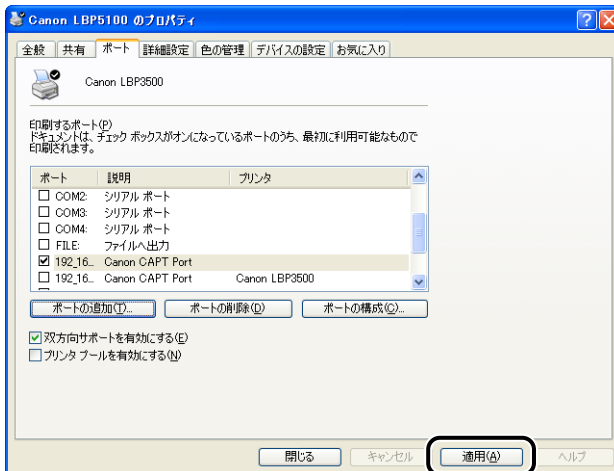
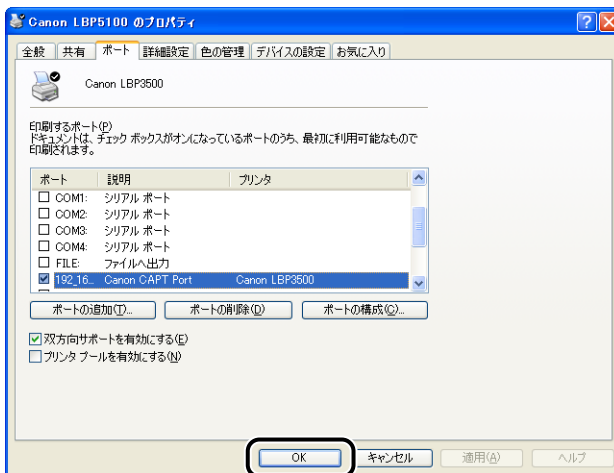
［スタート］メニューから［コントロールパネル］を選択して、［プリンタとその他のハードウェア］→［プリンタと FAX］の順にクリックします。

Windows Vista

［スタート］メニューから［コントロールパネル］を選択して、［プリンタ］をクリックします。

2 お使いのプリンタのアイコンを右クリックして、ポップアップメニューから［プロパティ］または［プリンターのプロパティ］を選択します。

3 ［ポート］ページを表示して①、［ポートの追加］をクリックします②。

4 ［Canon CAPT Port］を選択して①、［新しいポート］をクリックします②。

5 ［プリンター覧の更新］をクリックします。

6 [利用可能なネットワークプリンタ]から新しいプリンタのIPアドレスのポートを選択して①、[OK] をクリックします②。

[利用可能なネットワークプリンタ] に目的のプリンタのポート名が表示されていない場合は、[プリンタ一覧の更新] をクリックします。それでも表示されない場合は、次の操作を行います。

1. [手動で追加] をクリックする
2. [IP アドレスまたはプリンタ名] に IP アドレスまたはプリンタ名 (DNS サーバに登録する DNS 名 (最大で半角 78 文字)) を入力して、[OK] をクリックする
   IP アドレスを設定する方法によって、入力する値が異なります。詳しくは、「ポートを追加するときの設定について (Windows のみ)」(➞P.5-15) を参照するか、ネットワーク管理者へお問い合わせください。

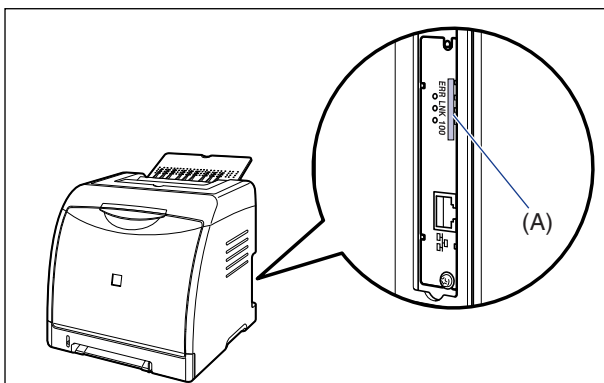
7 [閉じる] をクリックします。

8 ［適用］をクリックします。

9 ［OK］をクリックします。

メモ　古いポートを削除する場合は、削除するポートを選択して、［ポートの削除］をクリックします。

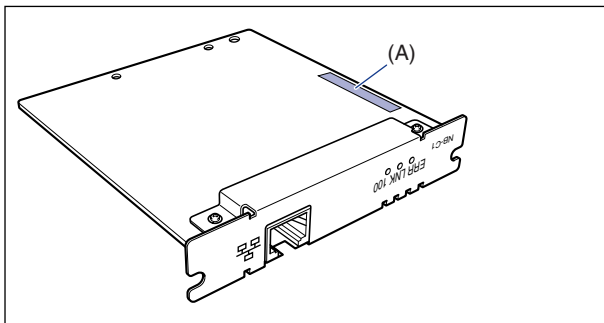
ネットワークボードの MAC アドレスを確認したいときには

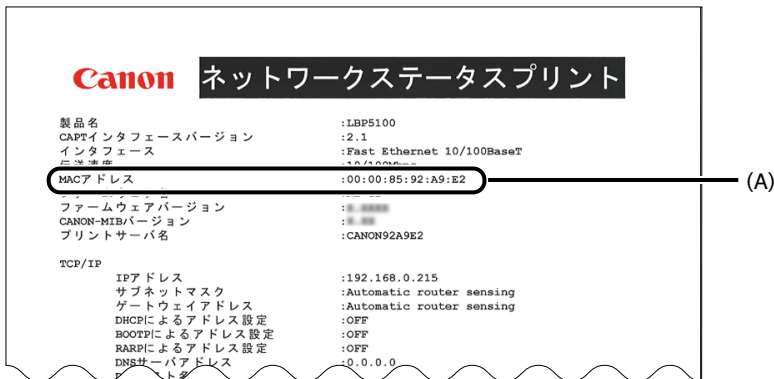
ネットワークボードの MAC アドレスは、次の方法で確認することができます。

■ ネットワークボードで確認する

MAC アドレスは、ネットワークボードの（A）の部分に記載されています。

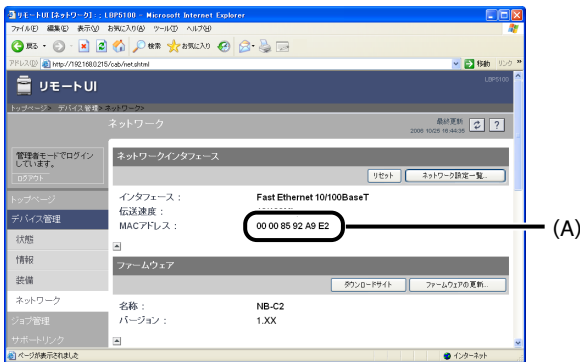
• NB-C2 の場合

*　プリンタはLBP5100 を例にしています。

• NB-C1 の場合

■ ネットワークステータスプリントで確認する

MAC アドレスは、ネットワークステータスプリントの（A）の部分に記載されています。

メモ　ネットワークステータスプリントの印刷方法については、「ネットワークボードの機能を確認したいときには」（→P.4-16）を参照してください（Macintosh をお使いの場合、ネットワークステータスプリントの印刷はできません）。

5
付録

■ リモート UI で確認する

MAC アドレスは、［デバイス管理］の［ネットワーク］ページの（A）の部分に記載されています。

メモ　リモート UI の詳細については、「リモート UI ガイド」を参照してください。

ユニキャスト通信モードを使用する

ユニキャスト通信モードについて

ユニキャスト通信モードを使用する場合は、通常（ブロードキャスト通信モード）とは異なり、プリンタからのステータスの送信でユニキャストを使用した通信を行います。

ユニキャスト通信モードを使用する場合は、FTP クライアントでネットワークボードの設定をユニキャスト通信モードにします。

重要　ブロードキャスト通信モードを使用しないネットワーク環境でプリンタをお使いになる場合は、ユニキャスト通信モードに切り替える必要があります。ただし、お使いのネットワーク環境の運用方法に関わりますので、ユニキャスト通信モードを使用する場合は、必ずネットワーク管理者へお問い合わせください。

メモ　ユニキャスト通信モードの設定後、プリンタステータスウィンドウ（Windows）／ステータスモニタ（Macintosh）に「ネットワークボードエラー」と表示されている場合は、プリンタステータスウィンドウ（Windows）／ステータスモニタ（Macintosh）の表示を最新の情報に更新してください。

ネットワークボードの設定をユニキャスト通信モードにする

メモ　ここでは、Windows の操作方法で手順を説明します。

1 コマンドプロンプトを起動します。

Windows 2000

［スタート］メニューから［プログラム］➡［アクセサリ］➡［コマンドプロンプト］を選択します。

Windows XP　**Windows Server 2003**　**Windows Vista**

［スタート］メニューから［すべてのプログラム］➡［アクセサリ］➡［コマンドプロンプト］を選択します。

2 次のコマンドを入力して、キーボードの［ENTER］キーを押します。

ftp <プリンタの IP アドレス>

入力例： ftp 192.168.0.215

5

付録

3 ユーザ名として、「root」を入力して、キーボードの［ENTER］キーを押します。

4 パスワードを入力して、キーボードの［ENTER］キーを押します。

パスワードを設定していないときは、何も入力せずに、キーボードの［ENTER］キーを押します。

5 次のコマンドを入力して、キーボードの［ENTER］キーを押します。

get config <ファイル名>

config ファイルがダウンロードされます。<ファイル名>に入力した文字が、ダウンロードされたときの config ファイルのファイル名になります。

メモ　config ファイルのダウンロード先は、お使いの OS の環境や設定によって異なります。config ファイルが見つからない場合は、OS のファイル検索機能を利用して config ファイルを検索してください。

6 メモ帳などでダウンロードした config ファイルを開きます。

7 「USE_IP_PORT_NAME」を「YES」に編集します。

入力例： USE_IP_PORT_NAME.　：YES

8 config ファイルを保存します。

9 次のコマンドを入力して、キーボードの［ENTER］キーを押します。

put <ファイル名> CONFIG

メモ　<ファイル名>には、ダウンロードしたときに入力した config ファイルのファイル名を入力します。

10 次のコマンドを入力して、キーボードの［ENTER］キーを押し、ネットワークボードをリセットします。

get reset

ネットワークボードのリセット後に設定が有効になります。

メモ　プリンタを再起動（電源をいったん切り、10 秒以上待ってから入れる）しても設定が有効になります。

11 「quit」を入力して、キーボードの［ENTER］キーを押します。

12 「exit」を入力して、キーボードの［ENTER］キーを押します。

コマンドプロンプトが終了します。

重要

通常のモード（ブロードキャスト通信モード）に戻す場合は、「USE_IP_PORT_NAME」を「NO」に編集します。
入力例：USE_IP_PORT_NAME．：NO

メモ

ユニキャスト通信モードの設定後、プリンタステータスウィンドウに「ネットワークボードエラー」と表示されている場合は、プリンタステータスウィンドウの［最新の情報に更新］ボタンをクリックしてください。

ファームウェアを更新する

ファームウェアの更新は、アップデートファイルを指定して、ネットワークボードのファームウェアをアップデートします。

重要

- お使いのプリンタによって、対応するネットワークボードのファームウェアのバージョンが次のように異なります。

・**NB-C2 の場合**

プリンタ	ネットワークボードのファームウェアのバージョン
LBP3310	Ver 1.30 以降
LBP5600/5600SE/ 5100/5000/3500/3300	Ver 1.10 以降

・**NB-C1 の場合**

プリンタ	ネットワークボードのファームウェアのバージョン
LBP3500	Ver 1.30 以降
LBP5000/3300	Ver 1.20 以降
LBP5600/5600SE	Ver 1.10 以降

ファームウェアのバージョンが古い場合、正常に動作しないことがあります。お使いのプリンタに対応しているバージョンであることを確認してください。
お使いのプリンタに対応していないバージョンの場合は、キヤノンホームページ（http://canon.jp/）から、最新のアップデートファイルをダウンロードして、ファームウェアを更新してください。
なお、プリンタに付属の CD-ROM 内の「NB-XX_Firmware」*フォルダに収められているアップデートファイルを使用して、ファームウェアを更新することもできます（CD-ROM 内にアップデートファイルがない場合は、キヤノンホームページからダウンロードしてください）。
アップデートファイルについては、「NB-XX_Firmware」* フォルダに収められている README ファイルを参照してください。

* XX は、「C1」または「C2」

- 正常にファームウェアを更新できなかった場合やファームウェアの更新についての詳細は、ファームウェアに添付の README ファイルを参照してください。
- ファームウェアの更新は、プリンタが動作していないことを確認して行ってください。また、ファームウェアの更新中は印刷を行わないでください。正常にファームウェアが更新されません。

メモ

- リモート UI の詳細については、「リモート UI ガイド」を参照してください。
- ここでは、プリンタは LBP5100、OS は Windows XP Professional の画面例で手順を説明します。

1 Web ブラウザを起動します。

2 アドレス入力欄に次の URL を入力したあと、キーボードの［ENTER］キーを押します。

http:// <プリンタの IP アドレスまたは名前> /

入力例： http://192.168.0.215/

重要

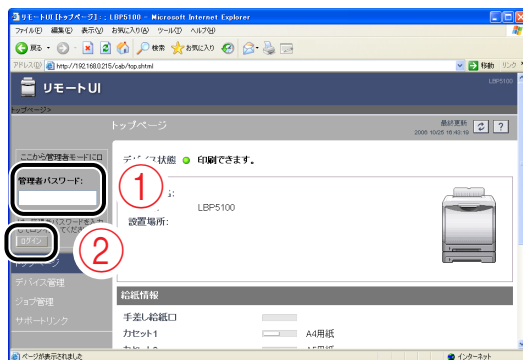
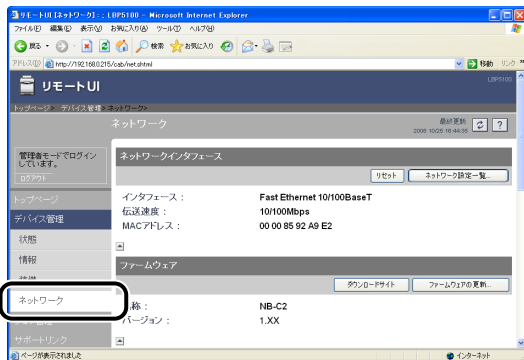
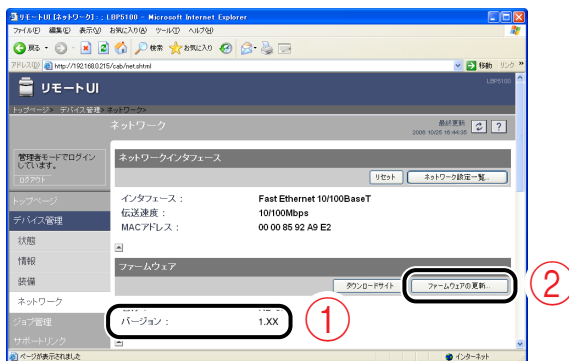
- プリンタのIPアドレスがわからないときは、ネットワークステータスプリントを参照するかネットワーク管理者に相談してください。
  ネットワークステータスプリントについては、「ネットワークステータスプリントを印刷して動作を確認する」（➞P.2-67）を参照してください（Macintosh をお使いの場合、ネットワークステータスプリントの印刷はできません）。
- DNS サーバにプリンタのホスト名が登録されているときは、IP アドレスのかわりに［ホスト名 . ドメイン名］で入力することもできます。
  例：http://my_printer.xy_dept.company.co.jp/

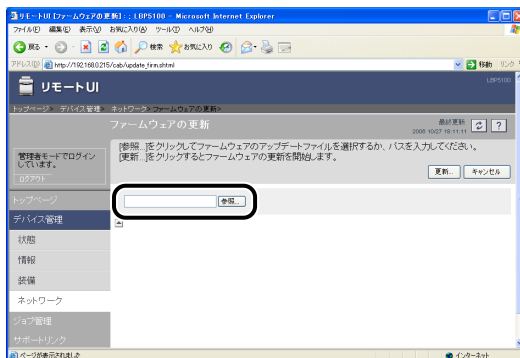
3 ［管理者パスワード］を入力して ①、［ログイン］をクリックします ②。

メモ

パスワードを設定していないときは、入力する必要はありません。

5

付録

4 ［デバイス管理］メニューから［ネットワーク］を選択します。

5 ［バージョン］で現在のファームウェアのバージョンを確認して①、［ファームウェアの更新］をクリックします②。

メモ　［バージョン］に表示されているバージョンが更新しようとしているファームウェアのバージョンと同じ場合や大きい場合は、更新する必要はありません。

6 ［参照］をクリックしてファームウェアのアップデートファイルを選択するか、パスを入力します。

7 ［更新］をクリックしてファームウェアを更新します。

重要 正常にファームウェアを更新できなかった場合は、ファームウェアに添付の README ファイルを参照してください。

Macintosh をお使いのお客様へ

Macintosh 用のプリンタドライバやオンラインマニュアルは、大変お手数ですが、キヤノンホームページ（http://canon.jp/）からダウンロードしてくださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

重要
- LBP5600/LBP5600SE は、Macintosh からの印刷には対応しておりません。
- LBP5000 は、Macintosh からのネットワーク経由での印刷に対応しておりません。

5
付録

おもな仕様

ハードウェア仕様

CPU	・ NB-C1 RISC 100MHz ・ NB-C2 RISC 200MHz
ROM	2MB（フラッシュ ROM）
RAM	8MB
ネットワークインタフェース	10BASE-T/100BASE-TX 共用（RJ-45） 全二重・半二重
ランプ	3 個（ERR、LNK、100）

ソフトウェア仕様

対応プロトコル	TCP/IP
TCP/IP	フレームタイプ：Ethernet II
プリンティングソフトウェア	・CAPT (Canon Advanced Printing Technology) ・Windows Standard TCP/IP Port（Port9100）* * LBP5100/3310 のみに対応しています。また、Raw のみに対応し、LPR には対応していません。

5
付録

索引

英数字

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

ソフトウェアのバージョンアップについて

プリンタドライバなどのソフトウェアに関しては、今後、機能アップなどのためのバージョンアップが行われることがあります。バージョンアップ情報およびソフトウェアの入手窓口は次のとおりです。ソフトウェアのご使用にあたっては、各使用許諾契約の内容について了解いただいたものとさせていただきます。

情報の入手方法

インターネットを利用して、バージョンアップなど、製品に関する情報を引き出すことができます。通信料金はお客様のご負担になります。

■ **キヤノンホームページ (http://canon.jp/)**
商品のご紹介や各種イベント情報など、さまざまな情報をご覧いただけます。

ソフトウェアの入手方法

ダウンロードにより、プリンタドライバなどの最新のソフトウェアを入手することができます。通信料金はお客様のご負担になります。

■ **キヤノンホームページ (http://canon.jp/)**
キヤノンホームページにアクセス後、ダウンロードをクリックしてください。

消耗品・オプション製品のご購入ご相談窓口

消耗品・オプション製品はお買い上げ頂いた販売店、またはお近くのキヤノン製品取り扱い店にてお買い求めください。ご不明な場合は、下記お客様相談センターまでご相談ください。

修理サービスご相談窓口

修理のご相談は、お買い上げ頂いた販売店にご相談ください。
ご不明な場合は、下記お客様相談センターまでご相談ください。

Canon キヤノン株式会社・キヤノンマーケティングジャパン株式会社

お客様相談センター （全国共通番号）

050-555-90061

[受付時間]　<平日> 9:00～20:00　<土日祝日> 10:00～17:00
（1/1～3は休ませていただきます）

※上記番号をご利用いただけない方は043-211-9627をご利用ください。
※IP電話をご利用の場合、プロバイダーのサービスによってつながらない場合があります。
※受付時間は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

キヤノンマーケティングジャパン株式会社　〒108-8011　東京都港区港南2-16-6
Canonホームページ：http://canon.jp

USRM1-6510　(02)